

平成 26 年度  
浦安市児童育成クラブに係る評価事業  
報 告 書

平成 27 年 3 月  
浦 安 市



# 目 次

<b>第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像</b> .....	1
1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要 .....	1
2. 事業者自己評価の考え方 .....	2
3. 利用者調査の考え方 .....	8
4. 公表・フィードバックの考え方 .....	11
<b>第2章 平成26年度 児童育成クラブに係る評価結果</b> .....	19
1. 調査の概要 .....	19
2. 事業者自己評価の結果 .....	20
3. 利用者調査の結果 .....	26
4. 開所時間・曜日の拡充について .....	29
5. クラブ別評価結果 .....	30
<b>資 料</b> .....	85
1. 平成26年度 事業者自己評価シート .....	85
2. 平成26年度 利用者調査 .....	89



## 第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像



# 第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像

## 1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要

### (1) 評価事業の目的

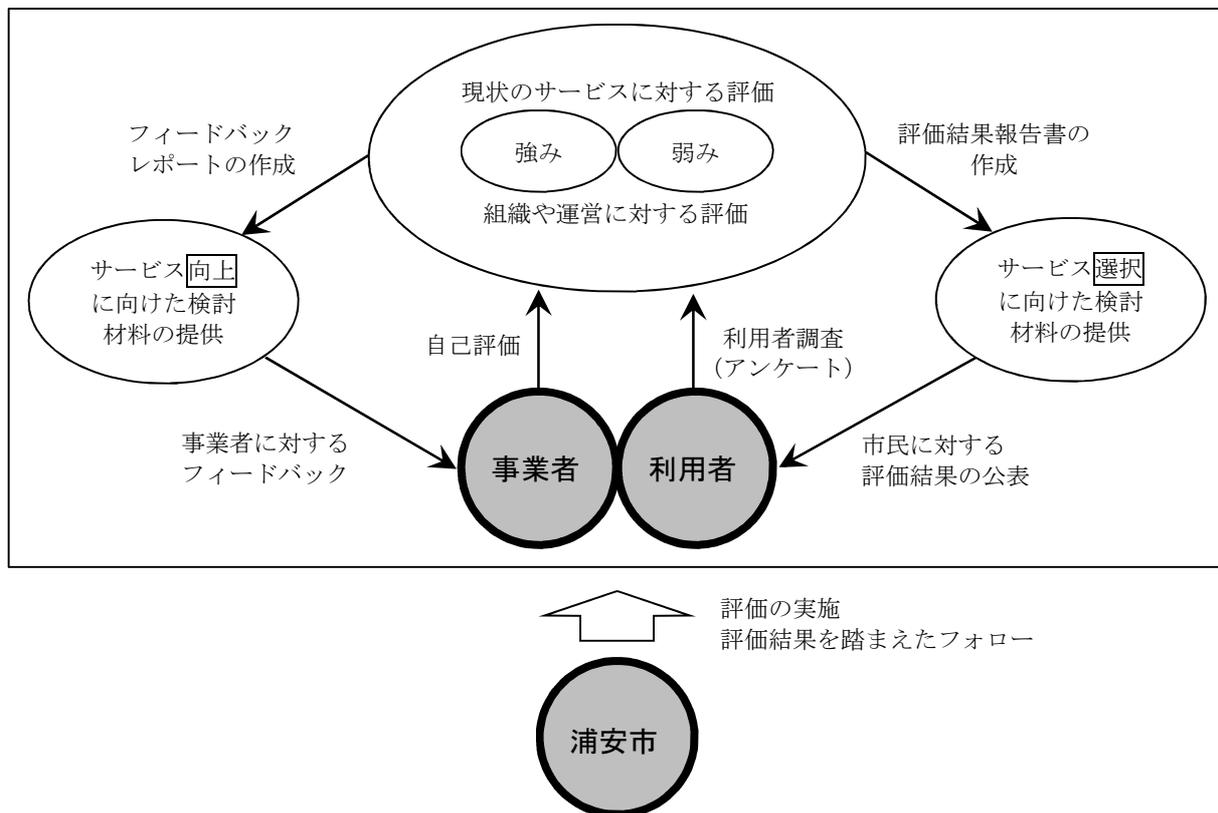
浦安市児童育成クラブに係る評価事業（以下、「本事業」と言う。）は、浦安市が提供する福祉サービスの質の向上と、利用希望者への適切な情報提供を目指すものであり、具体的には次の目的を達成する。

- (1) 利用者が、福祉サービスを選択するにあたっての検討材料となる情報を提供する。自分が利用しているサービスの状況や事業者のサービス向上への取り組み状況を確認するのに役立つ情報を提供する。
- (2) 各クラブにおけるサービスの強み（サービスの特徴）や弱み（改善の方向性）を洗い出すことで、事業者がサービスを改善するにあたり、検討するための情報を提供する。

### (2) 評価の仕組み

本事業では、児童育成クラブの運営事業者に対し事業者自己評価を、児童育成クラブの利用者（児童）とその保護者に対し利用者調査を実施することで、“事業者”と“利用者”の二者から見た評価を行った。

#### <本事業の全体イメージ>



## 2. 事業者自己評価の考え方

---

### (1) 目的

事業所の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。

### (2) 評価の対象

市内の児童育成クラブ 18 クラブに対して実施した。

### (3) 事業者自己評価の実施方法

市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。実施方針については、以下のとおりである。

#### ①事業者自己評価における客観性の確保

事業者自己評価を実施するにあたり、客観性を確保するために、事業責任者が単独で行うのではなく、可能な限り職員の参加による評価を行うことを前提とし、事業責任者およびサービスに関わる複数の職員、場合によっては全職員が相談をしながら評価を行い、評価シートに記入する方法を採用した。なお、ここでいう職員には、常勤職員のほかに、常勤者と同等にサービスに関わっている非常勤職員を含む。

#### <実施体制の例>

- ア. 幹部職員および一般職員による評価チームをつくり、自己評価を行う。
- イ. 通常の職員会議等の場を活用し、自己評価を行う。
- ウ. その他（ア、イ以外の方法で自己評価を行う）

#### ②具体的な取り組みの事実に基づく評価

今回実施するこの事業者自己評価は、あくまで事業者の自己責任で実施するものであり、原則として、公開対象となっている項目は、記載内容をそのまま公表する。このため、事業者には具体的な取り組みの事実に基づいて評価を実施することを求めた。

#### (4) 事業者自己評価シートの構成

事業者自己評価シートの構成は、以下のとおりである。

##### ①総合評価と事業プロフィール

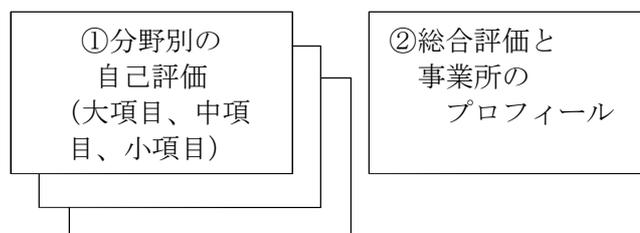
###### ・総合評価

大項目のそれぞれについて総合的な評価を行う。大項目別の自己評価の結果に基づき、当該事業所の強みとサービス改善に向けた取り組みを具体的に記述し、大項目別に達成度を5段階で評価する。

###### ・事業プロフィール

名称、所在地、連絡先、事業規模、サービスにあたって大切にしていることなど、当該事業所の概要を記述する。

##### <事業者自己評価シートの構成>



##### ②分野別の自己評価

大項目ごとに中項目、小項目を設定し、当該事業所の運営およびサービス提供について詳細な自己評価を行う。小項目ごとに設定された評価の視点（判断基準）と当該事業所における具体的な取り組みの事実を照らし合わせ、達成度を評価する。

## (5) 評価項目

評価項目は、以下のとおりである。

大項目は3項目、中項目は21項目、小項目は66項目で構成される。

### I 組織と運営

中項目（5項目）	小項目（24項目）
1 運営	① 理念・方針の職員への周知
	② 重要な意思決定時における職員や利用者への説明
	③ 職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり
	④ 利用者意見に対する適切な対応
	⑤ 利用者意向の事業計画への反映
	⑥ サービス改善状況の全職員への周知
	⑦ 市との連携や情報共有
	⑧ 学校との連携や情報共有
2 人事	① 職員研修の開催
	② 日常的な職員の意向把握
	③ 職員の悩みへの対応
3 情報	① 指示・連絡・報告・相談の体制
	② 利用者の家族に対する定期的な情報提供
	③ 情報公開の仕組み
4 危機管理	① 災害・緊急時の対策
	② 施設や設備の安全点検及び危険箇所への対処
	③ ケガや急病に対する救護対策
	④ 衛生管理（感染症の拡大防止）
	⑤ 衛生管理（食中毒の防止）
	⑥ ケガや事故の再発防止
5 個人情報保護	① 守秘義務の研修
	② 守秘義務のための取り組み
	③ 個人情報利用の利用者への説明
	④ プライバシーの確保

## Ⅱ サービス提供のプロセス

中項目（7項目）	小項目（17項目）
1 利用希望者への対応	① 見学者の受け入れ、分かりやすい説明対応
	② 重要事項に関する書面による同意
	③ 説明資料の読みやすさ
2 計画作成・見直し	① 子どもや保護者の意見を反映した計画作成
	② 利用者への計画説明及び同意
	③ 実施計画の定期的な見直し
3 サービスの標準化	① 個々のサービスに応じたマニュアル作成
	② 新人職員に対する実地指導
4 苦情解決	① 苦情の受付体制、職員への周知、サービスへの反映
	② 苦情の迅速な解決
	③ 苦情に関する情報共有
5 利用者の家族に対するサポート	① 保護者からの相談対応
6 人権の尊重	① 虐待防止のための具体的な仕組み
	② 家庭等の虐待兆候の早期発見及び見守り
7 地域との連携・交流	① 施設外での活動範囲を広げるための取り組み
	② ボランティア・実習生に対する事前説明
	③ 関係諸機関・団体との連携のための取り組み

### Ⅲ サービスの内容

中項目（9項目）	小項目（25項目）
1 基本原則	① 子どもの主体的な活動の援助
	② 子どもの状況や要望に応じた支援
	③ 提供したサービスの記録
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定の促進・受け止め
	② 子どもの人格や価値観を尊重した対応
3 相談等の援助	① 子どもからの相談対応
	② 子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映
4 健康管理	① 適切な服薬管理
	② 子どものケガや急病時の対応及び報告
	③ アレルギー疾患への配慮
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などに対する適切な対応
	② 専門家の協力を得た支援方法の工夫
6 活動	① 活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み
	② 子どもが自由に遊べる時間の確保
	③ 学習活動を自主的に行える環境整備
	④ 子どもの豊かな人間関係が育つような配慮
	⑤ 互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援
	⑥ 障がいのある子どもが活動する際の支援
7 おやつを提供	① 質の高いおやつの提供
	② 子どもの嗜好や成長に合わせたおやつの提供
	③ おやつを楽しむことが出来るような配慮
8 施設環境	① 子どもが快適に生活するための施設環境の配慮
	② 施設内の清掃・整理
	③ 安全に活動するための設備・備品への配慮
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導

## (6) 事業者自己評価の基準

◆事業者自己評価は、小項目、中項目、大項目の順に行うこととした。

◆小項目では、評価の視点（判断基準）の達成度を4段階で評価した。

[小項目の評価基準]	
4	優れた取組ができています
3	おおむねできています
2	あまりできていない
1	まったくできていない

◆中項目では、小項目の評価点の平均値をもとに、4段階で評価した。

[中項目の評価基準]		
4	優れた取組ができています	: 小項目の評価点の平均が 3.25 以上
3	おおむねできています	: 小項目の評価点の平均が 2.50 以上 3.25 未満
2	あまりできていない	: 小項目の評価点の平均が 1.75 以上 2.50 未満
1	まったくできていない	: 小項目の評価点の平均が 1.75 未満

◆大項目では、中項目の評価点の平均値をもとに、5段階で評価した。

[大項目の評価基準]		
A	大変優れている	: 中項目の評価点の平均が 3.40 以上
B	優れている	: 中項目の評価点の平均が 2.80 以上 3.40 未満
C	普通	: 中項目の評価点の平均が 2.20 以上 2.80 未満
D	やや不十分である	: 中項目の評価点の平均が 1.60 以上 2.20 未満
E	極めて不十分である	: 中項目の評価点の平均が 1.60 未満

◆小項目、中項目の評価点をつける中で気づいたこと、具体的な取り組みの事実などを勘案しながら、良いと思う点、改善が必要だと思う点について、コメントを記述できるようにした。

### 3. 利用者調査の考え方

#### (1) 目的

サービスについて利用者が日ごろ感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。

#### (2) 評価の対象

各児童育成クラブの利用者及び保護者を対象に実施した。

#### (3) 利用者調査の実施方法

無記名のアンケート方式により実施した。

調査票は、事業所から利用者へ直接配布し、郵送により回収した。

#### (4) 調査項目

平成 26 年度の利用者調査における調査項目は、以下のとおりである。

#### [ 児童育成クラブ ]

調査項目	質問番号	質問事項
利用している クラブの組織と 運営について 【◆保護者◆】	Q 1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q 2	指導員は、育成に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。
	Q 3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組がなされていると思いますか。
	Q 4	クラブ内の部屋について清掃・整理が行き届いていると思いますか。
	Q 5	指導員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱に注意を払っていると思いますか。
	Q 6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。
サービス提供の 手順について 【◆保護者◆】	Q 7	指導員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q 8	あなたは、指導員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。
	Q 9	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。
	Q10	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを指導員に相談しやすいですか。
	Q11	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。

調査項目	質問番号	質問事項
<b>子どもの発達援助について</b> <b>【◆保護者◆】</b>	Q12	指導員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。
	Q13	指導員は、遊びを通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。
	Q14	指導員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。
	Q15	指導員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。
	Q16	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。
	Q17	クラブにおける発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。
	Q18	指導員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。
	Q19	特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。
<b>開所時間について</b> <b>【◆保護者◆】</b>	Q20	小学校の通常授業日（月～金曜日）は、下校時から午後7時までをクラブの開所時間としています。あなたは、開所時間を延長した場合に利用を希望しますか。
	Q21	土曜日及び小学校の長期休業日（夏休み・冬休み・春休み）は、午前8時から午後7時までをクラブの開所時間としています。あなたは、土曜日及び長期休業日にクラブを利用していますか。また、利用している方については、開所時間を早めた場合に利用を希望しますか。
	Q22	日曜日や祝日は、クラブを開所していません。あなたは、日曜日や祝日にクラブを開所した場合に、利用を希望しますか。
<b>サービス提供の 手順及び発達援助 について</b> <b>【◇児童◇】</b>	Q23	じどういくせいクラブのおやつはおいしいですか。
	Q24	じどういくせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。
	Q25	じどういくせいクラブはたのしいですか。
	Q26	じどういくせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらいいか、いっしょにかんがえてくれましたか。
	Q27	じどういくせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。

## (5) 利用者調査の基準

- ◆各質問について、利用者（児童）及び保護者が3段階で評価する。
- ◆回答結果を次のとおり点数換算し、全回答者の設問別平均点を算出する。  
(-1点～1点の範囲)

[回答の判断基準]			
1	は	い	(肯定的評価) ⇒ <u>1点換算</u>
2	どちらともいえない		(中間的評価) ⇒ <u>0点換算</u>
3	い	い	え (否定的評価) ⇒ <u>-1点換算</u>

- ◆設問別平均点を基に、次のテーマ別に平均点を算出する。その結果を基に、「テーマ別評価」を行う。

### [ 評価区分 ]

評価者	テーマ	設問数	テーマ別平均点
◆保護者◆	◆利用しているクラブの組織と運営について	6問	-1点 ～ 1点
	◆サービス提供の手順について	5問	
	◆子どもの発達援助について	8問	
◇児童◇	◇サービス提供の手順および発達援助について	5問	

[テーマ別評価の算出方法]	
A 大変優れている	: 設問別平均点が全て 0.75 点以上
B 優れている	: テーマ別平均点が 0.5 点以上 (テーマ別評価Aとなる場合を除く)
C 普通	: テーマ別平均点が 0.0 点以上 0.5 点未満
D やや不十分である	: テーマ別平均点が-0.5 点以上 0.0 点未満
E 極めて不十分である	: テーマ別平均点が-0.5 点未満

## 4. 公表・フィードバックの考え方

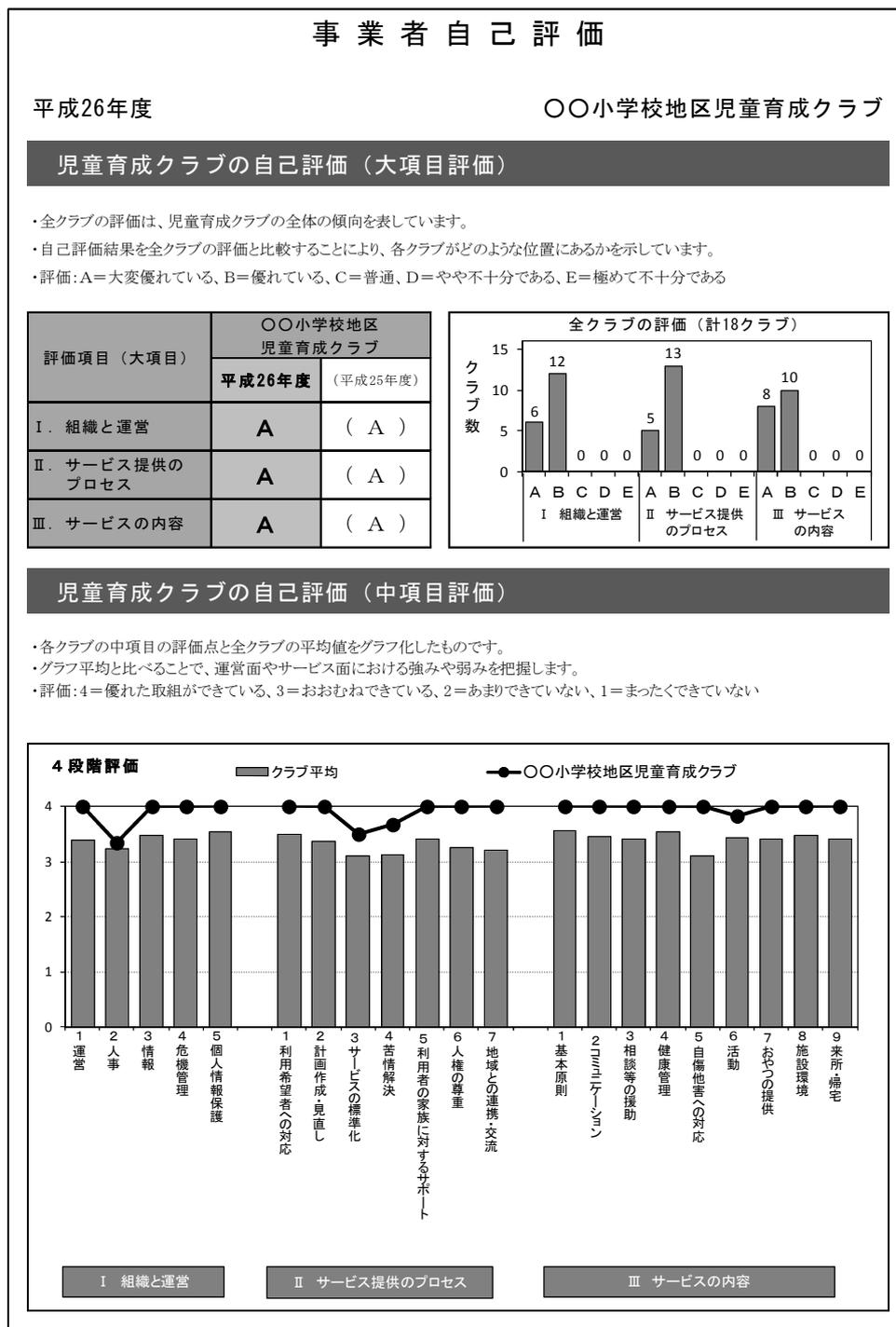
### (1) 事業者へのフィードバックに関する考え方

事業者自己評価シートの構成は、以下のとおりである。

#### ①事業者自己評価結果のフィードバック

事業者自己評価の結果については、サービスごとの全体集計結果と当該事業所の自己評価結果を対比できる資料を作成し、フィードバックする。これにより、自己評価を実施した事業者全体における当該事業所の位置づけを伝える。

#### [事業者へのフィードバックレポートのイメージ（自己評価）]



## 児童育成クラブの自己評価（小項目評価）

・各クラブの小項目の評価点と全クラブの平均値、平成25年度における評価点を示したものです。  
 ・評価: 4=優れた取組ができていて、3=おおむねできていて、2=あまりできていない、1=まったくできていない

### I 組織と運営

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成25年度との比較	
			平均	平均より上=↑	平成25年度	差
1 運営	① 理念・方針の職員への周知	4	3.2	↑	4	
	② 重要な意思決定時における職員や利用者への説明	4	3.4	↑	4	
	③ 職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり	4	3.6	↑	4	
	④ 利用者意見に対する適切な対応	4	3.6	↑	4	
	⑤ 利用者意向の事業計画への反映	4	2.9	↑	4	
	⑥ サービス改善状況の全職員への周知	4	3.5	↑	4	
	⑦ 市との連携や情報共有	4	3.3	↑	4	
	⑧ 学校との連携や情報共有	4	3.5	↑	4	
2 人事	① 職員研修の開催	4	3.4	↑	4	
	② 日常的な職員の意向把握	3	3.2		3	
	③ 職員の悩みへの対応	3	3.1		3	
3 情報	① 指示・連絡・報告・相談の体制	4	3.4	↑	4	
	② 利用者の家族に対する定期的な情報提供	4	3.6	↑	4	
	③ 情報公開の仕組み	4	3.4	↑	4	
4 危機管理	① 災害・緊急時の対策	4	3.5	↑	4	
	② 施設や設備の安全点検及び危険箇所への対処	4	3.3	↑	4	
	③ ケガや急病に対する救護対策	4	3.3	↑	3	△ 1
	④ 衛生管理(感染症の拡大防止)	4	3.6	↑	4	
	⑤ 衛生管理(食中毒の防止)	4	3.4	↑	4	
	⑥ ケガや事故の再発防止	4	3.3	↑	4	
5 個人情報保護	① 守秘義務の研修	4	3.4	↑	4	
	② 守秘義務のための取り組み	4	3.6	↑	4	
	③ 個人情報利用の利用者への説明	4	3.6	↑	4	
	④ プライバシーの確保	4	3.5	↑	4	

### II サービス提供のプロセス

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成25年度との比較	
			平均	平均より上=↑	平成25年度	差
1 利用希望者への対応	① 見学者の受け入れ、分かりやすい説明対応	4	3.5	↑	4	
	② 重要事項に関する書面による同意	4	3.4	↑	4	
	③ 説明資料の読みやすさ	4	3.6	↑	4	
2 計画作成・見直し	① 子どもや保護者の意見	4	3.5	↑	4	
	② 利用者への計画説明	4	3.5	↑	4	
	③ 実施計画の定期的な見直し	4	3.5	↑	4	
3 サービスの標準化	① 個々のサービスに応じた標準化	4	3.5	↑	4	
	② 新人職員に対する実地研修	4	3.5	↑	4	
4 苦情解決	① 苦情の受付体制、職員	4	3.5	↑	4	
	② 苦情の迅速な解決	4	3.5	↑	4	
	③ 苦情に関する情報共有	4	3.5	↑	4	
5 利用者の家族に対するサポート	① 保護者からの相談対応	4	3.5	↑	4	
6 人権の尊重	① 虐待防止のための具体	4	3.5	↑	4	
	② 家庭等の虐待兆候の早期発見	4	3.5	↑	4	
7 地域との連携・交流	① 施設外での活動範囲を	4	3.5	↑	4	
	② ボランティア・実習生に	4	3.5	↑	4	
	③ 関係機関・団体との連携	4	3.5	↑	4	

### III サービスの内容

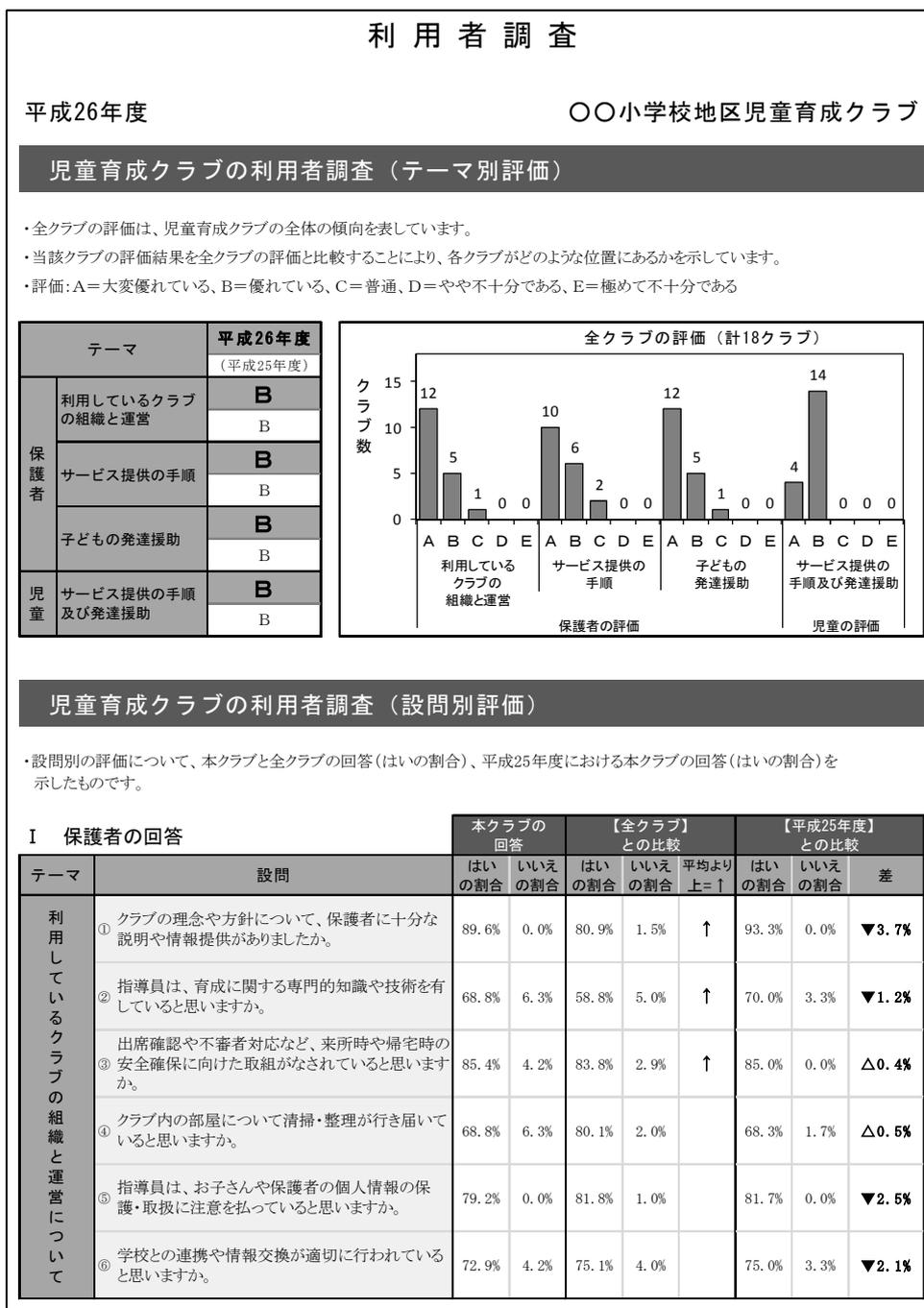
中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成25年度との比較	
			平均	平均より上=↑	平成25年度	差
1 基本原則	① 子どもの主体的な活動の援助	4	3.6	↑	4	
	② 子どもの状況や要望に応じた支援	4	3.5	↑	4	
	③ 提供したサービスの記録	4	3.6	↑	4	
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定の促進・受け止め	4	3.6	↑	4	
	② 子どもの人格や価値観を尊重した対応	4	3.3	↑	4	
3 相談等の援助	① 子どもからの相談対応	4	3.4	↑	4	
	② 子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映	4	3.4	↑	4	
4 健康管理	① 適切な服薬管理	4	3.4	↑	4	
	② 子どものケガや急病時の対応及び報告	4	3.6	↑	4	
	③ アレルギー疾患への配慮	4	3.6	↑	4	
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などに対する適切な対応	4	3.1	↑	4	
	② 専門家の協力を得た支援方法の工夫	4	3.1	↑	4	
6 活動	① 活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み	3	3.3		3	
	② 子どもが自由に遊べる時間の確保	4	3.5	↑	4	
	③ 学習活動を自主的に行える環境整備	4	3.5	↑	4	
	④ 子どもの豊かな人間関係が育つような配慮	4	3.4	↑	4	
	⑤ 互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援	4	3.4	↑	4	
	⑥ 障がいのある子どもが活動する際の支援	4	3.4	↑	4	
7 おやつ提供	① 質の高いおやつの提供	4	3.3	↑	4	
	② 子どもの嗜好や成長に合わせたおやつの提供	4	3.3	↑	4	
	③ おやつを楽しむことができるような配慮	4	3.6	↑	4	
8 施設環境	① 子どもが快適に生活するための施設環境の配慮	4	3.4	↑	3	△ 1
	② 施設内の清掃・整理	4	3.6	↑	4	
	③ 安全に活動するための設備・備品への配慮	4	3.4	↑	4	
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導	4	3.4	↑	4	

## ②利用者調査結果のフィードバック

利用者調査の結果については、当該事業所の項目別・分野別に見た利用評価が分かる資料を作成し、フィードバックする。ただし、サンプル数および回収数が極端に少なく、利用者が特定される可能性のある場合は非公開とする。

利用者の自由意見については、利用者が特定される意見を除き、全て事業者に報告する。

### 【事業者へのフィードバックレポートのイメージ（利用者調査）】



I 保護者の回答		本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
テーマ	設問	はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービスの提供の手順について	① 指導員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	89.6%	0.0%	88.0%	1.5%	↑	91.7%	0.0%	▼2.1%
	② あなたは、指導員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	64.6%	10.4%	68.8%	5.6%		63.3%	5.0%	△1.3%
	③ 連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	72.9%	4.2%	67.7%	8.5%	↑	80.0%	1.7%	▼7.1%
	④ お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを指導員に相談しやすいですか。	70.8%	4.2%	80.6%	3.6%		81.7%	0.0%	▼10.9%
	⑤ クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	75.0%	2.1%	79.5%	2.0%		85.0%	0.0%	▼10.0%
子どもの発達援助について	① 指導員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。	79.2%	0.0%	81.0%	1.3%		76.7%	0.0%	△2.5%
	② 指導員は、遊びを通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。	77.1%	0.0%	78.2%	2.6%		86.7%	0.0%	▼9.6%
	③ 指導員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に進める環境を整えていると思いますか。	60.4%	6.3%	68.4%	6.6%		70.0%	5.0%	▼9.6%
	④ 指導員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。	72.9%	2.1%	71.3%	3.1%	↑	86.7%	1.7%	▼13.8%
	⑤ 季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。	100.0%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	95.0%	0.0%	△5.0%
	⑥ クラブにおいての発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。	79.2%	6.3%	84.3%	2.6%		88.3%	0.0%	▼9.1%
	⑦ 指導員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。	75.0%	6.3%	79.8%	2.3%		83.3%	1.7%	▼8.3%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。	75.0%	2.1%	62.3%	1.6%	↑	81.7%	0.0%	▼6.7%
II 利用児童の回答		本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
テーマ	設問	はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービスの提供の手順及び発達援助について	① じどういっせいクラブのおやつはおいしいですか。	57.4%	0.0%	78.9%	1.5%		76.7%	0.0%	▼19.3%
	② じどういっせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。	48.9%	10.6%	73.4%	4.9%		70.0%	3.3%	▼21.1%
	③ じどういっせいクラブはたのしいですか。	76.6%	0.0%	77.5%	3.2%		71.7%	1.7%	△4.9%
	④ じどういっせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらいいか、いっしょにがんばりがえてくれましたか。	53.2%	2.1%	67.2%	2.7%		90.0%	0.0%	▼36.8%
	⑤ じどういっせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。	44.7%	8.5%	66.3%	3.5%		73.3%	3.3%	▼28.6%
II 利用児童の回答 別紙にて提供									

## (2) 評価結果の公表に関する考え方

### ①市民への公表

事業者自己評価および利用者調査の結果は、市のホームページ等を通じて市民に公表する。

公表の範囲は、「クラブ・運営事業者のプロフィール」、「運営事業者のサービス提供方針」、「運営事業者による自己評価結果」、「利用者による評価結果」をそれぞれ掲載する。

### [公表フォームのイメージ]

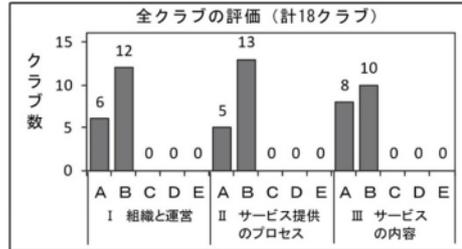
評 価 結 果									
平成 26 年度					〇〇小学校地区児童育成クラブ				
クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称									
クラブの所在地									
クラブの連絡先		電 話		F A X					
当該クラブの運営開始日									
開設場所									
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	人	利 用 者 数	人				
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常 勤	職員数	人	うち、男性	人	うち、女性	人		
		有資格者数	保育士	人	幼稚園教諭	人	幼稚園以外の教諭	人	
	非 常 勤	職員数	人	うち、男性	人	うち、女性	人		
		有資格者数	保育士	人	幼稚園教諭	人	幼稚園以外の教諭	人	
運営事業者のサービス提供方針									
サービスの提供にあたって大切にしていること									
		事業者の強み アピールしたい取組			サービス改善に向けた取組 今後の展望				
I 組織と運営	1 運営								
	2 人事								
	3 情報								
	4 危機管理								
	5 個人情報保護								
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応								
	2 計画作成・見直し								
	3 サービスの標準化								
	4 苦情解決								
	5 利用者家族へのサポート								
	6 人権の尊重								
	7 地域との連携・交流								
III サービスの内容	1 基本原則								
	2 コミュニケーション								
	3 相談等の援助								
	4 健康管理								
	5 自傷他害への対応								
	6 活動								
	7 おやつを提供								
	8 施設環境								
	9 来所・帰宅								

### 運営事業者による自己評価結果

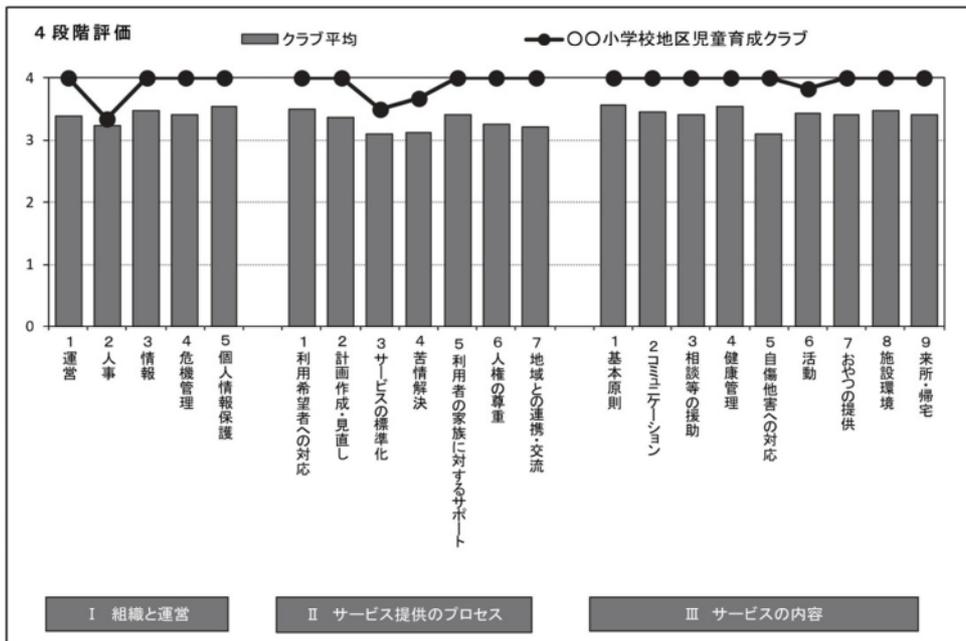
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)

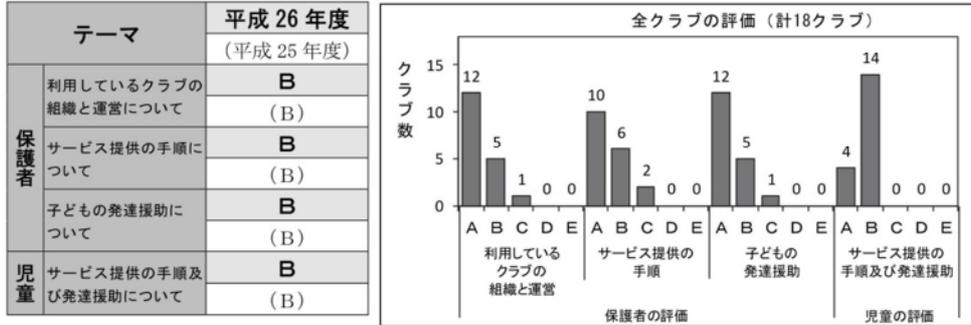


【中項目評価】・評価:4=優れた取組ができて、3=おおむねできて、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	89.6%	0.0%	80.9%	1.5%	↑	93.3%	0.0%	▼3.7%
	② 指導員の専門的知識や技術	68.8%	6.3%	58.8%	5.0%	↑	70.0%	3.3%	▼1.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	85.4%	4.2%	83.8%	2.9%	↑	85.0%	0.0%	△0.4%
	④ クラブ内の清掃・整理	68.8%	6.3%	80.1%	2.0%		68.3%	1.7%	△0.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	79.2%	0.0%	81.8%	1.0%		81.7%	0.0%	▼2.5%
	⑥ 学校との連携や情報交換	72.9%	4.2%	75.1%	4.0%		75.0%	3.3%	▼2.1%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	89.6%	0.0%	88.0%	1.5%	↑	91.7%	0.0%	▼2.1%
	② 指導員同士の情報共有	64.6%	10.4%	68.8%	5.6%		63.3%	5.0%	△1.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	72.9%	4.2%	67.7%	8.5%	↑	80.0%	1.7%	▼7.1%
	④ 指導員への相談しやすさ	70.8%	4.2%	80.6%	3.6%		81.7%	0.0%	▼10.9%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	75.0%	2.1%	79.5%	2.0%		85.0%	0.0%	▼10.0%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	79.2%	0.0%	81.0%	1.3%		76.7%	0.0%	△2.5%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	77.1%	0.0%	78.2%	2.6%		86.7%	0.0%	▼9.6%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	60.4%	6.3%	68.4%	6.6%		70.0%	5.0%	▼9.6%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	72.9%	2.1%	71.3%	3.1%	↑	86.7%	1.7%	▼13.8%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	95.0%	0.0%	△5.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	79.2%	6.3%	84.3%	2.6%		88.3%	0.0%	▼9.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	75.0%	6.3%	79.8%	2.3%		83.3%	1.7%	▼8.3%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	75.0%	2.1%	62.3%	1.6%	↑	81.7%	0.0%	▼6.7%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス発達援助について	① おやつのおいしさ	57.4%	0.0%	78.9%	1.5%		76.7%	0.0%	▼19.3%
	② へややといれのきもちよさ	48.9%	10.6%	73.4%	4.9%		70.0%	3.3%	▼21.1%
	③ クラブのたのしさ	76.6%	0.0%	77.5%	3.2%		71.7%	1.7%	△4.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	53.2%	2.1%	67.2%	2.7%		90.0%	0.0%	▼36.8%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	44.7%	8.5%	66.3%	3.5%		73.3%	3.3%	▼28.6%

## ②評価結果の問い合わせ対応

今回の評価結果について、公表後に、利用者や市民から問い合わせがあった場合には、事業者既に設置されている問い合わせ窓口や担当者を通じて対処頂く。また、調査実施方法や全クラブ共通の事項については、市青少年課が窓口となって対処する。



## 第2章 平成26年度 児童育成クラブに係る評価結果



## 第2章 平成26年度 児童育成クラブに係る評価結果

### 1. 調査の概要

#### (1) 事業者自己評価

①目的	事業所の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブ 18クラブ
③期間	平成27年2月2日(月)～平成27年2月27日(金)
④方法	事業者自己評価は、市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。

#### (2) 利用者調査

①目的	サービスについて利用者が日ごろ感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブの利用者(児童)及び保護者
③期間	平成27年2月2日(月)～平成27年2月27日(金)
④方法	無記名のアンケート方式により実施した。 調査票は、事業所から利用者へ直接配布し、郵送により回収した。

#### (3) 各調査の実施状況

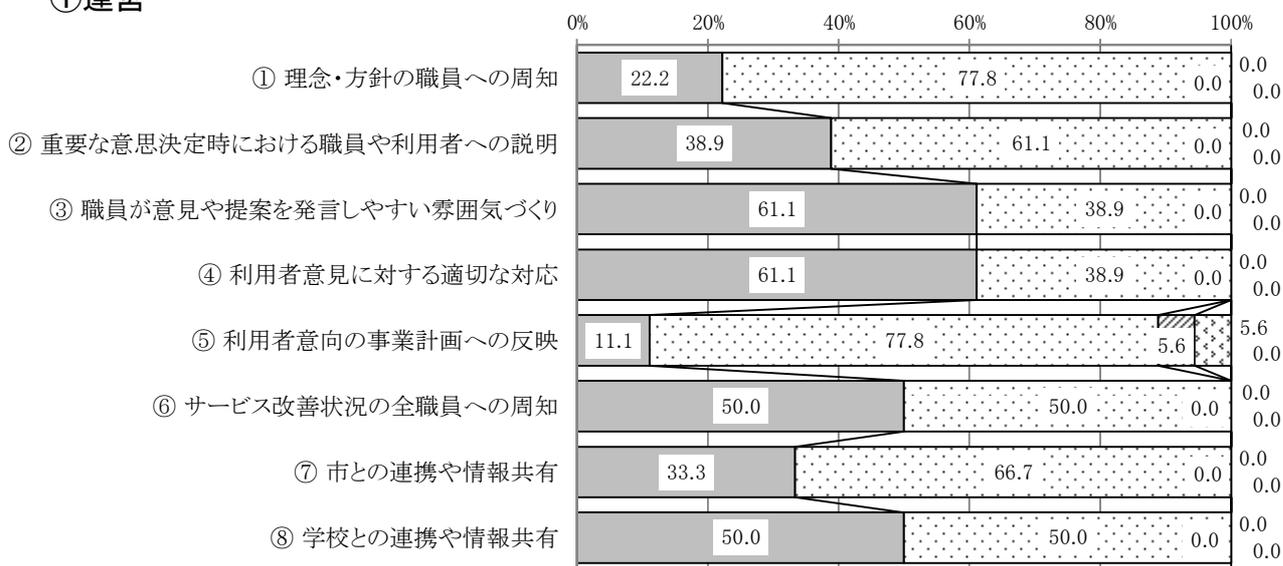
No.	児童育成クラブ名	事業者調査	利用者調査		
		回収状況	配布数	回収数	回収率
1	浦安小学校地区児童育成クラブ	○	84	48	57.1%
2	南小学校地区児童育成クラブ	○	143	77	53.8%
3	北部小学校地区児童育成クラブ	○	159	93	58.5%
4	見明川小学校地区児童育成クラブ	○	76	53	69.7%
5	富岡小学校地区児童育成クラブ	○	41	29	70.7%
6	美浜南小学校地区児童育成クラブ	○	53	29	54.7%
7	入船北小学校地区児童育成クラブ	○	30	26	86.7%
8	東小学校地区児童育成クラブ	○	149	101	67.8%
9	入船南小学校地区児童育成クラブ	○	81	54	66.7%
10	舞浜小学校地区児童育成クラブ	○	116	72	62.1%
11	美浜北小学校地区児童育成クラブ	○	32	25	78.1%
12	日の出小学校地区児童育成クラブ	○	102	66	64.7%
13	明海小学校地区児童育成クラブ	○	64	39	60.9%
14	高洲小学校地区児童育成クラブ	○	153	107	69.9%
15	日の出南小学校地区児童育成クラブ	○	90	49	54.4%
16	明海南小学校地区児童育成クラブ	○	54	38	70.4%
17	高洲北小学校地区児童育成クラブ	○	80	48	60.0%
18	東野小学校地区児童育成クラブ	○	168	102	60.7%
	<b>合計</b>	<b>18施設</b>	<b>1,675</b>	<b>1,056</b>	<b>63.0%</b>

## 2. 事業者自己評価の結果

事業者自己評価について、全 18 クラブの単純集計の結果は以下のとおりである。

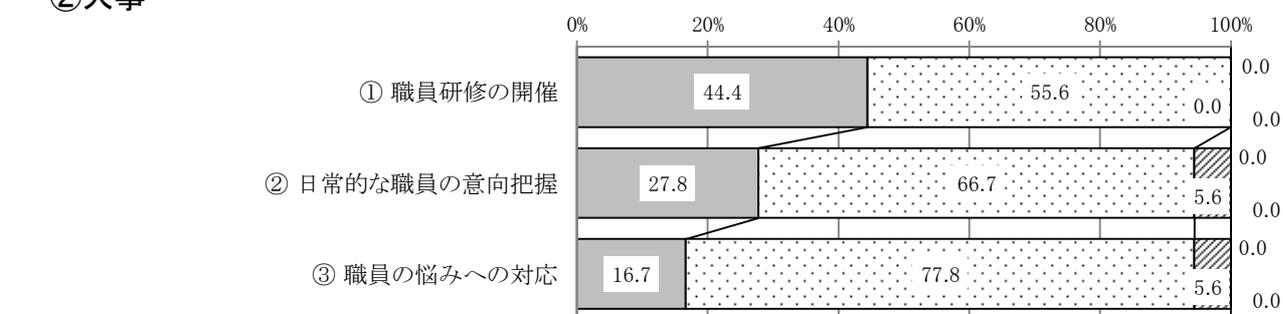
### (1) 組織と運営

#### ① 運営



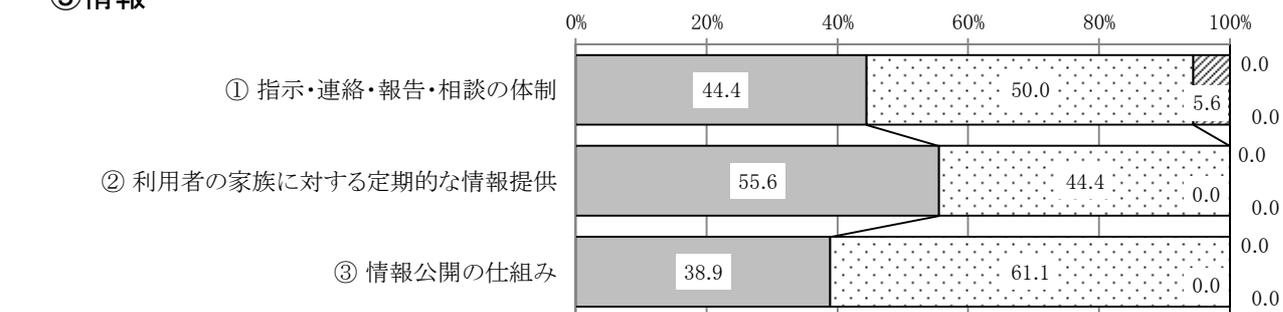
優れた取組ができていない
  おおむねできていない
  あまりできていない
  まったくできていない
  無回答

#### ② 人事



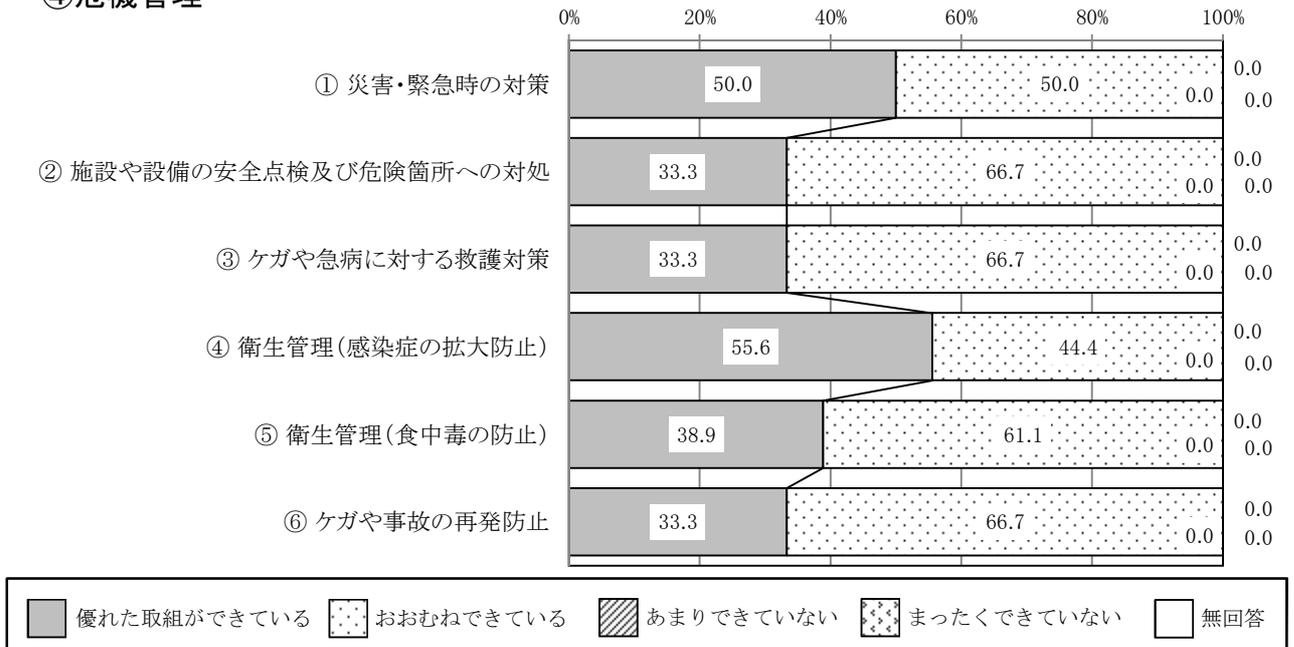
優れた取組ができていない
  おおむねできていない
  あまりできていない
  まったくできていない
  無回答

#### ③ 情報

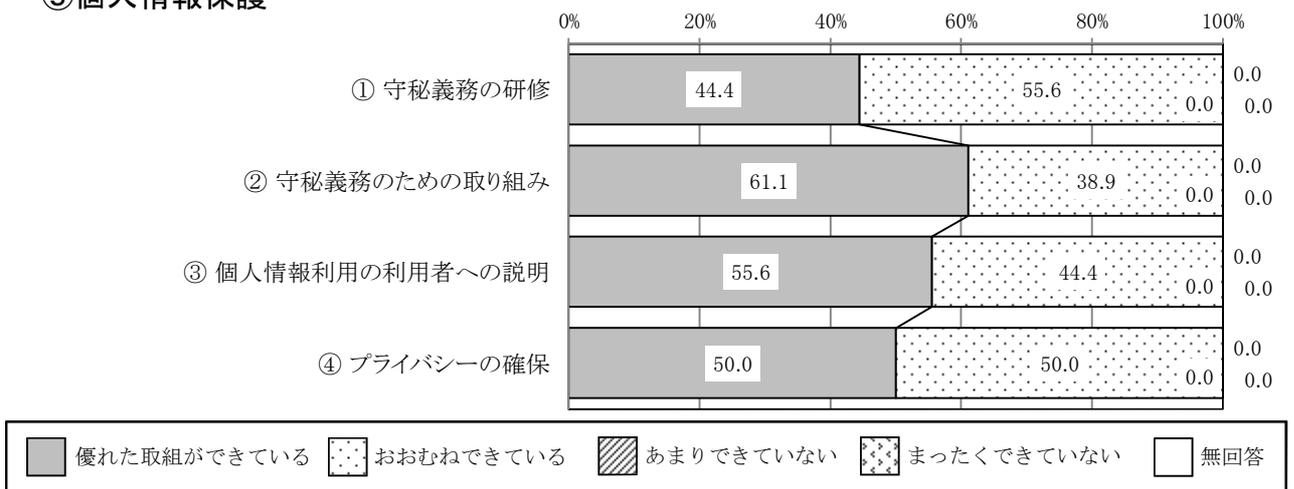


優れた取組ができていない
  おおむねできていない
  あまりできていない
  まったくできていない
  無回答

## ④危機管理

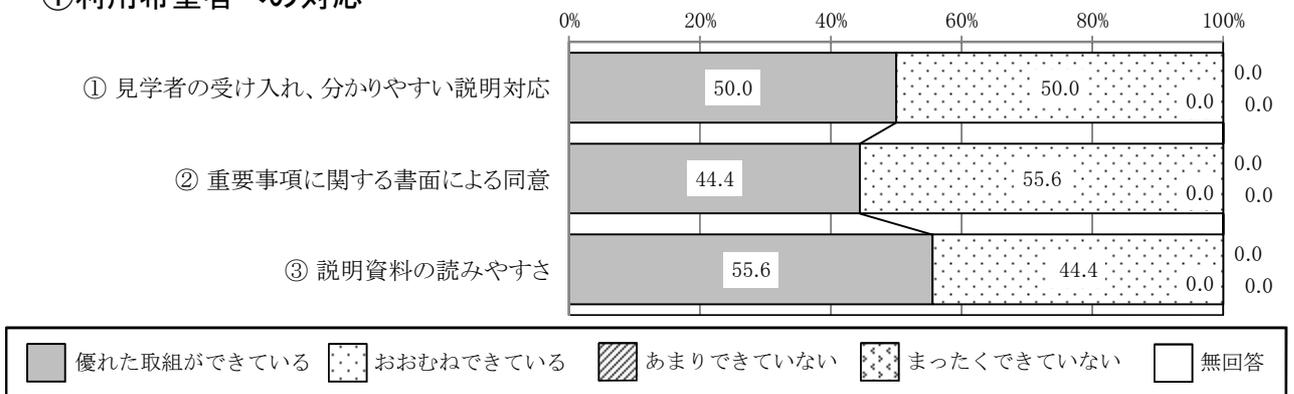


## ⑤個人情報保護

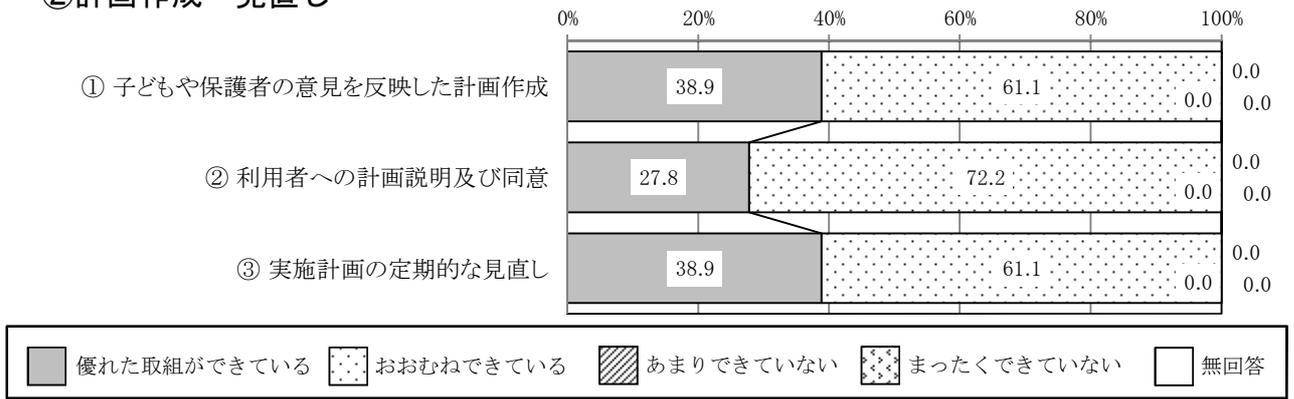


## (2) サービス提供のプロセス

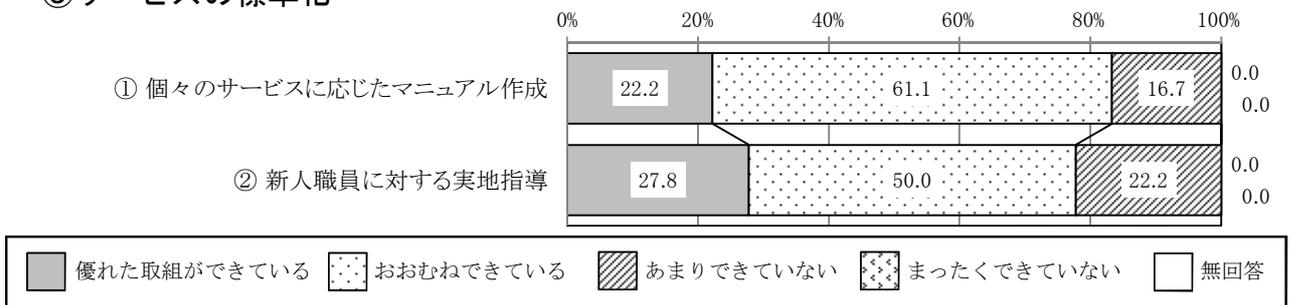
### ①利用希望者への対応



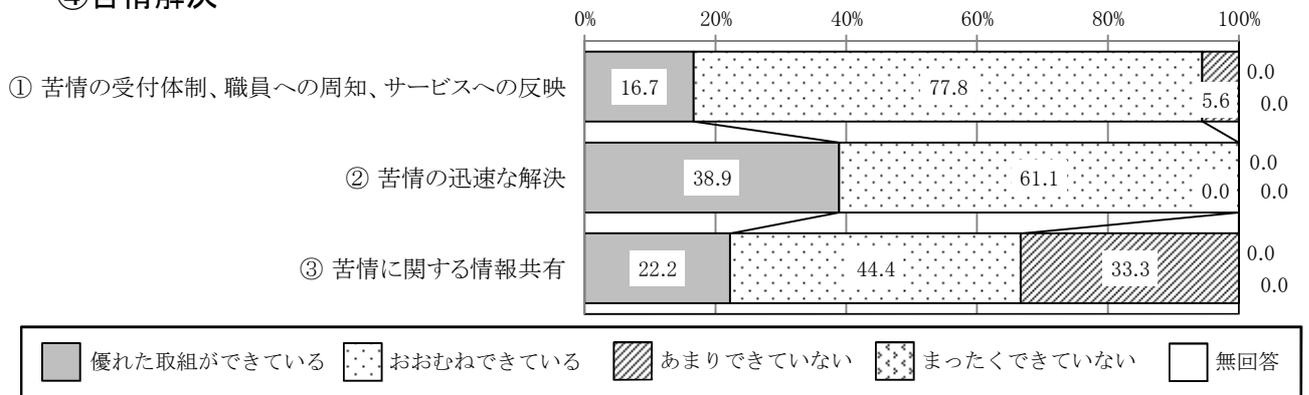
## ②計画作成・見直し



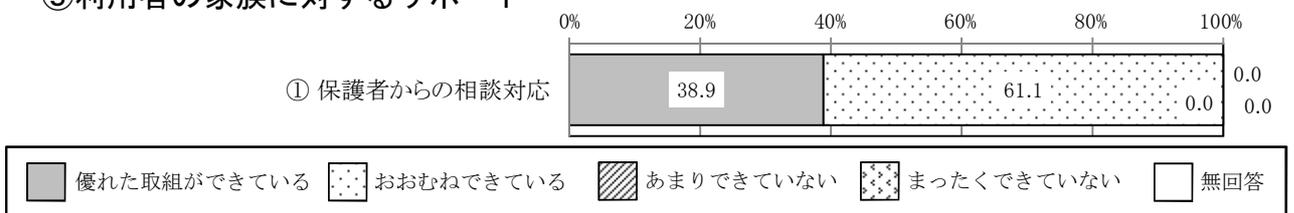
## ③サービスの標準化



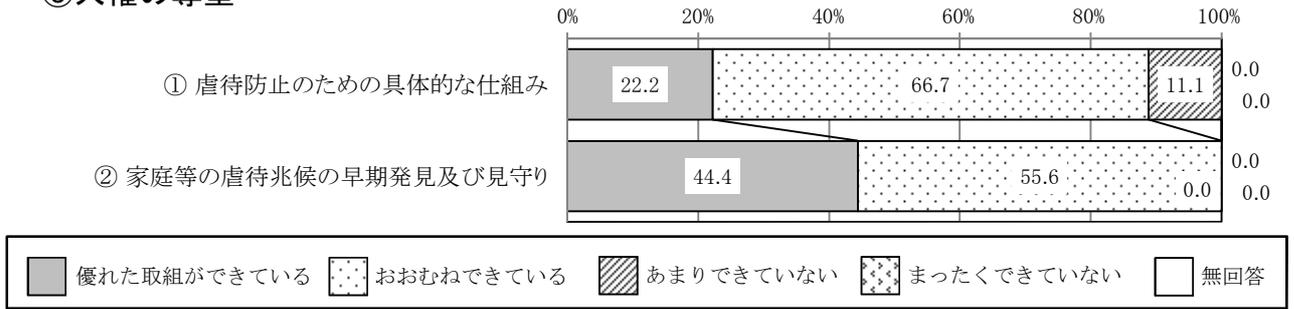
## ④苦情解決



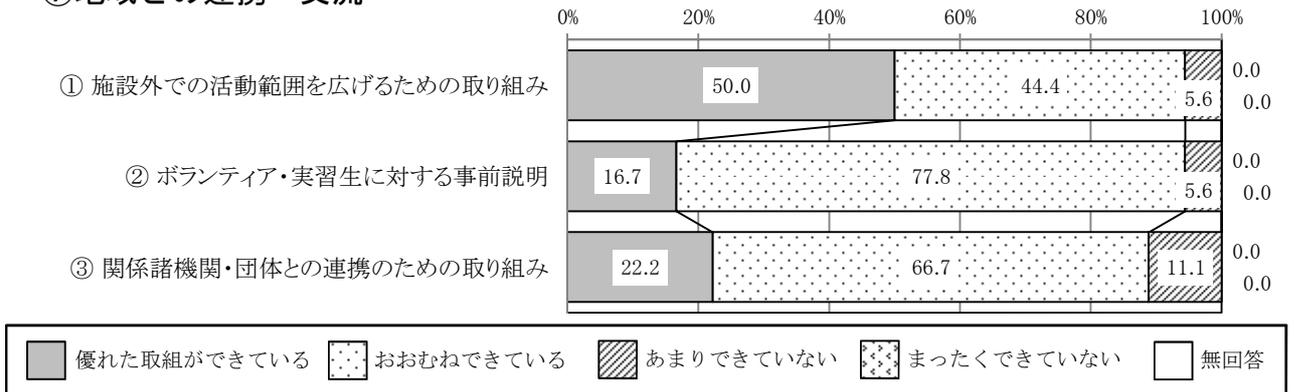
## ⑤利用者の家族に対するサポート



## ⑥人権の尊重

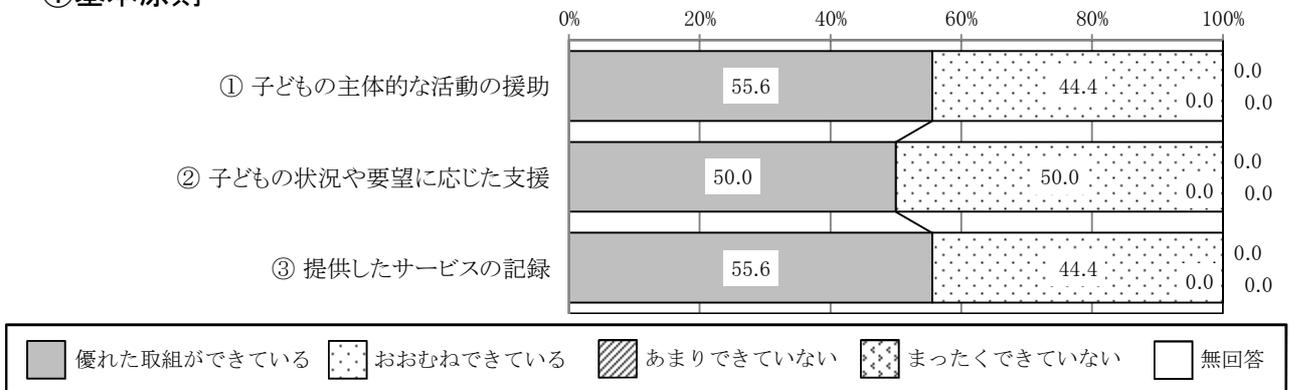


## ⑦地域との連携・交流

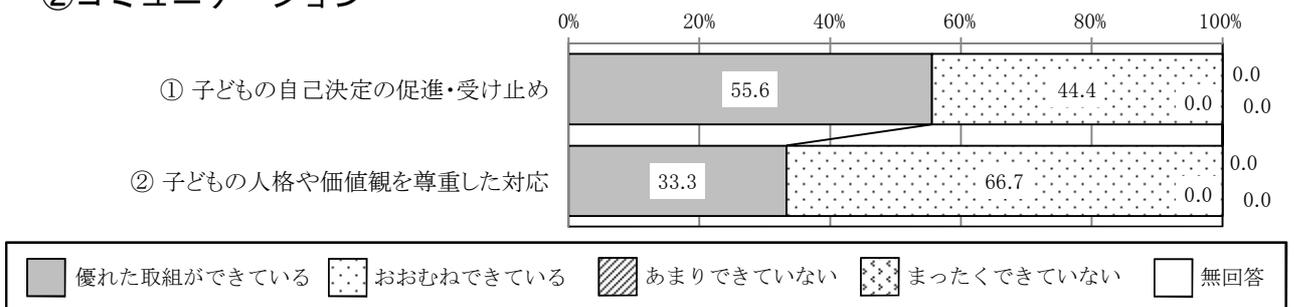


## (3) サービスの内容

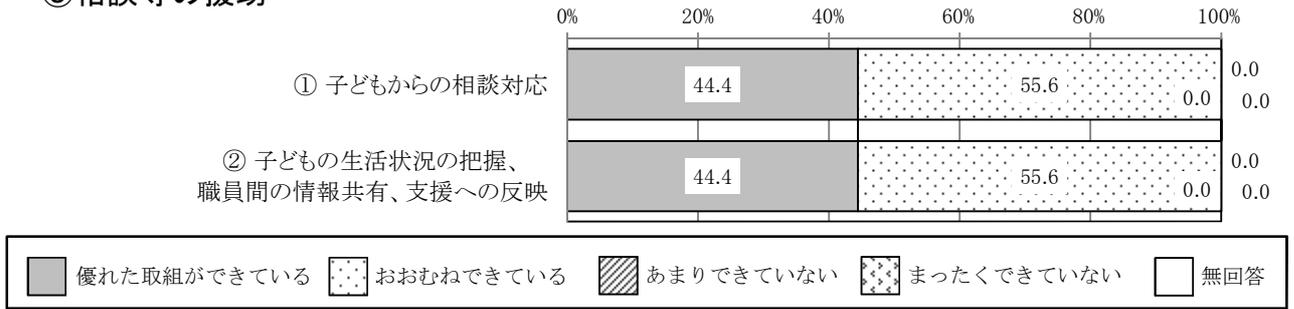
### ①基本原則



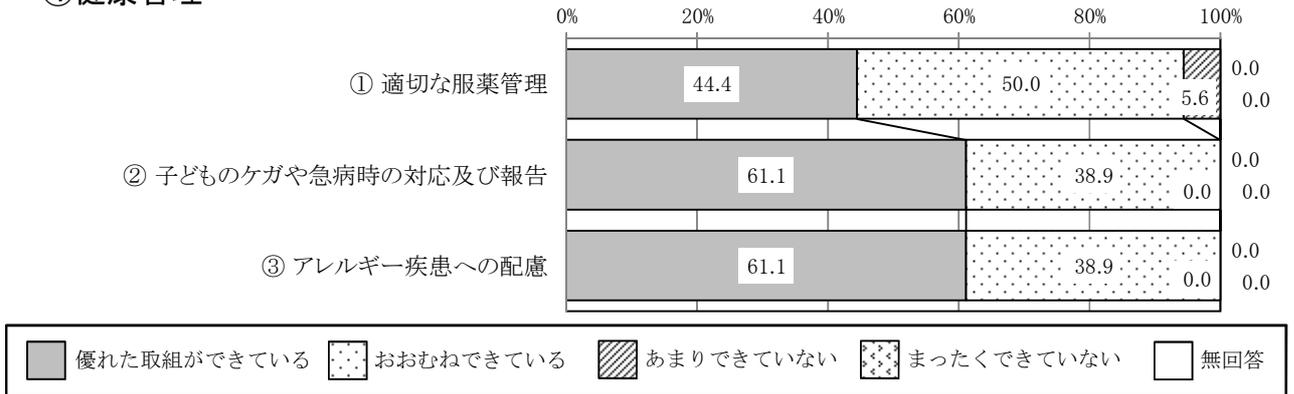
### ②コミュニケーション



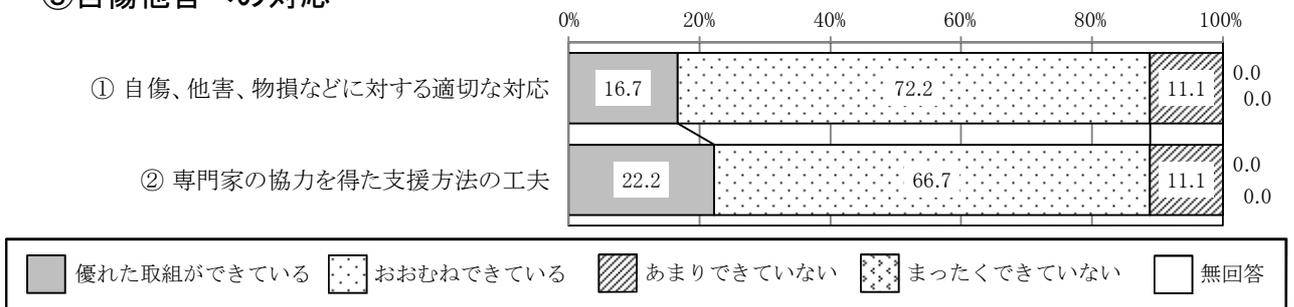
### ③相談等の援助



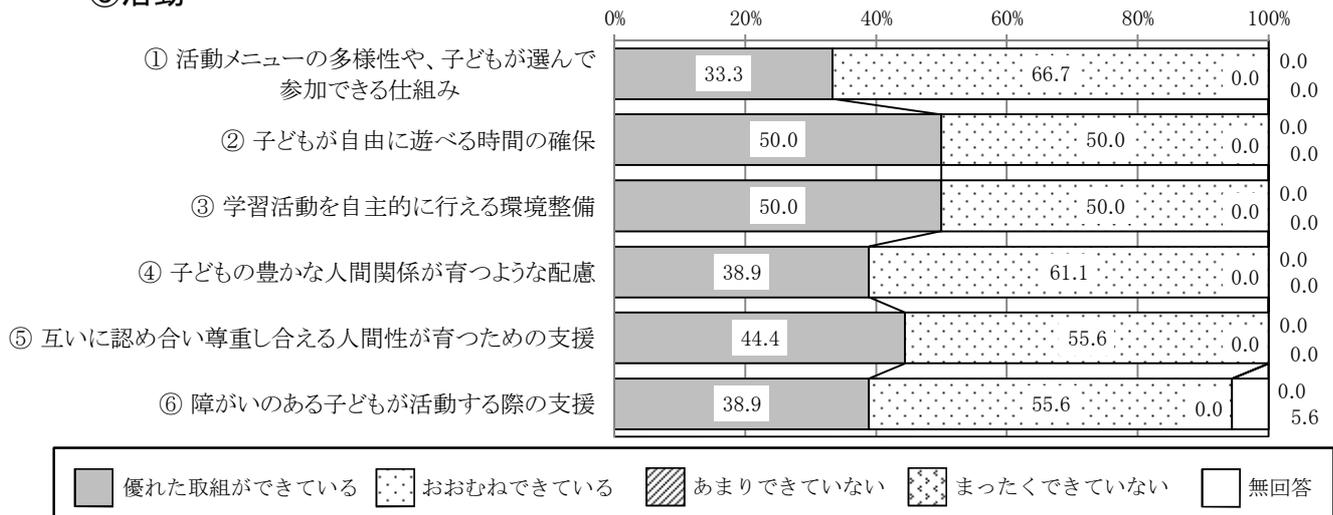
### ④健康管理



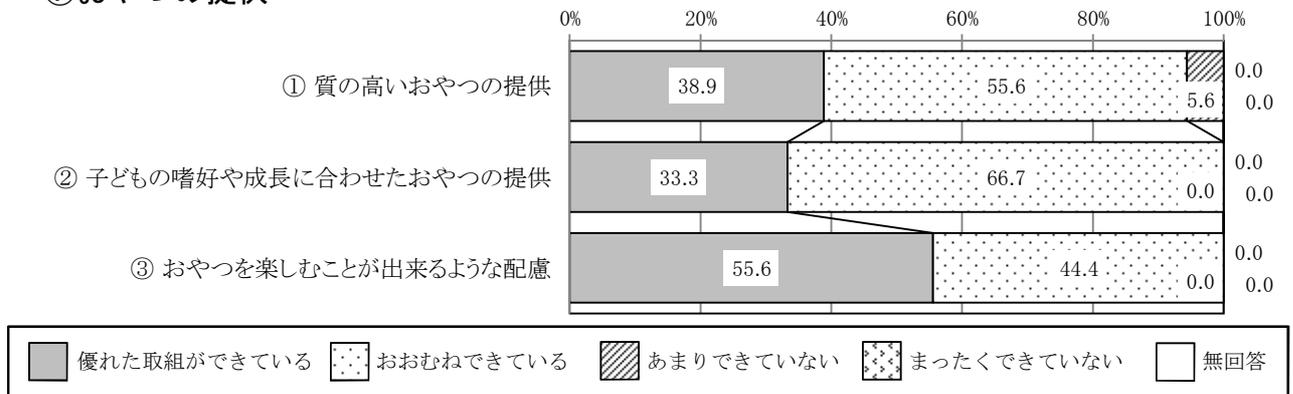
### ⑤自傷他害への対応



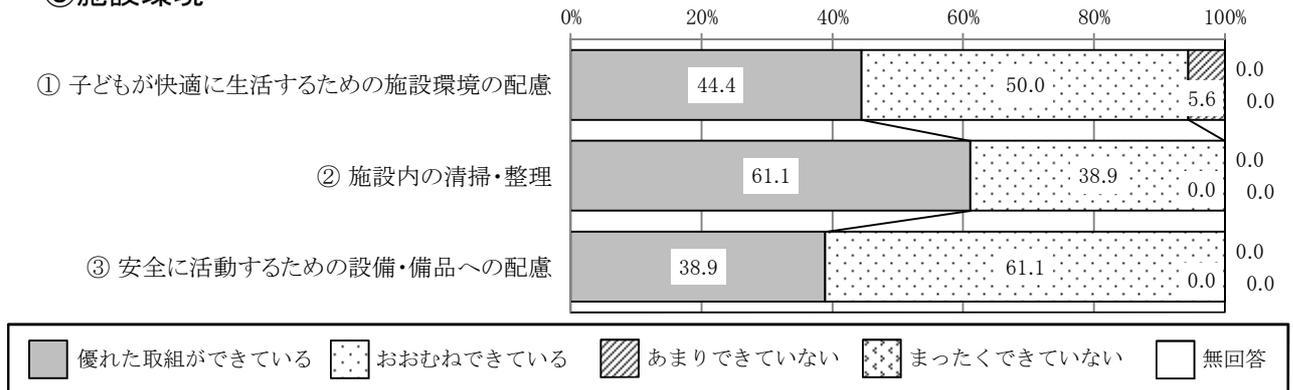
## ⑥活動



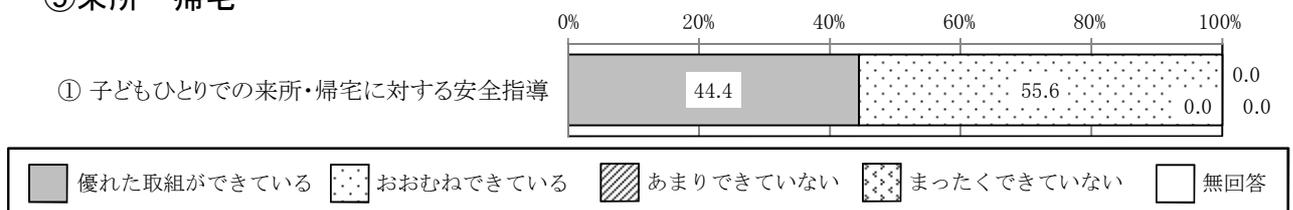
## ⑦おやつを提供



## ⑧施設環境



## ⑨来所・帰宅

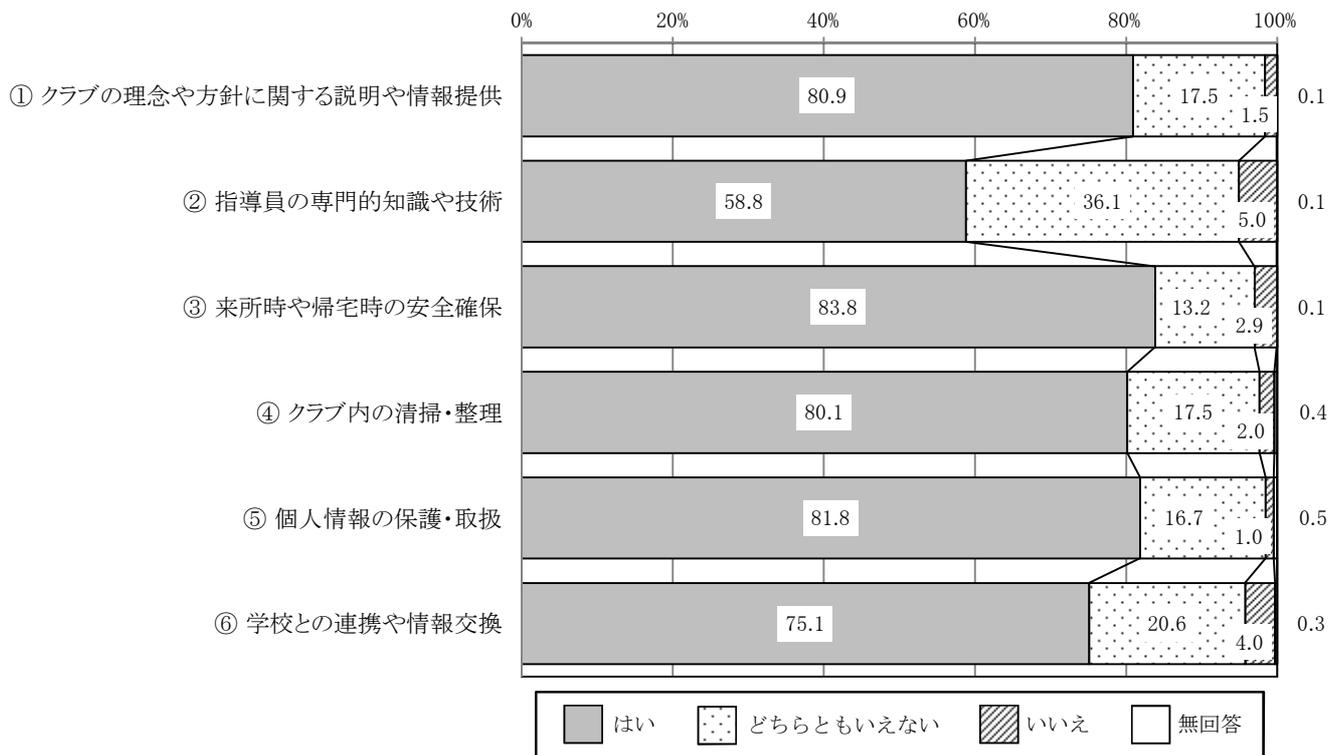


### 3. 利用者調査の結果

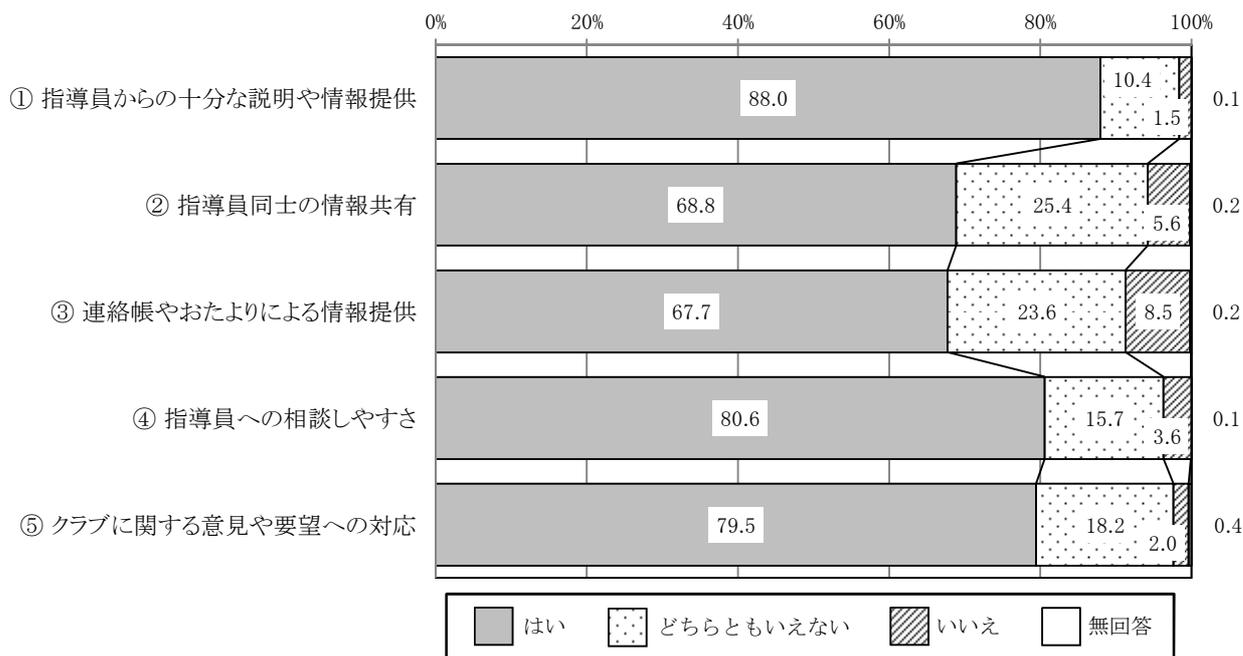
利用者調査について、全回答者の単純集計の結果は、以下のとおりである。

#### (1) 利用しているクラブの組織と運営について

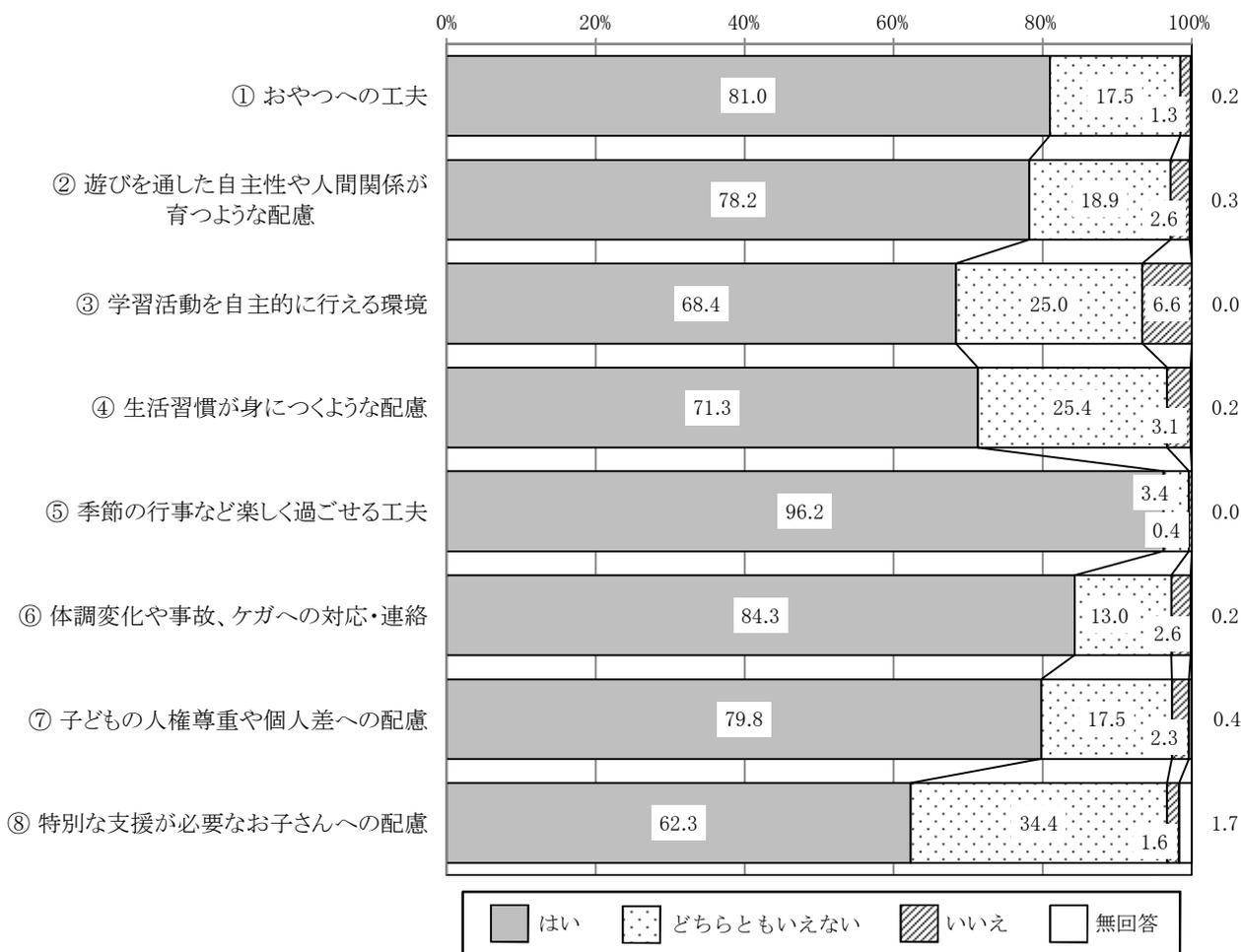
[◆保護者◆] 回答者数=1,056件



(2) サービス提供の手順について [◆保護者◆] 回答者数=1,056件

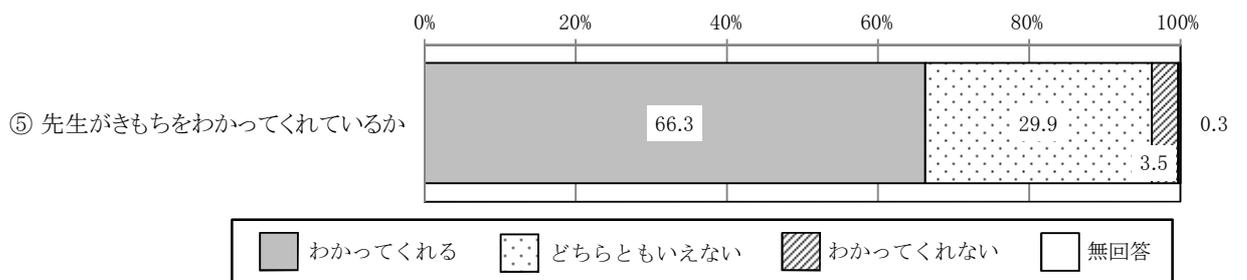
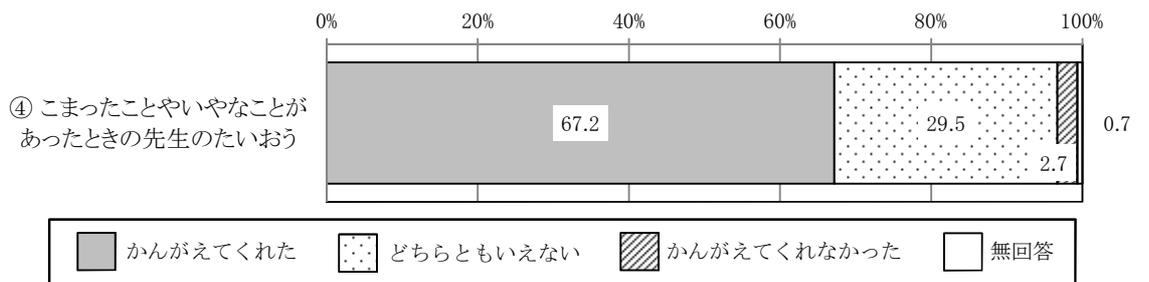
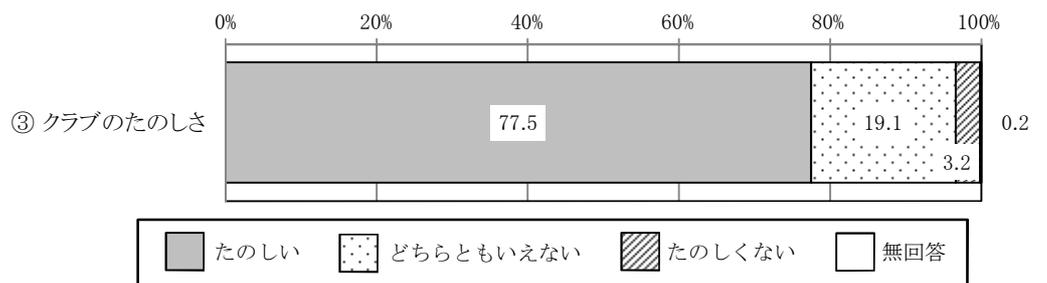
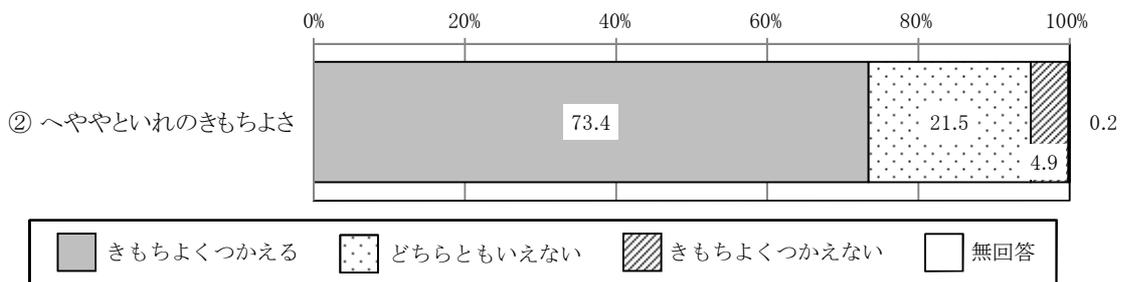
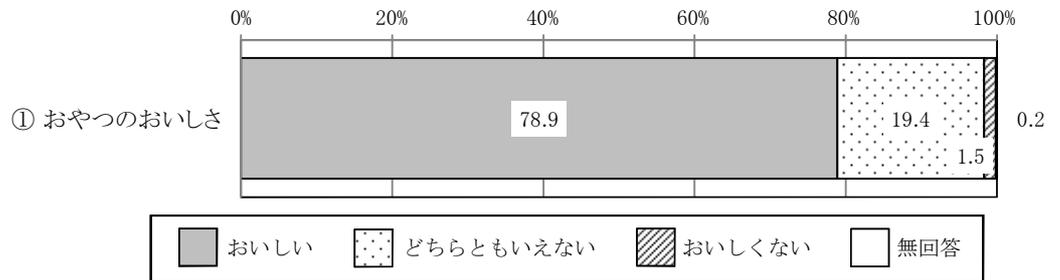


(3) 子どもの発達援助について [◆保護者◆] 回答者数=1,056件



(4) サービスの提供の手順および発達援助について

[◇児童◇] 回答者数=1,052 件

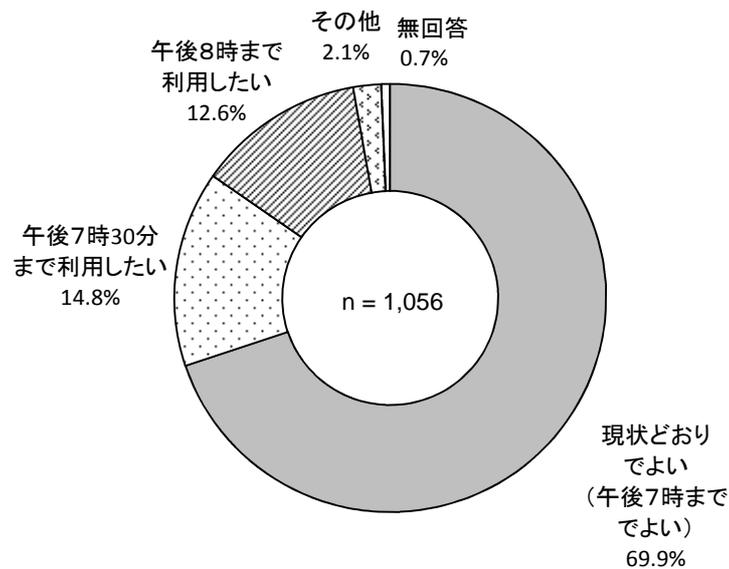


## 4. 開所時間・曜日の拡充について

利用者調査の結果から、開所時間・曜日の拡充についての単純集計結果は、以下のとおりである。

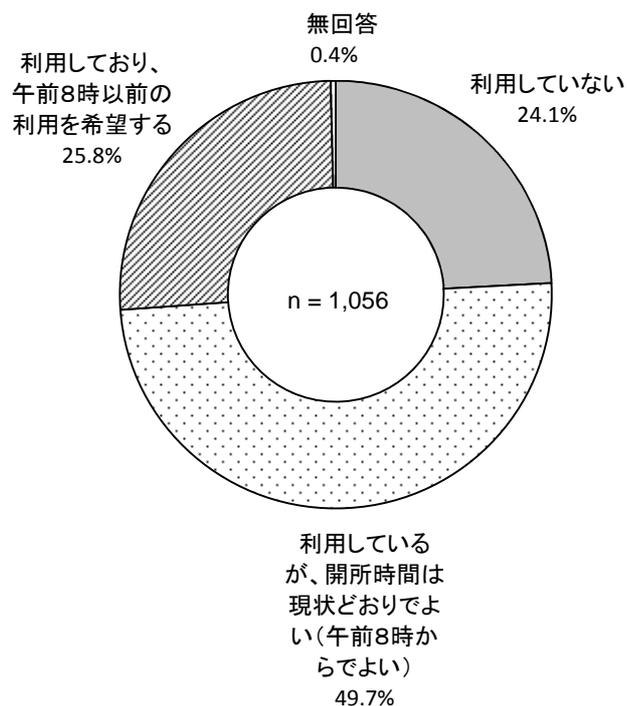
### (1) 平日の開所時間について

[◆保護者◆] 回答者数=1,056件



### (2) 土曜日及び小学校の長期休業日の開所時間について

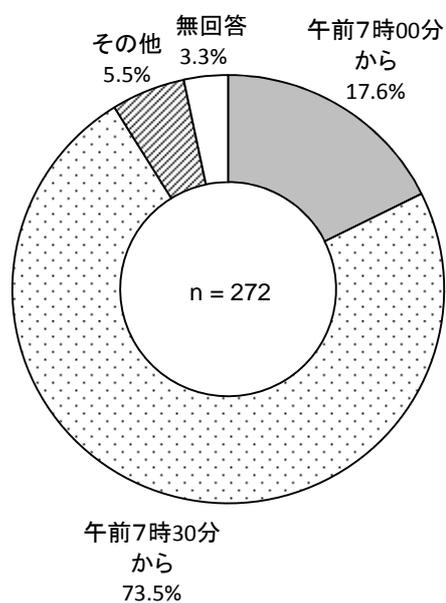
[◆保護者◆] 回答者数=1,056件



### (3) 土曜日及び小学校の長期休業日の開所希望時間について

[◆保護者◆]

回答者数=272件

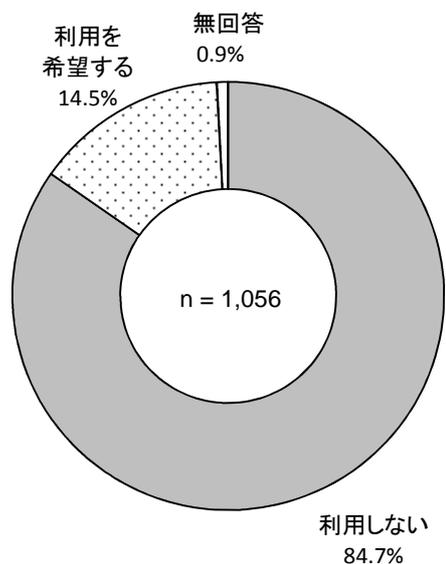


※土曜日・小学校の長期休業日にクラブを利用しており、開所時間を午前8時以前に希望している方のみ

### (4) 日曜日や祝日の開所希望について

[◆保護者◆]

回答者数=1,056件



## 5. クラブ別評価結果

---

# 評価結果

平成 26 年度

浦安小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール								
事業者の名称		株式会社 日本ダイケアセンター						
クラブの所在地		浦安市猫実四丁目 9 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-351-1990	F A X	047-351-1990			
当該クラブの運営開始日		平成 16 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	98 人		利 用 者 数	86 人		
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	12 人	うち、男性	1 人	うち、女性	11 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	2 人	うち、男性	0 人	うち、女性	2 人	
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	子どもの保護者の願い、要求を聞き毎日安心して通える場所と親子さんに代わって子どものことをしっかり受けとめ、自立に向けて「生きる力と豊かな心を培う」保育を柱として行っている。
-----------------------	--

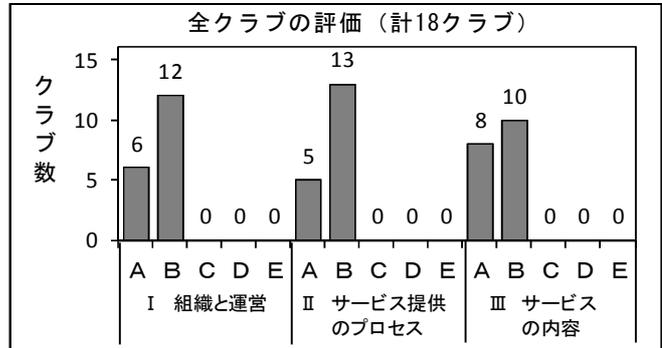
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	毎日のミーティングを行い、前日までの気になる子どもの様子、どう対応したかの報告、反省、今後の対応についてすり寄せ、保護者への伝達などの共通理解、先の行事に向けてなど学童保育に大切なことを常に意識し実践している。	保育の質の向上を目指していく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	保護者会を通じて親の願いや要望を吸い上げ建設的な意見は取り入れ、保育計画を立て実践している。子どもの日常の様子、行動を迅速に保護者に伝えている。	保護者会や保護者参加型の行事には、その行事についてもアンケートを吸い上げ、保育内容の向上を図る。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	宿題と遊びの時間を保証するとともに行事などを通して集団生活から協調性を育む。心の成長を願い、絵本の読み聞かせをしている。	「心の成長、思いやり、生きる力、考える力」を身につけていくためにも保護者とのコミュニケーションや信頼関係を深め、共に育てる「共育て」という思いで保育している。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

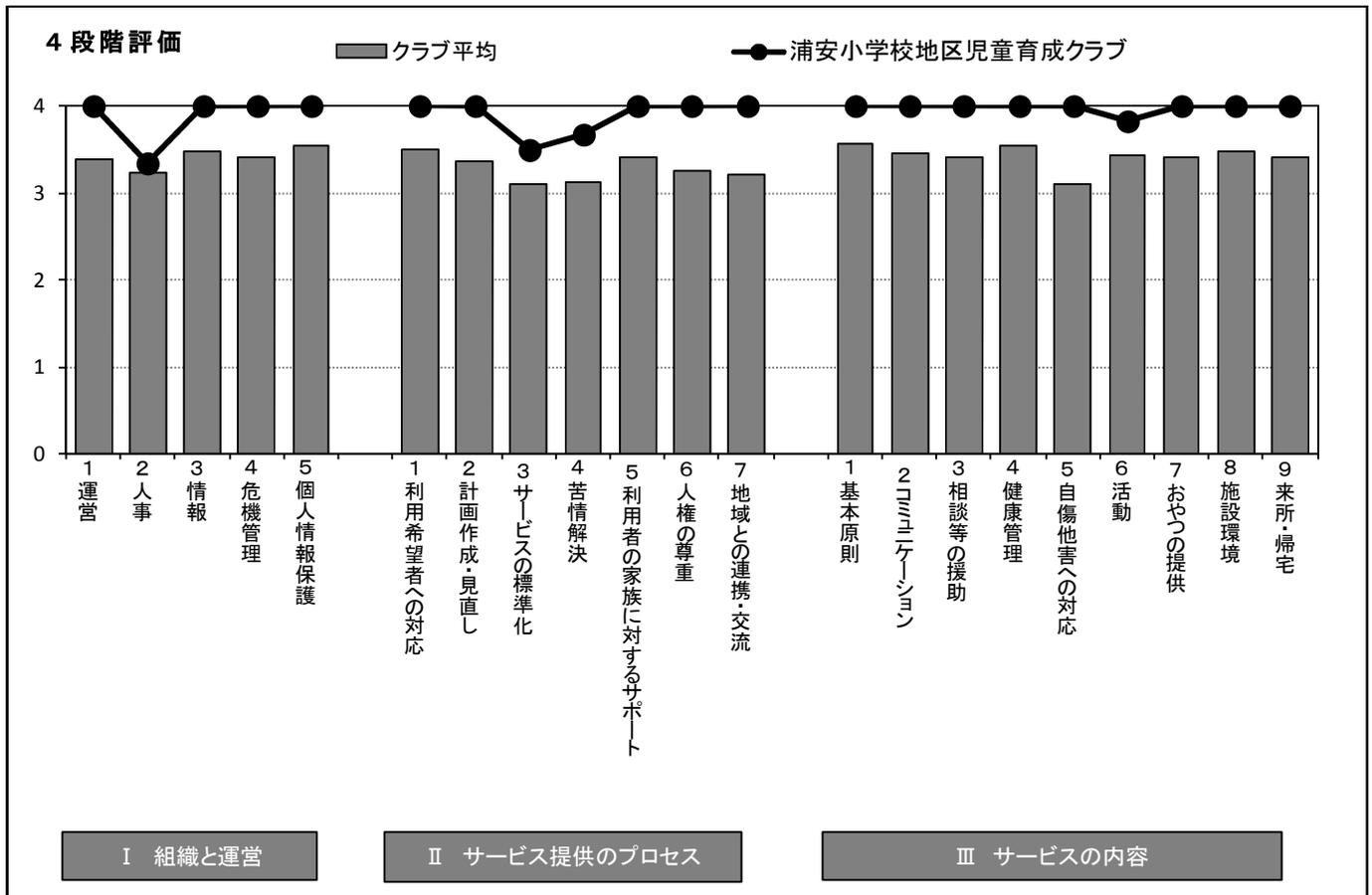
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供のプロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



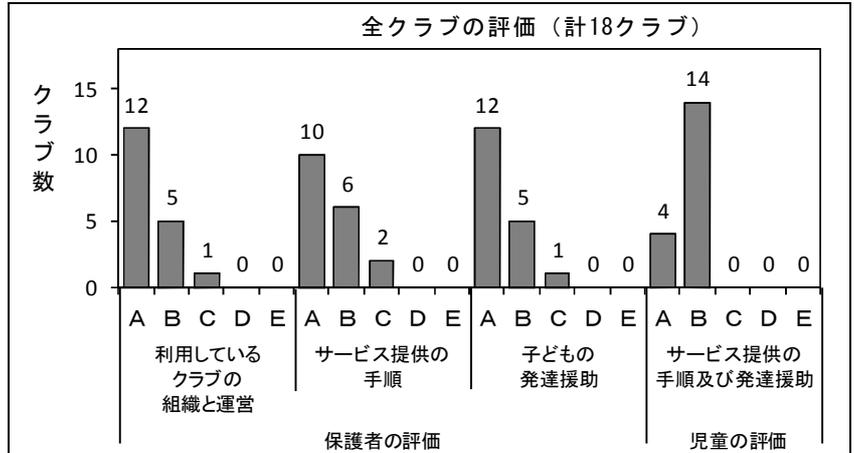
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	89.6%	0.0%	80.9%	1.5%	↑	93.3%	0.0%	▼3.7%
	② 指導員の専門的知識や技術	68.8%	6.3%	58.8%	5.0%	↑	70.0%	3.3%	▼1.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	85.4%	4.2%	83.8%	2.9%	↑	85.0%	0.0%	△0.4%
	④ クラブ内の清掃・整理	68.8%	6.3%	80.1%	2.0%		68.3%	1.7%	△0.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	79.2%	0.0%	81.8%	1.0%		81.7%	0.0%	▼2.5%
	⑥ 学校との連携や情報交換	72.9%	4.2%	75.1%	4.0%		75.0%	3.3%	▼2.1%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	89.6%	0.0%	88.0%	1.5%	↑	91.7%	0.0%	▼2.1%
	② 指導員同士の情報共有	64.6%	10.4%	68.8%	5.6%		63.3%	5.0%	△1.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	72.9%	4.2%	67.7%	8.5%	↑	80.0%	1.7%	▼7.1%
	④ 指導員への相談しやすさ	70.8%	4.2%	80.6%	3.6%		81.7%	0.0%	▼10.9%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	75.0%	2.1%	79.5%	2.0%		85.0%	0.0%	▼10.0%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	79.2%	0.0%	81.0%	1.3%		76.7%	0.0%	△2.5%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	77.1%	0.0%	78.2%	2.6%		86.7%	0.0%	▼9.6%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	60.4%	6.3%	68.4%	6.6%		70.0%	5.0%	▼9.6%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	72.9%	2.1%	71.3%	3.1%	↑	86.7%	1.7%	▼13.8%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	95.0%	0.0%	△5.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	79.2%	6.3%	84.3%	2.6%		88.3%	0.0%	▼9.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	75.0%	6.3%	79.8%	2.3%		83.3%	1.7%	▼8.3%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	75.0%	2.1%	62.3%	1.6%	↑	81.7%	0.0%	▼6.7%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	57.4%	0.0%	78.9%	1.5%		76.7%	0.0%	▼19.3%
	② へややといれのきもちよさ	48.9%	10.6%	73.4%	4.9%		70.0%	3.3%	▼21.1%
	③ クラブのたのしさ	76.6%	0.0%	77.5%	3.2%		71.7%	1.7%	△4.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	53.2%	2.1%	67.2%	2.7%		90.0%	0.0%	▼36.8%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	44.7%	8.5%	66.3%	3.5%		73.3%	3.3%	▼28.6%

# 評価結果

平成 26 年度

南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		株式会社 日本ダイケアセンター					
クラブの所在地		浦安市堀江五丁目 4 番 1 号					
クラブの連絡先		電 話	047-352-1697	F A X	047-352-1697		
当該クラブの運営開始日		平成 22 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校敷地内／小学校敷地外（分室）					
定員／現在の利用者数 （平成 26 年 12 月末現在）		定 員	175 人		利 用 者 数	144 人	
職員数 （平成 26 年 12 月末現在）	常勤	職員数	9 人		うち、男性	2 人	
		有資格者数	保育士 3 人		幼稚園教諭	0 人	
	非常勤	職員数	7 人		うち、男性	0 人	
		有資格者数	保育士 人		幼稚園教諭	1 人	
				幼稚園以外の教諭	7 人		
				幼稚園以外の教諭	0 人		

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	①子どもの自主性を尊重し、高められる指導・場づくり ②子どもの社会性を育てる指導・場作り ③地域に根ざした指導・場作り
-----------------------	---

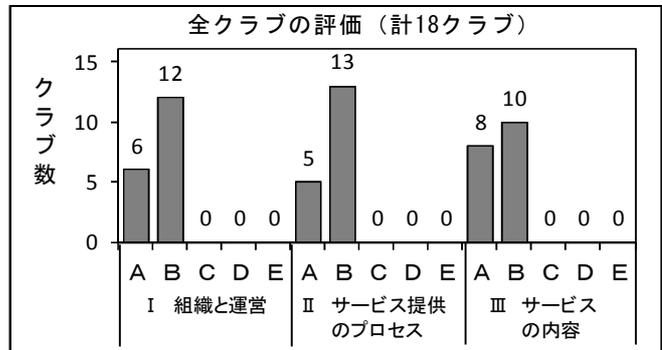
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	保護者会や職員会議の場で、意見を聞いたり、疑問点が出れば説明をし、意志・決定を口頭だけでなく、書面でも伝えている。避難訓練では、役割分担したものがマニュアル化されており、シュミレーションや訓練を実際にし、万が一の時に備えている。怪我や急病 AED 操作について研修を受け、現場で活かせるように努力している。個人情報の取り扱いについては、本部運営責任者より研修を受け、実践し、取扱いについて注意している。	業務上の悩みやストレスをかかえやすく、年に 1 度本部の運営責任者との面接はあるが、回数を増やす、もしくは運営責任者を交えた職員会議をする必要がある。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	重要な手紙や、入所のしおりなどは、読みやすい大きさにしている。苦情があればすぐに報告・連絡・相談をし、職員会議で検討し、迅速な解決を心がけている。怪我などがあれば原因を聞き、子どものしぐさや言動から、虐待をされていないか注意をして、見守りをしている。	サービスについて気が付いた点があれば、職員会議で話し合い、検討している。個々のサービスはできているつもりだが、マニュアル化されていないので、今後、マニュアル化される必要がある。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	子どもが自分で意志決定できるよう自立を促す支援をし、性格・価値観を尊重したマナーや心づかいを心がけている。宿題用の机を設けたり、換気をしたり、室温を調節し、消毒・清掃なども行い衛生管理をして、子ども達の過ごしやすい環境を整えている。怪我や急病発生時、速やかに対処し、保護者に連絡をしている。アレルギー対応について研修を受け周知している。防犯教室を行ったり、交通安全について呼びかけるなどして、降所時は気を付けて帰るよう声かけしている。	服薬を保護者から頼まれたことはない。保健師や看護師がいないため、今後、頼まれたことを想定して服薬管理について検討する必要がある。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

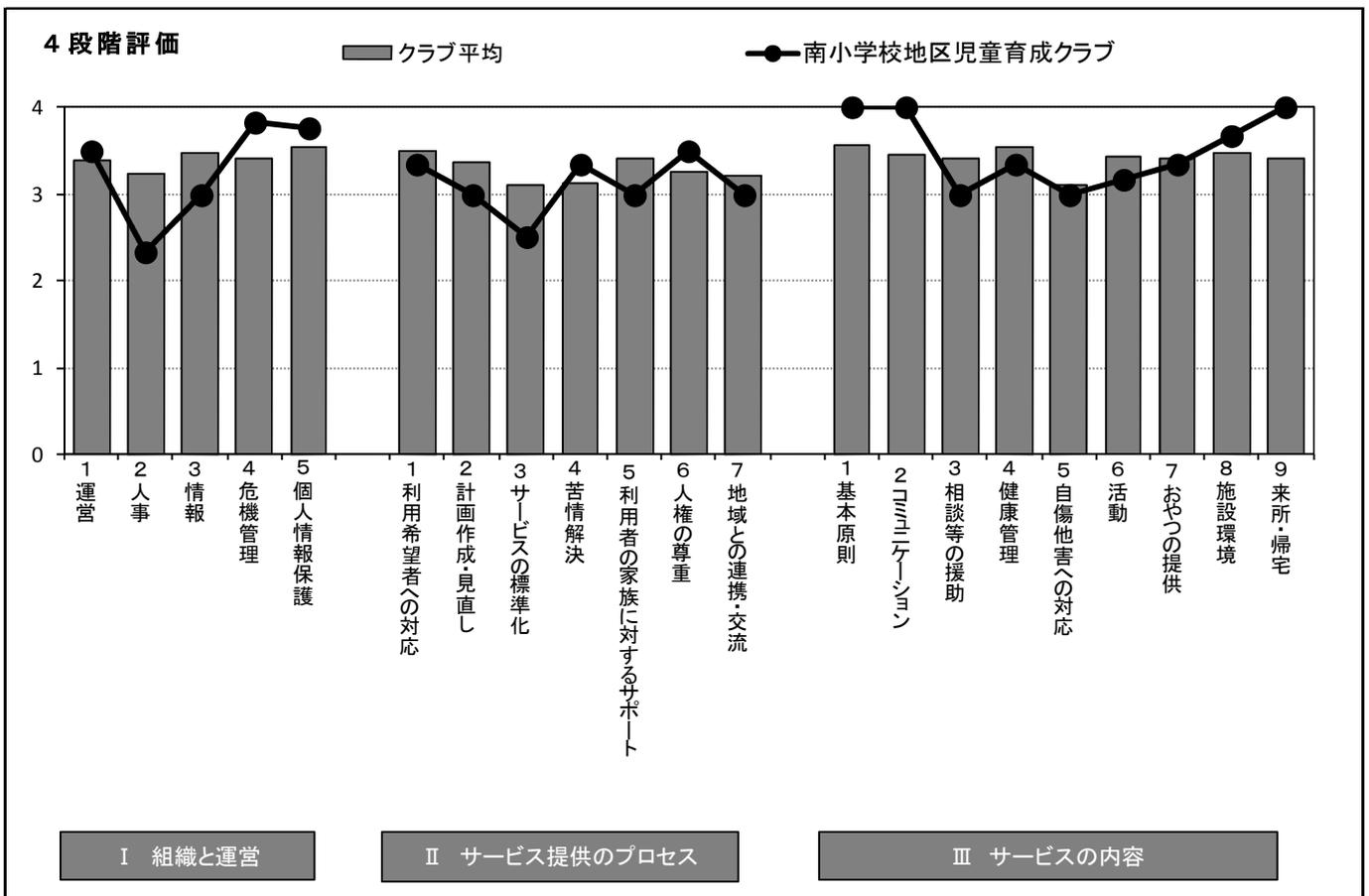
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供の プロセス	B (A)
III. サービスの内容	A (A)



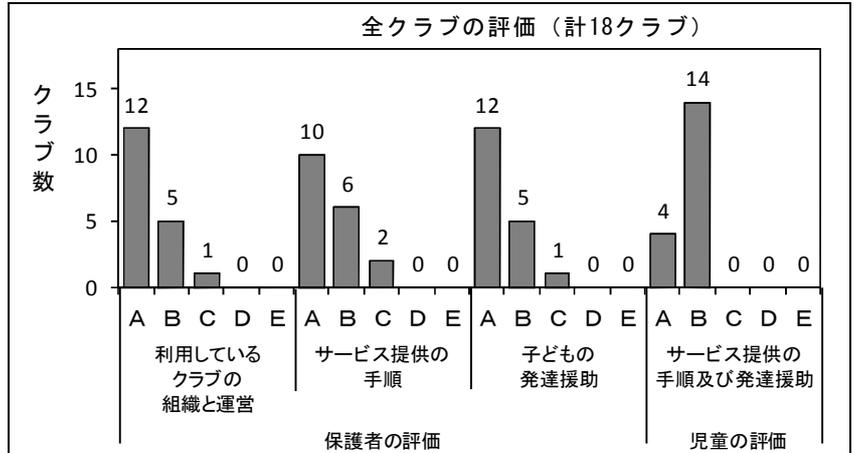
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	84.4%	0.0%	80.9%	1.5%	↑	90.2%	0.0%	▼5.8%
	② 指導員の専門的知識や技術	42.9%	7.8%	58.8%	5.0%		60.8%	0.0%	▼17.9%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	83.1%	2.6%	83.8%	2.9%		86.3%	2.0%	▼3.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	67.5%	5.2%	80.1%	2.0%		78.4%	0.0%	▼10.9%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	75.3%	0.0%	81.8%	1.0%		86.3%	0.0%	▼11.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	63.6%	5.2%	75.1%	4.0%		68.6%	5.9%	▼5.0%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	89.6%	1.3%	88.0%	1.5%	↑	90.2%	0.0%	▼0.6%
	② 指導員同士の情報共有	63.6%	9.1%	68.8%	5.6%		56.9%	3.9%	△6.7%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	49.4%	15.6%	67.7%	8.5%		74.5%	2.0%	▼25.1%
	④ 指導員への相談しやすさ	67.5%	2.6%	80.6%	3.6%		74.5%	2.0%	▼7.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	64.9%	3.9%	79.5%	2.0%		76.5%	2.0%	▼11.6%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	61.0%	0.0%	81.0%	1.3%		70.6%	0.0%	▼9.6%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	66.2%	2.6%	78.2%	2.6%		80.4%	0.0%	▼14.2%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	51.9%	7.8%	68.4%	6.6%		70.6%	7.8%	▼18.7%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	66.2%	5.2%	71.3%	3.1%		72.5%	7.8%	▼6.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	94.8%	0.0%	96.2%	0.4%		100.0%	0.0%	▼5.2%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	85.7%	1.3%	84.3%	2.6%	↑	94.1%	0.0%	▼8.4%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	72.7%	2.6%	79.8%	2.3%		88.2%	3.9%	▼15.5%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	39.0%	3.9%	62.3%	1.6%		49.0%	0.0%	▼10.0%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	76.3%	1.3%	78.9%	1.5%		80.4%	0.0%	▼4.1%
	② へややといれのきもちよさ	72.4%	5.3%	73.4%	4.9%		76.5%	5.9%	▼4.1%
	③ クラブのたのしさ	71.1%	11.8%	77.5%	3.2%		80.4%	2.0%	▼9.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	64.5%	3.9%	67.2%	2.7%		60.8%	2.0%	△3.7%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	60.5%	6.6%	66.3%	3.5%		54.9%	11.8%	△5.6%

# 評価結果

平成 26 年度

北部小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール								
事業者の名称		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ						
クラブの所在地		浦安市北栄三丁目 20 番 3 号						
クラブの連絡先		電 話	047-351-1782	F A X	047-351-1782			
当該クラブの運営開始日		平成 22 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校敷地外						
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	201 人		利 用 者 数	164 人		
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	7 人	うち、男性	2 人	うち、女性	5 人	
		有資格者数	保育士	1 人	幼稚園 教諭	3 人	幼稚園以 外の教諭	3 人
	非常勤	職員数	25 人	うち、男性	2 人	うち、女性	14 人	
		有資格者数	保育士	4 人	幼稚園 教諭	3 人	幼稚園以 外の教諭	3 人

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの子どもを理解し、「安心」の土台を築くこと</li> <li>子どもに分かりやすいメリハリのある生活</li> <li>管理ではなく、話し合いとルールづくりを大切に</li> <li>思っていることが言えて受け止めあえる関係性づくり</li> <li>集団学習の楽しさを知る取り組み</li> </ul>
-----------------------	--

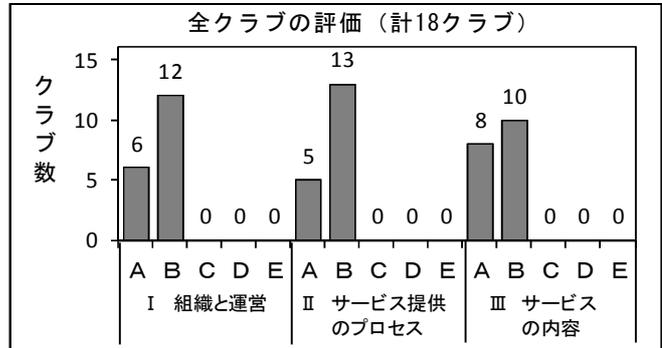
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>同業者 3 クラブ連携し、情報交換やマニュアル作成を行うことで運営体制を整えている。</li> <li>毎日のミーティングや全体会議など話し合いを大切にしている</li> <li>毎月研修会があり、指導員同士の情報交換の場として大切な場面になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修内容を見直し、新人の研修を強化するなど働くことに対する意識を高める取り組みをしてゆきたい。</li> <li>新たに障がいをもつ子どもの保護者の方とのつながりを強化し懇談会を開くなどニーズにこたえてゆきたい。</li> </ul>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 年生会議を充実させ子どもの主体性を軸に行事や日々の保育を充実させて行きたい。</li> <li>ハロウィンでは高齢者施設、新聞屋、クリーニング屋、町会長、幼児教室など、地域の方とのつながりができたので、今後もさらに関係を深めて行きたい。</li> <li>学校との関係は家庭支援センターも含め、気になる児童の対応についても相談できる関係をさらに強化してゆきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者施設（コミュニティケア 24）との関係を深め、学童の子供たちがダンスや歌などのボランティアに行ける仕組みを作っていく。逆に、高齢者の方に学童に遊びに来ていただけるような仕組みを作っていく</li> </ul>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節感を味わえるような室内装飾やおやつを提供をしている。</li> <li>離島出身者の指導員の指導のもと、サトウキビがどういふものなのか、実物をみせ黒糖になるまでの説明を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの主体性を伸ばし、自分から「やりたい」と思ったことを指導員が実現させてあげることができるような環境作りを行う。</li> </ul>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

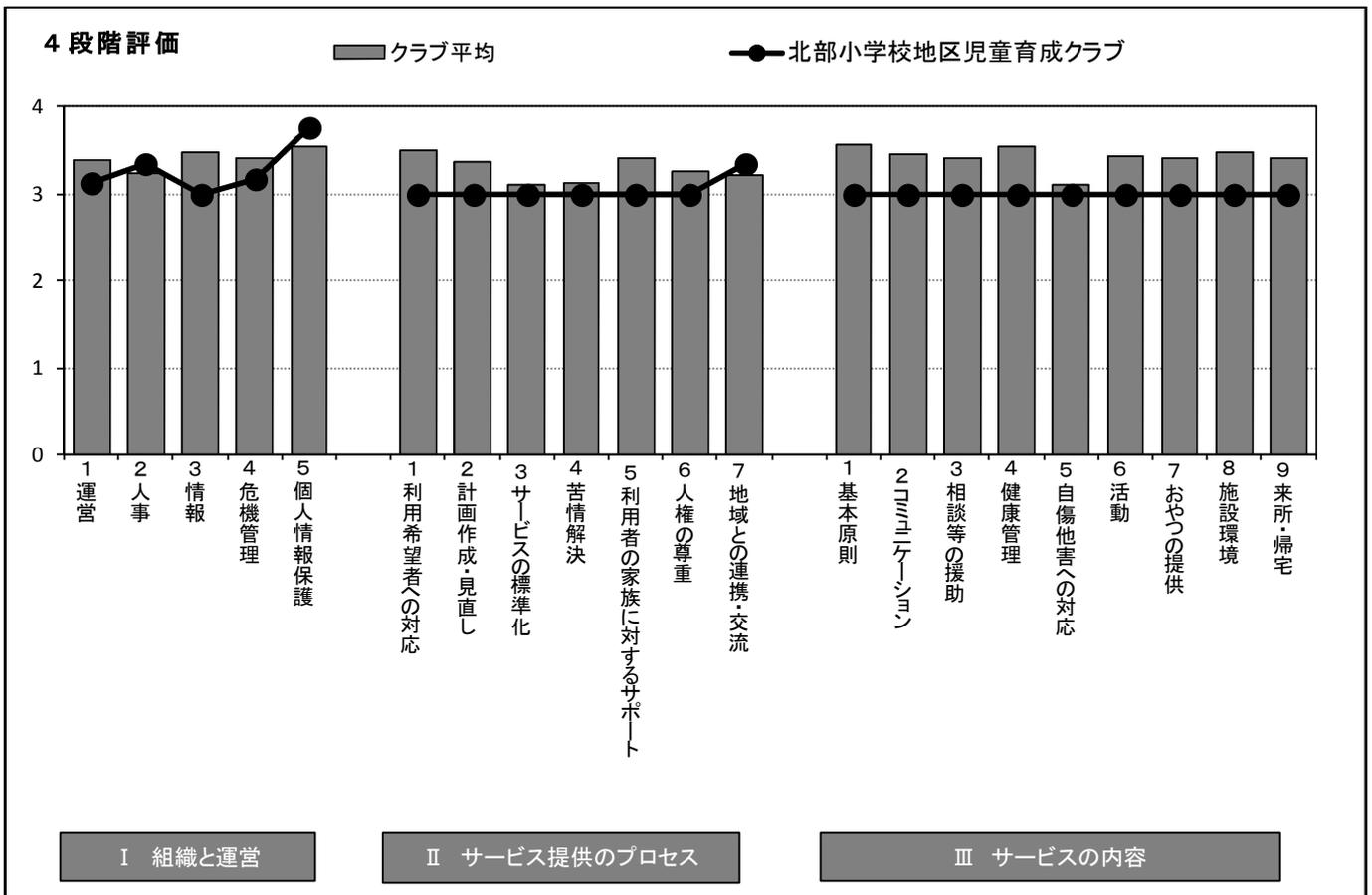
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供のプロセス	B (A)
III. サービスの内容	B (A)



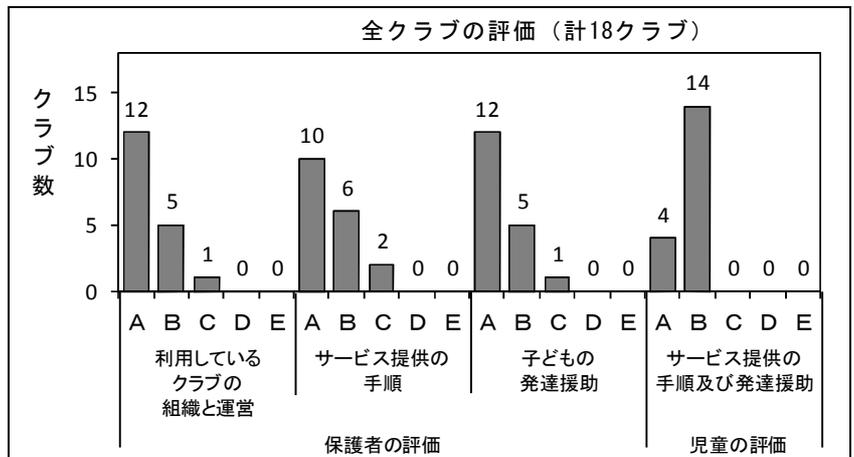
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	C (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	63.4%	4.3%	80.9%	1.5%		83.3%	0.0%	▼19.9%
	② 指導員の専門的知識や技術	32.3%	16.1%	58.8%	5.0%		59.4%	3.1%	▼27.1%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	55.9%	10.8%	83.8%	2.9%		76.0%	2.1%	▼20.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	69.9%	2.2%	80.1%	2.0%		77.1%	1.0%	▼7.2%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	73.1%	2.2%	81.8%	1.0%		80.2%	1.0%	▼7.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	53.8%	8.6%	75.1%	4.0%		69.8%	1.0%	▼16.0%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	71.0%	7.5%	88.0%	1.5%		87.5%	0.0%	▼16.5%
	② 指導員同士の情報共有	39.8%	17.2%	68.8%	5.6%		61.5%	3.1%	▼21.7%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	50.5%	19.4%	67.7%	8.5%		63.5%	8.3%	▼13.0%
	④ 指導員への相談しやすさ	57.0%	10.8%	80.6%	3.6%		74.0%	1.0%	▼17.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	55.9%	7.5%	79.5%	2.0%		79.2%	1.0%	▼23.3%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	67.7%	2.2%	81.0%	1.3%		78.1%	4.2%	▼10.4%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	59.1%	6.5%	78.2%	2.6%		72.9%	4.2%	▼13.8%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	55.9%	7.5%	68.4%	6.6%		68.8%	0.0%	▼12.9%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	50.5%	3.2%	71.3%	3.1%		68.8%	3.1%	▼18.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	89.2%	2.2%	96.2%	0.4%		96.9%	0.0%	▼7.7%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	74.2%	7.5%	84.3%	2.6%		84.4%	1.0%	▼10.2%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	60.2%	6.5%	79.8%	2.3%		70.8%	1.0%	▼10.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	64.5%	3.2%	62.3%	1.6%	↑	81.3%	1.0%	▼16.8%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	81.7%	2.2%	78.9%	1.5%	↑	80.2%	0.0%	△1.5%
	② へややといれのきもちよさ	74.2%	7.5%	73.4%	4.9%	↑	70.8%	3.1%	△3.4%
	③ クラブのたのしさ	74.2%	3.2%	77.5%	3.2%		80.2%	4.2%	▼6.0%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	65.6%	4.3%	67.2%	2.7%		72.9%	1.0%	▼7.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	64.5%	5.4%	66.3%	3.5%		65.6%	0.0%	▼1.1%

# 評価結果

平成 26 年度

見明川小学校地区児童育成クラブ

## クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称	社会福祉法人 わかみや福祉会						
クラブの所在地	浦安市弁天三丁目 1 番 2 号						
クラブの連絡先	電 話	047-351-1633	F A X	047-351-1633			
当該クラブの運営開始日	平成 24 年 4 月 1 日						
開設場所	小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)	定 員	105 人		利 用 者 数	80 人		
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	3 人	うち、男性	2 人	うち、女性	1 人
		有資格者数	保育士	3 人	幼稚園教諭	人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	5 人	うち、男性	1 人	うち、女性	4 人
		有資格者数	保育士	人	幼稚園教諭	人	幼稚園以外の教諭

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と職員が力を合わせ児童によりよい環境を作る。</li> <li>・保護者が安心して働くことができるよう保育の充実を目指す。</li> <li>・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれた学童保育を目指す。</li> </ul>
-----------------------	--

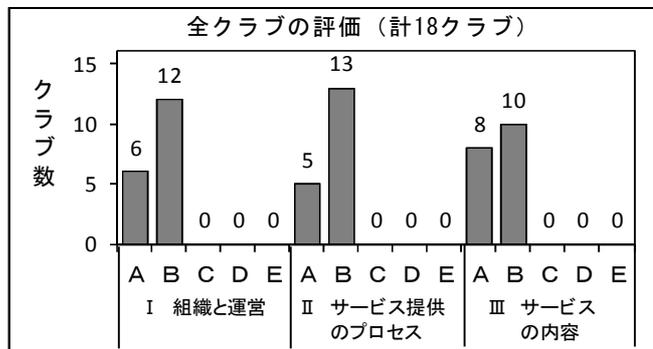
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>保育園運営実績も踏まえながら社会福祉法人としての組織作りをしっかりと行っている。職員間の連絡・連携及び、情報交換も日々細やかかつ丁寧に行っている。どんな場合も利用者の意見や思いに寄り添った対応を心がけている。また、個人情報保護を尊重し、法人として必要に応じて情報の公開を行っている。今年度よりクラス担任制となったが、各クラスに有資格者（保育士資格）を配置し、担任が児童・保護者と共に、よりよい保育が出来る環境作り而努力している。</p>	<p>保護者会や口頭・電話でのやり取り・対応は行っているが、紙面での利用者調査票やアンケートが保護者向けに発信されていないことが多いので、子どもたちだけでなく保護者の意見もより尊重し保育に取り入れていける体制作りをしていく。次年度は夏期休業前に保護者会を開催予定。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>利用希望者の方には、随時見学や相談の対応・説明を行っている。出来るだけ利用者のニーズに応えられるよう同法人の保育園や児童育成クラブと情報を共有しながら、保育の質を高められるよう努力している。また、子どもの人権を尊重し、一人ひとりの思いを受け止め、愛情を持った関わりを行っている。支援が必要な子どもや家庭環境が複雑で日々の生活に影響している子どもには、小学校と連携をとり、虐待等の早期発見や問題解決、心のケアに努めている。</p>	<p>地域交流に関しては、同法人の保育園児や児童育成クラブとの交流会を行っているが、回数が少ないので定期的に行えるようにしていく。記録やマニュアルが不十分なものは早々に作成し、職員に周知徹底させるようにしていく。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども一人ひとりの自主性を尊重しながら、計画や見通しを持って遊びや活動・行事に取り組んでいる。また、子どもたちの健康や安全を留意し、環境設定・整備を十分に行い怪我や病気を事前に防いでいる。おやつに関してはできるだけ手作りに近いものを提供し、季節に合ったものや子どもたちが楽しめるおやつにすることで食育にも繋げている。</p>	<p>おやつや行事等は改善できるところがあるので、現状で満足せず、よりよいものが提供できるよう検討・実施していく。また、施設環境や遊びの環境も整え、より快適に過ごせるよう取り組んでいく。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

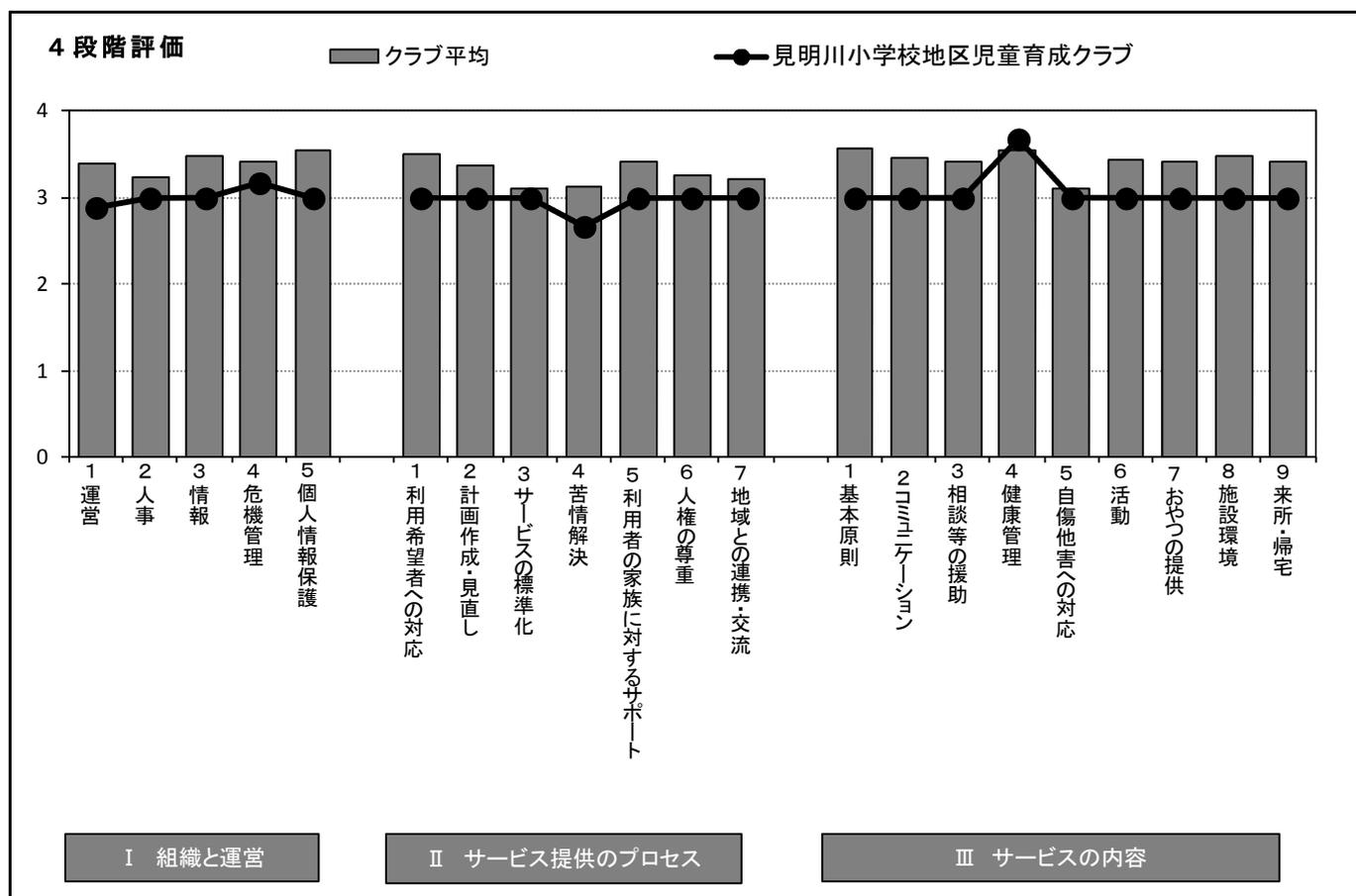
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (B)
II. サービス提供のプロセス	B (B)
III. サービスの内容	B (B)



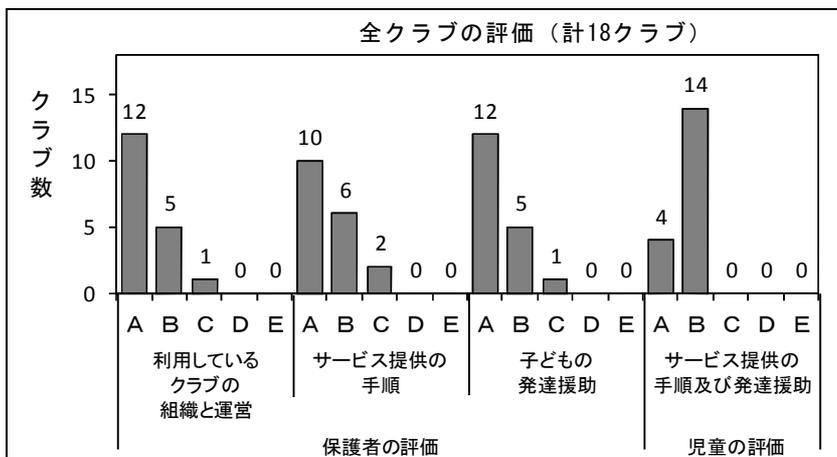
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (A)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	81.1%	0.0%	80.9%	1.5%	↑	82.7%	1.9%	▼1.6%
	② 指導員の専門的知識や技術	69.8%	5.7%	58.8%	5.0%	↑	67.3%	1.9%	△2.5%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	88.7%	0.0%	83.8%	2.9%	↑	88.5%	0.0%	△0.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	81.1%	1.9%	80.1%	2.0%	↑	94.2%	0.0%	▼13.1%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	81.1%	0.0%	81.8%	1.0%		90.4%	0.0%	▼9.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	77.4%	7.5%	75.1%	4.0%	↑	76.9%	1.9%	△0.5%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	88.7%	0.0%	88.0%	1.5%	↑	88.5%	0.0%	△0.2%
	② 指導員同士の情報共有	71.7%	3.8%	68.8%	5.6%	↑	73.1%	1.9%	▼1.4%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	73.6%	17.0%	67.7%	8.5%	↑	63.5%	9.6%	△10.1%
	④ 指導員への相談しやすさ	81.1%	1.9%	80.6%	3.6%	↑	80.8%	0.0%	△0.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	75.5%	3.8%	79.5%	2.0%		86.5%	1.9%	▼11.0%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	94.3%	0.0%	81.0%	1.3%	↑	92.3%	0.0%	△2.0%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	73.6%	5.7%	78.2%	2.6%		80.8%	1.9%	▼7.2%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	77.4%	5.7%	68.4%	6.6%	↑	71.2%	1.9%	△6.2%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	66.0%	5.7%	71.3%	3.1%		78.8%	1.9%	▼12.8%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.1%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	100.0%	0.0%	▼1.9%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	83.0%	5.7%	84.3%	2.6%		86.5%	1.9%	▼3.5%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	77.4%	5.7%	79.8%	2.3%		86.5%	0.0%	▼9.1%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	66.0%	0.0%	62.3%	1.6%	↑	69.2%	0.0%	▼3.2%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	81.1%	1.9%	78.9%	1.5%	↑	90.4%	0.0%	▼9.3%
	② へややといれのきもちよさ	71.7%	1.9%	73.4%	4.9%		75.0%	0.0%	▼3.3%
	③ クラブのたのしさ	81.1%	3.8%	77.5%	3.2%	↑	94.2%	0.0%	▼13.1%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	60.4%	3.8%	67.2%	2.7%		78.8%	0.0%	▼18.4%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	54.7%	3.8%	66.3%	3.5%		73.1%	0.0%	▼18.4%

# 評価結果

平成 26 年度

富岡小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール								
事業者の名称		富岡小学校地区児童育成クラブ運営委員会						
クラブの所在地		浦安市富岡一丁目 1 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-352-7400	F A X	047-352-7400			
当該クラブの運営開始日		平成 9 年 10 月 1 日						
開設場所		小学校校舎内						
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	85 人		利 用 者 数	43 人		
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性	0 人	うち、女性	4 人	
		有資格者数	保育士	人	幼稚園教諭	人	幼稚園以外の教諭	人
	非常勤	職員数	3 人	うち、男性	0 人	うち、女性	3 人	
		有資格者数	保育士	1 人	幼稚園教諭	(1) 人	幼稚園以外の教諭	(1) 人

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との信頼関係を大切にします。</li> <li>・保護者が安心して働くことが出来る様に保育の充実をはかる。</li> <li>・子どもにとって居心地の良い場所であり、社会性を身に付けていける様心がけている。</li> <li>・地域の人々の協力を得て子ども達を育てている。</li> </ul>
-----------------------	--

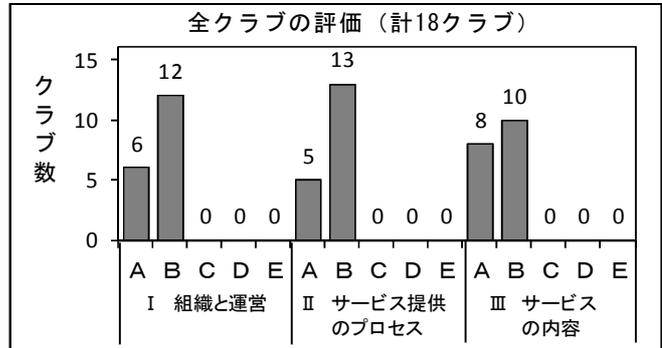
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の役員会と支援員との話し合い</li> <li>・育成協議会 (2 カ月毎)</li> <li>・支援員ミーティング (毎日)</li> <li>・毎月のおたより 発行</li> <li>・学校と連携を密にとっている</li> </ul>	協議会に来られない保護者、一人帰りの保護者との話し合う機会が少ないので、保護者面談をしていく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々のサービス毎に計画書、プロセスをマニュアル化している。</li> <li>・学童カードで通信欄を活用し、必要に応じては、手紙・電話で対応している。</li> </ul>	マニュアル化していないものに関して整理し、速やかに対応していきたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの気持ちに寄り添い、環境設定を十分に整える事で事前に防いでいる。</li> <li>・地域の方々の協力を得て季節に応じて様々な行事を設けている。</li> </ul>	保護者・地域の方々と共に子どもが快適に過ごせる様取り組んでいく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

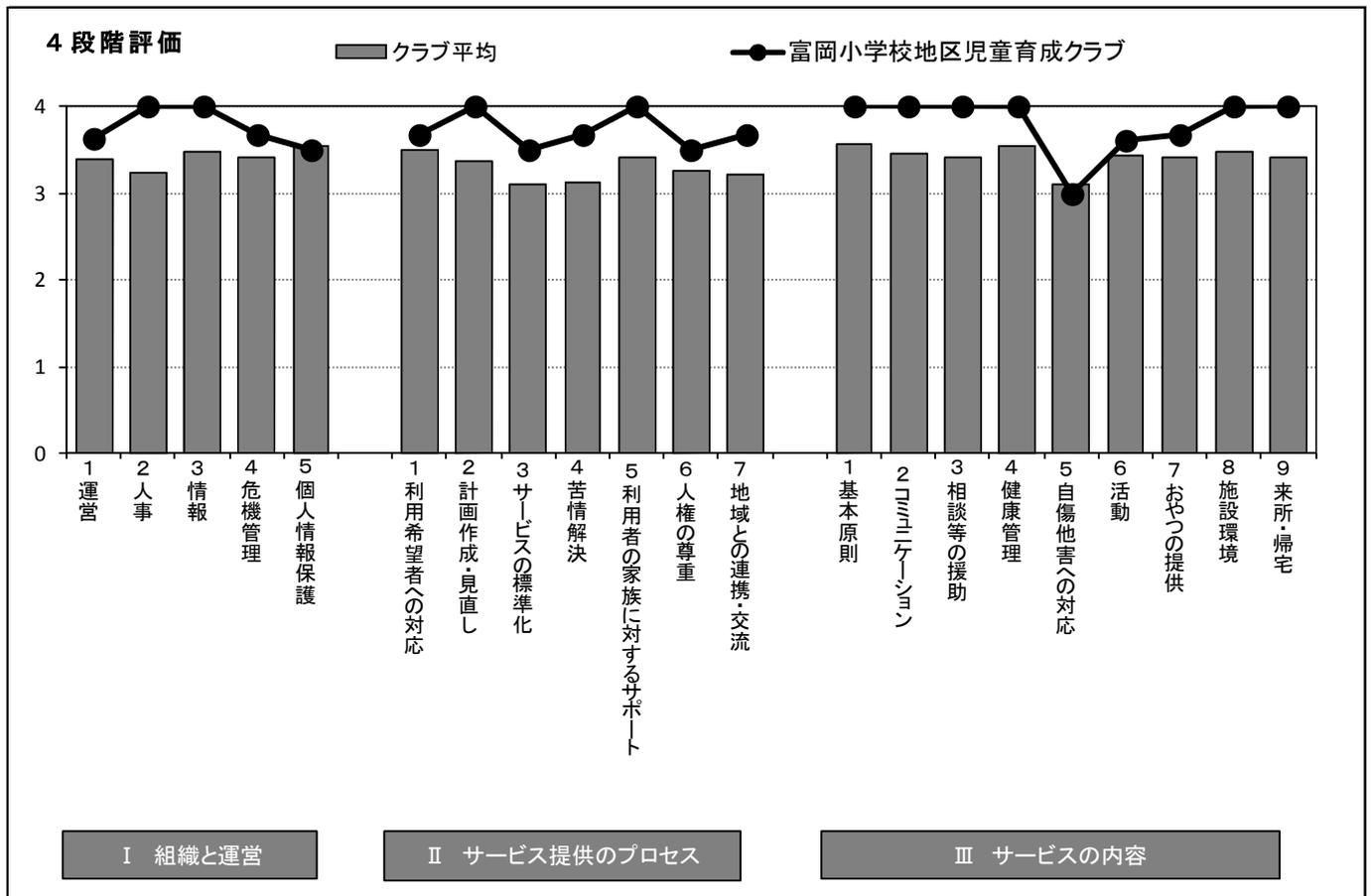
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	A (B)
II. サービス提供のプロセス	A (B)
III. サービスの内容	A (B)



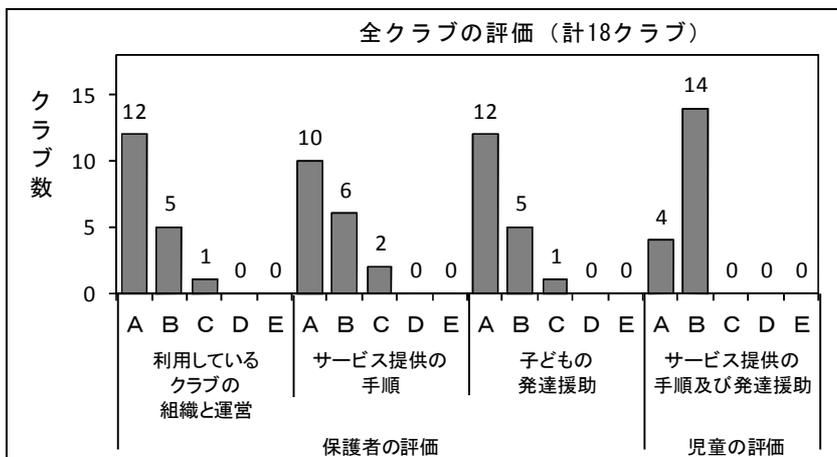
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	79.3%	0.0%	80.9%	1.5%		64.7%	0.0%	△14.6%
	② 指導員の専門的知識や技術	62.1%	0.0%	58.8%	5.0%	↑	44.1%	0.0%	△18.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	79.3%	6.9%	83.8%	2.9%		44.1%	14.7%	△35.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	93.1%	0.0%	80.1%	2.0%	↑	82.4%	0.0%	△10.7%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	75.9%	0.0%	81.8%	1.0%		67.6%	2.9%	△8.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	79.3%	0.0%	75.1%	4.0%	↑	73.5%	0.0%	△5.8%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	89.7%	0.0%	88.0%	1.5%	↑	79.4%	0.0%	△10.3%
	② 指導員同士の情報共有	79.3%	0.0%	68.8%	5.6%	↑	67.6%	5.9%	△11.7%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	72.4%	0.0%	67.7%	8.5%	↑	44.1%	23.5%	△28.3%
	④ 指導員への相談しやすさ	96.6%	0.0%	80.6%	3.6%	↑	67.6%	0.0%	△29.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	89.7%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	88.2%	0.0%	△1.5%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	93.1%	0.0%	81.0%	1.3%	↑	70.6%	5.9%	△22.5%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	86.2%	0.0%	78.2%	2.6%	↑	58.8%	0.0%	△27.4%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	75.9%	6.9%	68.4%	6.6%	↑	61.8%	2.9%	△14.1%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	86.2%	0.0%	71.3%	3.1%	↑	76.5%	0.0%	△9.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	97.1%	0.0%	△2.9%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	82.8%	0.0%	84.3%	2.6%		76.5%	2.9%	△6.3%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	89.7%	0.0%	79.8%	2.3%	↑	67.6%	0.0%	△22.1%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	65.5%	3.4%	62.3%	1.6%	↑	29.4%	0.0%	△36.1%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	82.8%	0.0%	78.9%	1.5%	↑	88.2%	0.0%	▼5.4%
	② へややといれのきもちよさ	69.0%	0.0%	73.4%	4.9%		64.7%	8.8%	△4.3%
	③ クラブのたのしさ	89.7%	0.0%	77.5%	3.2%	↑	67.6%	2.9%	△22.1%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	75.9%	0.0%	67.2%	2.7%	↑	61.8%	5.9%	△14.1%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	86.2%	0.0%	66.3%	3.5%	↑	55.9%	8.8%	△30.3%

## 評 価 結 果

平成 26 年度

美浜南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		美浜南小学校地区児童育成クラブ運営委員会					
クラブの所在地		浦安市美浜三丁目 15 番 1 号					
クラブの連絡先		電 話	047-350-6624	F A X	047-350-6624		
当該クラブの運営開始日		平成 9 年 10 月 1 日					
開設場所		小学校校舎内					
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	70 人		利 用 者 数	53 人	
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	0 人		うち、男性	0 人	
		有資格者数	保育士	0 人		幼稚園教諭	0 人
	非常勤	職員数	10 人		うち、男性	1 人	
		有資格者数	保育士	0 人		幼稚園教諭	0 人
				幼稚園以外の教諭	4 人		

### 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>家庭で迎えるような温かい声掛けや送り出しと、地域の人々と協力し、地域で子供たちを育てるという環境作り。家庭的な雰囲気のための環境作りと、室内の飾りつけ、子供たちが落ち着ける空間作り。笑顔を絶やさない心がけ。</p>
-----------------------	--

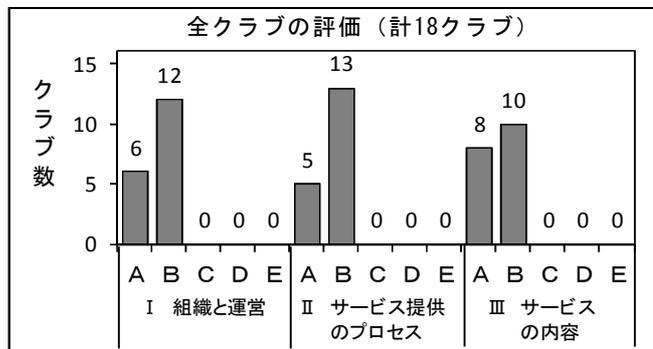
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験の長い指導員が多く、一人一人の児童に応じた対応をとることが可能であること。</li> <li>・近隣地域の方々が学童行事に参加していただいていること。</li> <li>・地域との密接した学童保育が出来ていること。</li> <li>・指導員間の連絡が密であり、学んだことの共有が出来ていること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員の研修等で学んだ課題を習得し、今まで以上日々の活動に役立たい。</li> <li>・行事等の企画をさらに充実させたい。</li> </ul>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お便りや連絡帳にて、保護者との情報交換が密であること。</li> <li>・生協等の利用や、支援員がおやつを直接購入し、臨機応変な対応をしている。</li> <li>・行事や重要事項等、指導員同士の情報共有が密であり、分担や連携がスムーズである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも連絡帳やお便りを通して保護者との交流を深めたい</li> <li>・他の学童の方と情報交換をしたい</li> <li>・誕生日会の内容を更に充実させたい</li> </ul>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭を利用し、のびのびと遊べる環境と時間を確保していること</li> <li>・季節ごとに掲示物を変え、伝統的な行事に関心を促している。</li> <li>・地域活動の経験豊富な方に声をかけ、児童と一緒に学習、運動できるよう企画している。</li> <li>・地域の方々には、卓球、樹木観察、理科実験、ダンスなど幅広い分野で児童の健全な育成に参加していただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全を確保できるよう校庭を確認したり遊具の点検を徹底し、子どもにも周知する</li> <li>・子どもたちのアルバムを作っており、卒所時に渡している。</li> <li>・行事等をさらに多くの近隣の方々と連携して、より充実した活動にするとともに、普段の生活でも挨拶をしたり、児童が安心して暮らせる環境を作りたい。</li> </ul>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

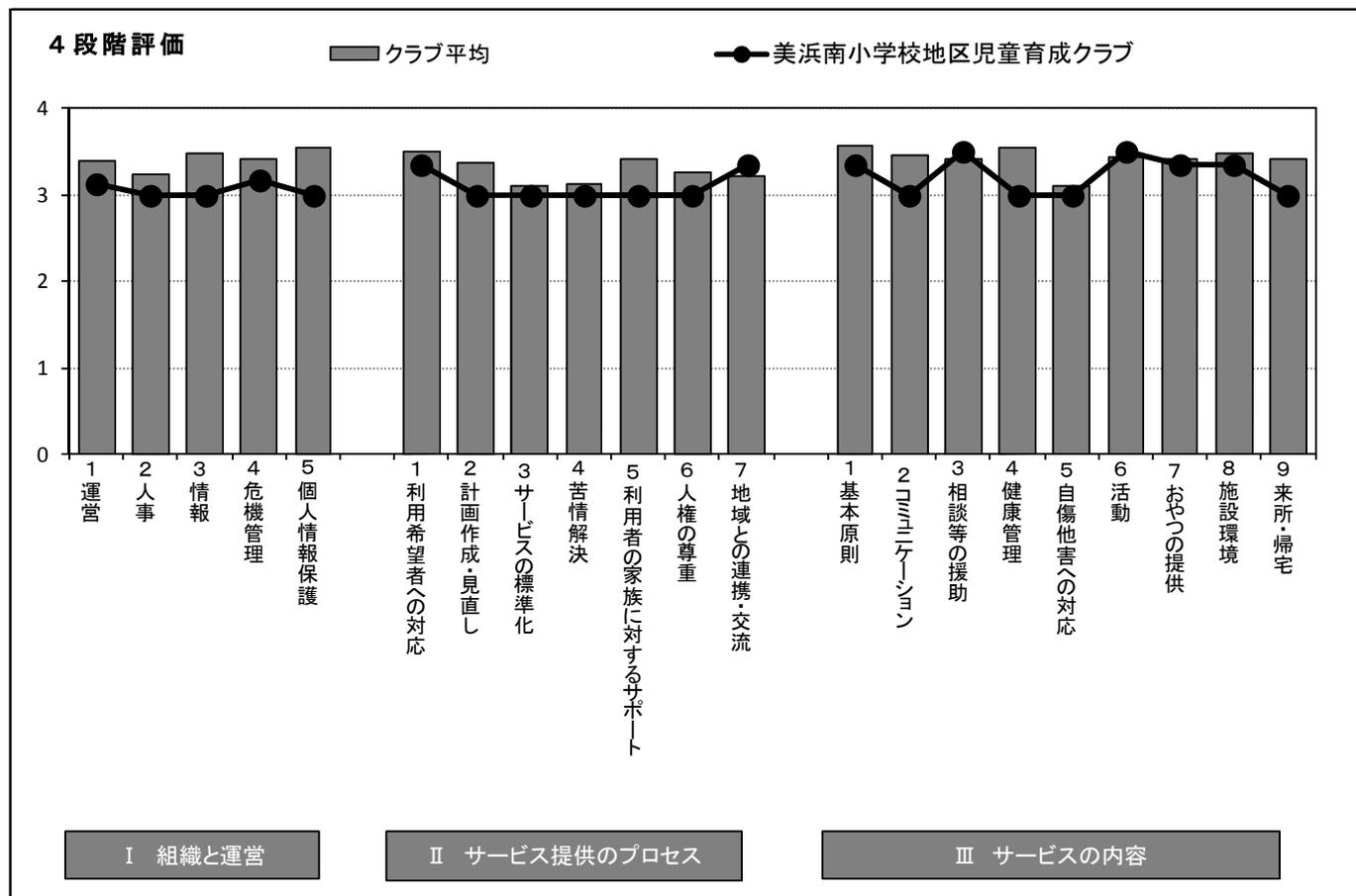
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供のプロセス	B (A)
III. サービスの内容	B (A)



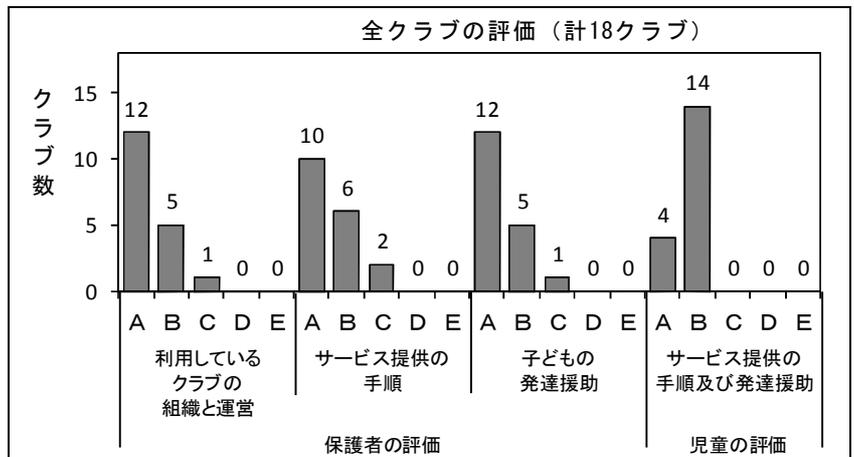
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	75.9%	0.0%	80.9%	1.5%		80.6%	2.8%	▼4.7%
	② 指導員の専門的知識や技術	41.4%	0.0%	58.8%	5.0%		52.8%	8.3%	▼11.4%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	69.0%	0.0%	83.8%	2.9%		86.1%	0.0%	▼17.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	86.2%	0.0%	80.1%	2.0%	↑	83.3%	0.0%	△2.9%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	69.0%	0.0%	81.8%	1.0%		75.0%	2.8%	▼6.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	79.3%	3.4%	75.1%	4.0%	↑	75.0%	5.6%	△4.3%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	75.9%	0.0%	88.0%	1.5%		86.1%	0.0%	▼10.2%
	② 指導員同士の情報共有	65.5%	0.0%	68.8%	5.6%		55.6%	2.8%	△9.9%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	72.4%	10.3%	67.7%	8.5%	↑	66.7%	13.9%	△5.7%
	④ 指導員への相談しやすさ	86.2%	0.0%	80.6%	3.6%	↑	80.6%	0.0%	△5.6%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	86.2%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	83.3%	0.0%	△2.9%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	69.0%	3.4%	81.0%	1.3%		66.7%	2.8%	△2.3%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	72.4%	3.4%	78.2%	2.6%		77.8%	0.0%	▼5.4%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	69.0%	0.0%	68.4%	6.6%	↑	77.8%	2.8%	▼8.8%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	65.5%	0.0%	71.3%	3.1%		69.4%	0.0%	▼3.9%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	94.4%	0.0%	△5.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	75.9%	6.9%	84.3%	2.6%		83.3%	2.8%	▼7.4%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	82.8%	0.0%	79.8%	2.3%	↑	72.2%	0.0%	△10.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	55.2%	0.0%	62.3%	1.6%		72.2%	0.0%	▼17.0%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	93.1%	0.0%	78.9%	1.5%	↑	83.3%	0.0%	△9.8%
	② へややといれのきもちよさ	82.8%	3.4%	73.4%	4.9%	↑	75.0%	5.6%	△7.8%
	③ クラブのたのしさ	79.3%	0.0%	77.5%	3.2%	↑	83.3%	5.6%	▼4.0%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	62.1%	0.0%	67.2%	2.7%		72.2%	5.6%	▼10.1%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	55.2%	0.0%	66.3%	3.5%		69.4%	2.8%	▼14.2%

# 評価結果

平成 26 年度

入船北小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール								
事業者の名称		葉隠勇進 株式会社						
クラブの所在地		浦安市入船六丁目 9 番 2 号						
クラブの連絡先		電 話	047-354-0466	F A X	047-354-0466			
当該クラブの運営開始日		平成 24 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校敷地外						
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	75 人		利 用 者 数	30 人		
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	2 人	うち、男性	1 人	うち、女性	1 人	
		有資格者数	保育士	1 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	0 人
	非常勤	職員数	3 人	うち、男性	0 人	うち、女性	3 人	
		有資格者数	保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	1 人

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>児童が安全に楽しく過ごせるよう注力していくことで、保護者が安心してクラブに通わせることが出来るよう、指導員間の連携を大事にしている。毎日、小さなものでもイベントを提供することで児童に「クラブでは楽しい体験ができる」という意識を持ってもらえるように配慮しており、その為に社内外で準備されている研修に積極的に出席し、様々な保育・遊びの知識を蓄え研鑽している。</p>
-----------------------	--

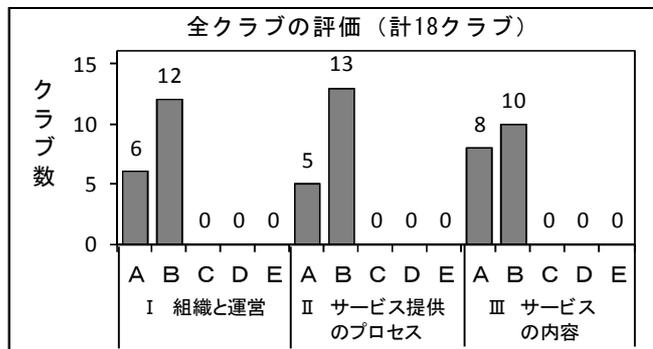
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の理念や基本方針を明示した「クレド」を全職員が携行し、統一した意識を持って児童育成に取り組んでいる。</li> <li>・ミーティングを毎日実施し、職員間での情報共有化ができています。</li> <li>・社内外で豊富な研修メニューが準備されており、これに積極的に参加することが推奨されているため、児童指導員一人ひとりの技量向上が計画的に推進されている。</li> <li>・法人本部と事業所との間で報連相の仕組みが整っており、人的応援や緊急事態等に迅速に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設上の制約があり保護者との個別面談が個室で実施できないため、備品を利用して空間を仕切る等の工夫をして、プライバシー保護に配慮したい。</li> </ul>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童育成で想定されるあらゆる事象に対応できる各種マニュアルが整備されており、職員間で読み合わせを随時行うことで安定したサービスを提供できる体制が整っている。</li> <li>・おたよりや連絡帳を通して、運営方針や提供プログラムの詳細を丁寧かつ誠実に利用者に伝達している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にございません。</li> </ul>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の観点から、衛生管理や温冷の配慮も伴った手作りおやつを日々提供している。</li> <li>・児童や保護者の意見も取り入れて、サービスの内容を向上させるべく検討を重ねている。</li> <li>・提供プログラムは、性差、障がいの有無等を配慮して企画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を要する児童への対応につき法人本部に専門の指導スタッフが在籍しているものの、本年度は巡回を要請する機会が無かった。予防目的・研修目的で事業所巡回を依頼することも視野に入れていきたい。</li> </ul>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつを提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

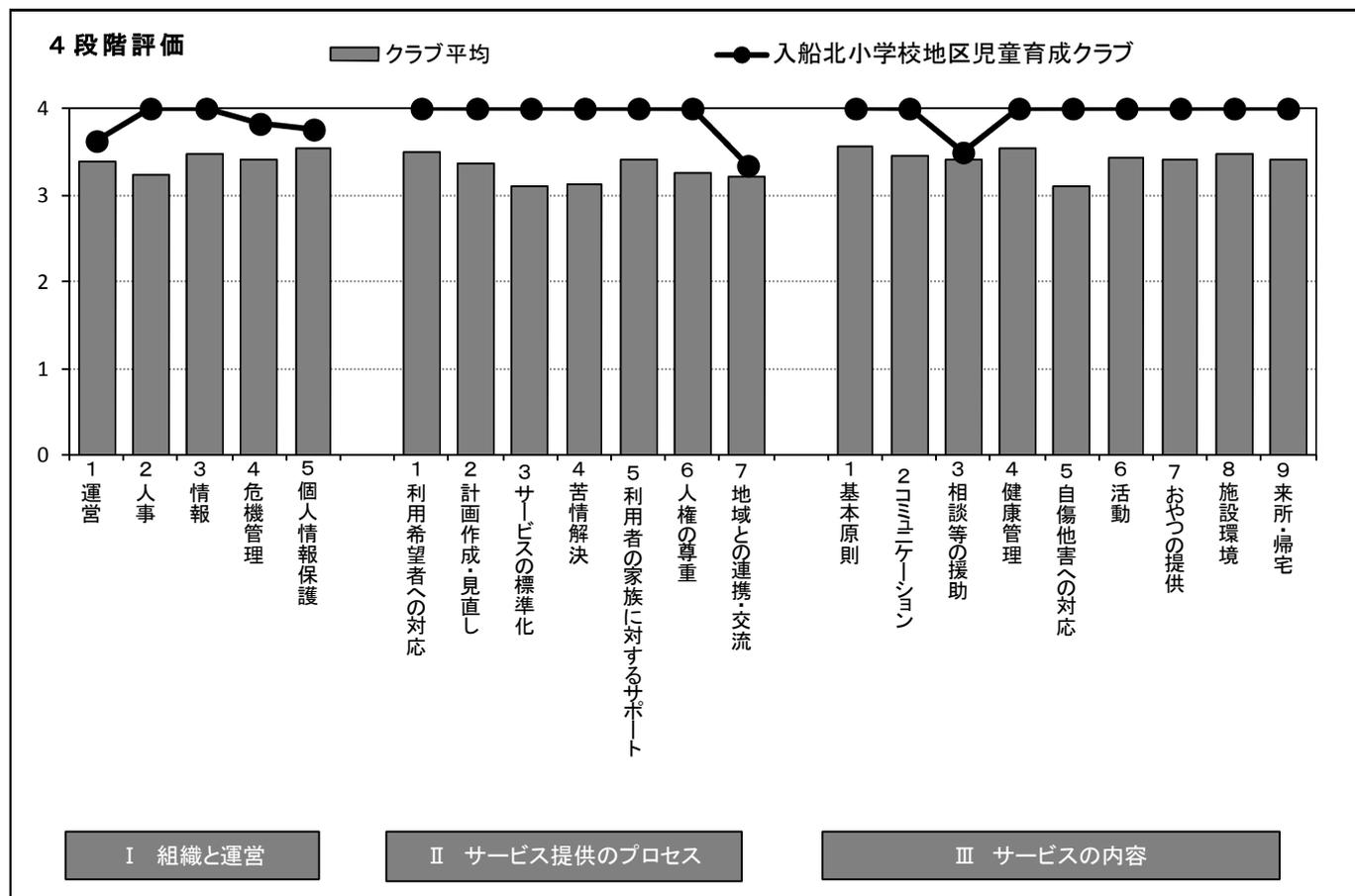
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (B)
III. サービスの内容	A (A)



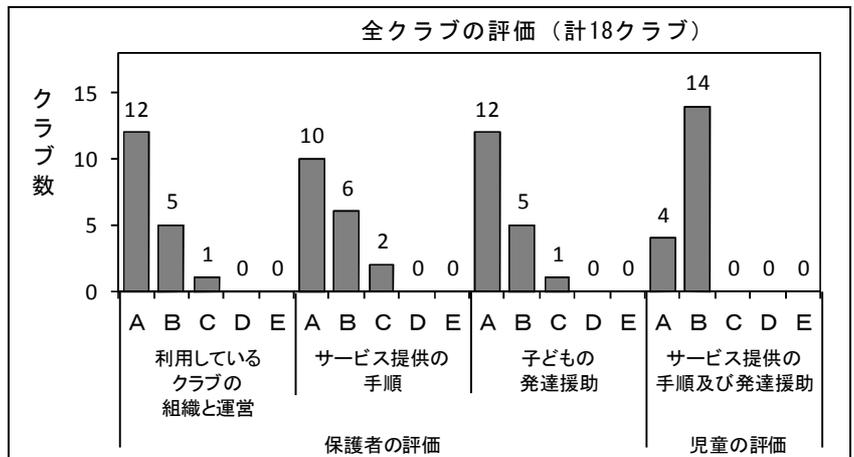
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	84.6%	0.0%	80.9%	1.5%	↑	89.5%	0.0%	▼4.9%
	② 指導員の専門的知識や技術	61.5%	3.8%	58.8%	5.0%	↑	57.9%	5.3%	△3.6%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	76.9%	0.0%	83.8%	2.9%		78.9%	10.5%	▼2.0%
	④ クラブ内の清掃・整理	96.2%	0.0%	80.1%	2.0%	↑	94.7%	0.0%	△1.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	92.3%	0.0%	81.8%	1.0%	↑	84.2%	0.0%	△8.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	92.3%	3.8%	75.1%	4.0%	↑	94.7%	0.0%	▼2.4%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	96.2%	0.0%	88.0%	1.5%	↑	100.0%	0.0%	▼3.8%
	② 指導員同士の情報共有	84.6%	0.0%	68.8%	5.6%	↑	73.7%	5.3%	△10.9%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	65.4%	3.8%	67.7%	8.5%		73.7%	5.3%	▼8.3%
	④ 指導員への相談しやすさ	92.3%	3.8%	80.6%	3.6%	↑	89.5%	0.0%	△2.8%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	88.5%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	100.0%	0.0%	▼11.5%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	92.3%	0.0%	81.0%	1.3%	↑	94.7%	0.0%	▼2.4%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	84.6%	3.8%	78.2%	2.6%	↑	78.9%	5.3%	△5.7%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	84.6%	0.0%	68.4%	6.6%	↑	78.9%	5.3%	△5.7%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	84.6%	0.0%	71.3%	3.1%	↑	78.9%	0.0%	△5.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.2%	0.0%	96.2%	0.4%		100.0%	0.0%	▼3.8%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	96.2%	0.0%	84.3%	2.6%	↑	84.2%	0.0%	△12.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	84.6%	3.8%	79.8%	2.3%	↑	73.7%	5.3%	△10.9%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	76.9%	0.0%	62.3%	1.6%	↑	31.6%	5.3%	△45.3%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	92.3%	0.0%	78.9%	1.5%	↑	94.7%	0.0%	▼2.4%
	② へややといれのきもちよさ	88.5%	0.0%	73.4%	4.9%	↑	78.9%	0.0%	△9.6%
	③ クラブのたのしさ	96.2%	0.0%	77.5%	3.2%	↑	78.9%	0.0%	△17.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	57.7%	3.8%	67.2%	2.7%		52.6%	0.0%	△5.1%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	76.9%	0.0%	66.3%	3.5%	↑	68.4%	5.3%	△8.5%

# 評価結果

平成 26 年度

東小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		東小学校地区児童育成クラブ運営委員会					
クラブの所在地		浦安市猫実一丁目 11 番 1 号					
クラブの連絡先		電 話	047-350-4424	F A X	047-350-4424		
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校敷地内／小学校敷地外（分室）					
定員／現在の利用者数 （平成 26 年 12 月末現在）		定 員	210 人		利 用 者 数	149 人	
職員数 （平成 26 年 12 月末現在）	常勤	職員数	8 人		うち、男性	2 人	
		有資格者数	保育士 1 人		幼稚園教諭	0 人	
	非常勤	職員数	8 人		うち、男性	0 人	
		有資格者数	保育士 0 人		幼稚園教諭	0 人	

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	大きな怪我に注意しながらも、児童が全力で遊びに取り組めるクラブであることを目標にしています。異なる学年の児童が多く関わることが出来る場所だと考えているので、支援員も児童同士の関係を大切に、サポートしています。
-----------------------	--

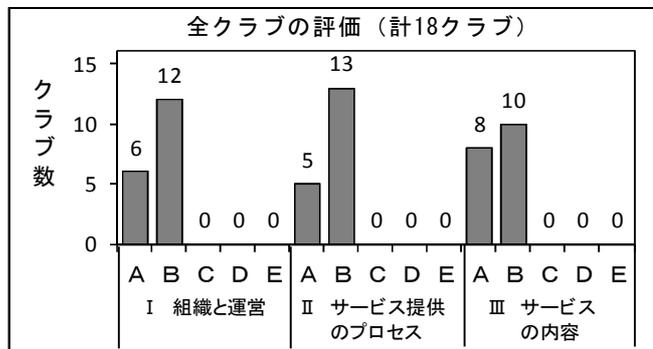
	事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運営</li> <li>2 人事</li> <li>3 情報</li> <li>4 危機管理</li> <li>5 個人情報保護</li> </ol> <p>東小学校地区児童育成クラブは、運営委員会を保護者が組織し運営を行っていることから、支援員への連絡や説明、また反対に支援員から運営委員会へ意見や提案がしやすい環境であると考えています。運営委員会が全員、働いている保護者で組織されているので、クラブに来て話をする、会議に出席するなど保護者としては大変な部分もありますが、保護者の意見がそのままクラブに反映される事はとても良いと思います。</p>	<p>今後の展望としては、忙しくて運営に参加出来ないという保護者も多くなってきているので、出来る限り保護者の負担が少なく、それでも保護者参加型の行事などは出来るようにしていきたいと考えています。</p>
II サービスの提供のプロセス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用希望者への対応</li> <li>2 計画作成・見直し</li> <li>3 サービスの標準化</li> <li>4 苦情解決</li> <li>5 利用者家族へのサポート</li> <li>6 人権の尊重</li> <li>7 地域との連携・交流</li> </ol> <p>見学者は随時受け入れ、保護者への説明等も文書で行っています。新人の支援員には十分な研修をしているとは言い難いですが、働きながら指導していく、といった形で新人育成をしています。また、保護者からの苦情・相談については支援員・運営ともに受付けていて、話し合った後、保護者に報告といった形で行っています。</p>	<p>新人に対する教育・研修については、今後十分な支援員数を確保し、適切な指導を行っていききたいと考えています。</p>
III サービスの内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本原則</li> <li>2 コミュニケーション</li> <li>3 相談等の援助</li> <li>4 健康管理</li> <li>5 自傷他害への対応</li> <li>6 活動</li> <li>7 おやつ提供</li> <li>8 施設環境</li> <li>9 来所・帰宅</li> </ol> <p>児童の主體的な活動をサポートし、それが可能な環境を作って保育しています。特に遊びを通して児童と関わることを中心にしているので、児童の満足度も高いと考えています。おやつは児童の嗜好、量や質のことも考えて提供しています。</p>	<p>遊びを生活の中心にすることで、児童の満足度は高いかと思いますが、お迎えが遅い保護者からは、宿題や自習の時間も取り入れて欲しいという意見も少なくありません。おやつ後の時間を使って、児童の生活に上手く取り入れたいと思っています。</p>

## 運営事業者による自己評価結果

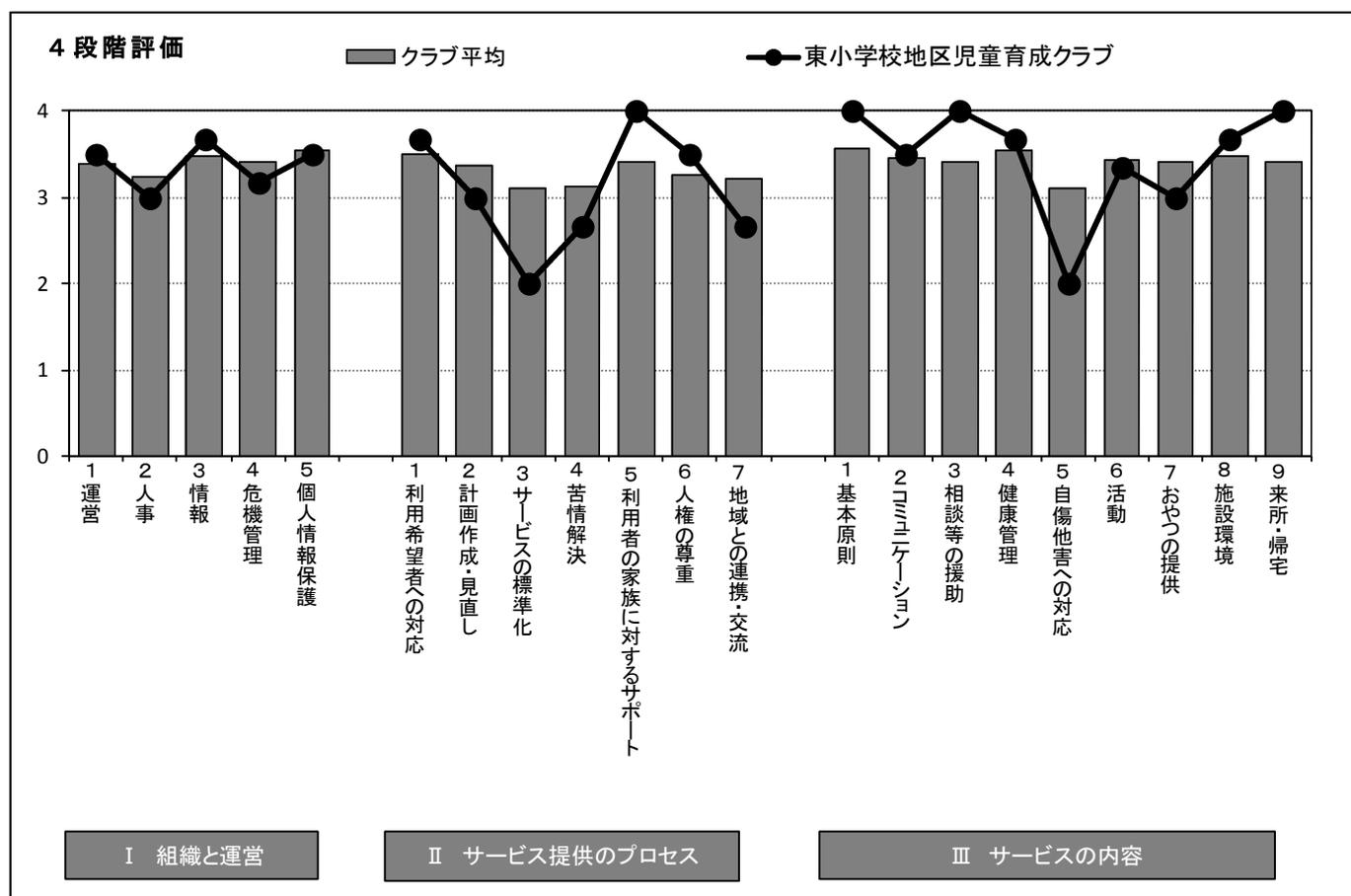
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供の プロセス	B (B)
III. サービスの内容	A (A)



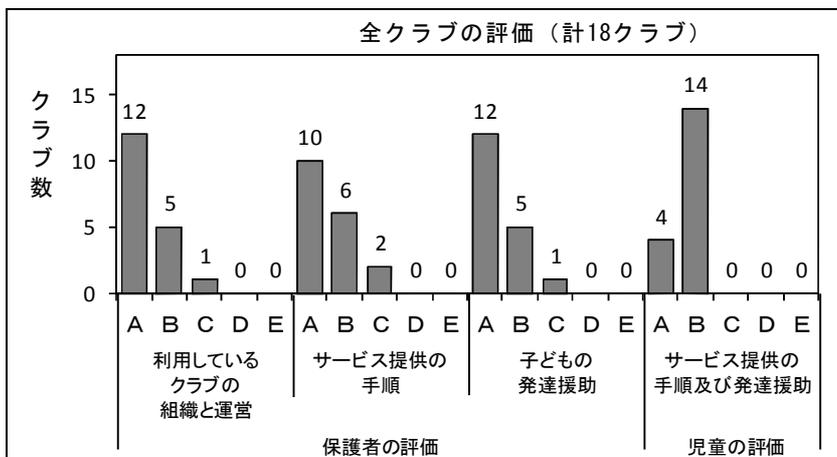
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	79.2%	1.0%	80.9%	1.5%		80.8%	0.0%	▼1.6%
	② 指導員の専門的知識や技術	63.4%	5.0%	58.8%	5.0%	↑	64.4%	5.5%	▼1.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	93.1%	3.0%	83.8%	2.9%	↑	94.5%	0.0%	▼1.4%
	④ クラブ内の清掃・整理	85.1%	0.0%	80.1%	2.0%	↑	72.6%	2.7%	△12.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	84.2%	2.0%	81.8%	1.0%	↑	86.3%	0.0%	▼2.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	79.2%	4.0%	75.1%	4.0%	↑	75.3%	5.5%	△3.9%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	92.1%	1.0%	88.0%	1.5%	↑	91.8%	0.0%	△0.3%
	② 指導員同士の情報共有	70.3%	5.0%	68.8%	5.6%	↑	75.3%	4.1%	▼5.0%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	72.3%	5.9%	67.7%	8.5%	↑	71.2%	2.7%	△1.1%
	④ 指導員への相談しやすさ	89.1%	2.0%	80.6%	3.6%	↑	86.3%	4.1%	△2.8%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	82.2%	2.0%	79.5%	2.0%	↑	89.0%	1.4%	▼6.8%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	84.2%	1.0%	81.0%	1.3%	↑	91.8%	0.0%	▼7.6%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	79.2%	2.0%	78.2%	2.6%	↑	80.8%	2.7%	▼1.6%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	65.3%	7.9%	68.4%	6.6%		71.2%	13.7%	▼5.9%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	72.3%	3.0%	71.3%	3.1%	↑	74.0%	2.7%	▼1.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.0%	1.0%	96.2%	0.4%	↑	95.9%	0.0%	△2.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	86.1%	2.0%	84.3%	2.6%	↑	86.3%	0.0%	▼0.2%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	80.2%	1.0%	79.8%	2.3%	↑	75.3%	4.1%	△4.9%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	50.5%	0.0%	62.3%	1.6%		47.9%	1.4%	△2.6%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	82.2%	1.0%	78.9%	1.5%	↑	78.1%	0.0%	△4.1%
	② へややといれのきもちよさ	85.1%	1.0%	73.4%	4.9%	↑	79.5%	0.0%	△5.6%
	③ クラブのたのしさ	77.2%	0.0%	77.5%	3.2%		82.2%	2.7%	▼5.0%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	74.3%	2.0%	67.2%	2.7%	↑	68.5%	2.7%	△5.8%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	61.4%	3.0%	66.3%	3.5%		69.9%	2.7%	▼8.5%

# 評価結果

平成 26 年度

入船南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		社会福祉法人 わかみや福祉会					
クラブの所在地		浦安市入船三丁目 66 番 1 号					
クラブの連絡先		電 話	047-352-1415	F A X	047-352-1415		
当該クラブの運営開始日		平成 23 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校敷地内					
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	100 人		利 用 者 数	83 人	
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	3 人		うち、男性	3 人	
		有資格者数	保育士 2 人		幼稚園教諭	人	
	非常勤	職員数	7 人		うち、男性	1 人	
		有資格者数	保育士 1 人		幼稚園教諭	1 人	
				うち、女性	6 人		
					幼稚園以外の教諭	人	

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と職員が力をあわせ、児童により良い環境を作る。</li> <li>・保護者が安心して働くことができるよう、保育の充実をめざす。</li> <li>・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれた学童保育をめざす。</li> </ul>
-----------------------	--

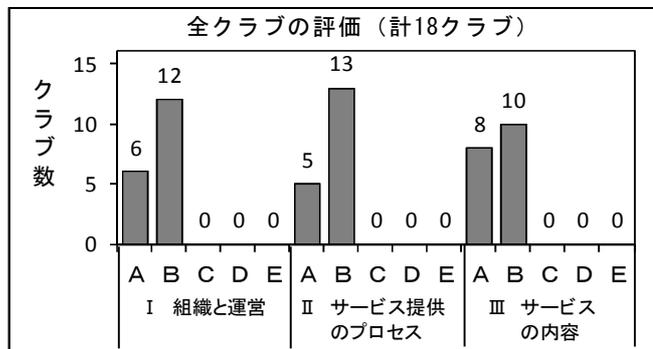
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>保育園運営実績も踏まえながら社会福祉法人としての組織作りをしっかりと行っている。職員間の連絡・連携及び、情報交換も細やかかつ丁寧に行っている。どんな場合も利用の意見や思いに寄り添った対応を心掛けている。又個人情報保護を遵守している。法人として必要に応じて情報の公開を行っている。今年度より担任制となったが、各クラスに有資格者（保育士資格）を配置、担任が児童、保護者と共により良い保育が出来る環境作りに努力している。</p>	<p>連絡帳を利用したり、電話、保護者会、面談による対応は行っているが、アンケートや調査表などの紙面による意見が少ない為、今後は子ども達だけでなく保護者の意見が更に聞けるように工夫していく。また集まった意見を尊重し、保育や行事にその意見を取り入れ保育に役立てられるようにしていく。来年度は長期休暇前に保護者会を開催予定。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>利用希望者の方には、随時見学の間機会を作り適切に説明を行っている。出来るだけ利用者のニーズに応えられるよう同法人の保育園や児童育成クラブと情報を共有しながら、保育の質を高められるよう努力している。また、子どもの人権を尊重し、一人一人の思いを受け止め、愛情を持った関わりを行っています。支援が必要な子どもや家庭環境が複雑で日々の生活に影響している子どもには、小学校と連携を取り、虐待等の早期発見や問題解決、心のケアに努めている。</p>	<p>同法人の児童育成クラブとの交流会や近隣の保育園児との交流会、地域の公民館での交流を更に増やし、子ども達に様々な経験をさせていけるように心がける。また記録やマニュアルが不十分なものは早々に作成し、職員に周知徹底させるようにしていきたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども一人ひとりの自主性を尊重しながら、計画や見通しを持って遊びや活動、行事に取り組んでいる。また、子ども達の健康や安全を留意し、環境設定、整備を十分に行い怪我や病気を事前に防いでいる。おやつに関してはできるだけ手作りに近いものを提供し、季節に合ったものや子どもたちが楽しめるおやつにすることで食育にも繋げている。</p>	<p>おやつ、行事内容に関しては、定期的に見直しする機会を設け、改善に努める。子ども達にとっての一番を考え、より質の高い保育、健康や栄養面に配慮したおやつ、また十分に満足できる施設環境や遊びの環境を整え、子ども達が楽しく快適にそして安全に過ごせるように努力していく。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

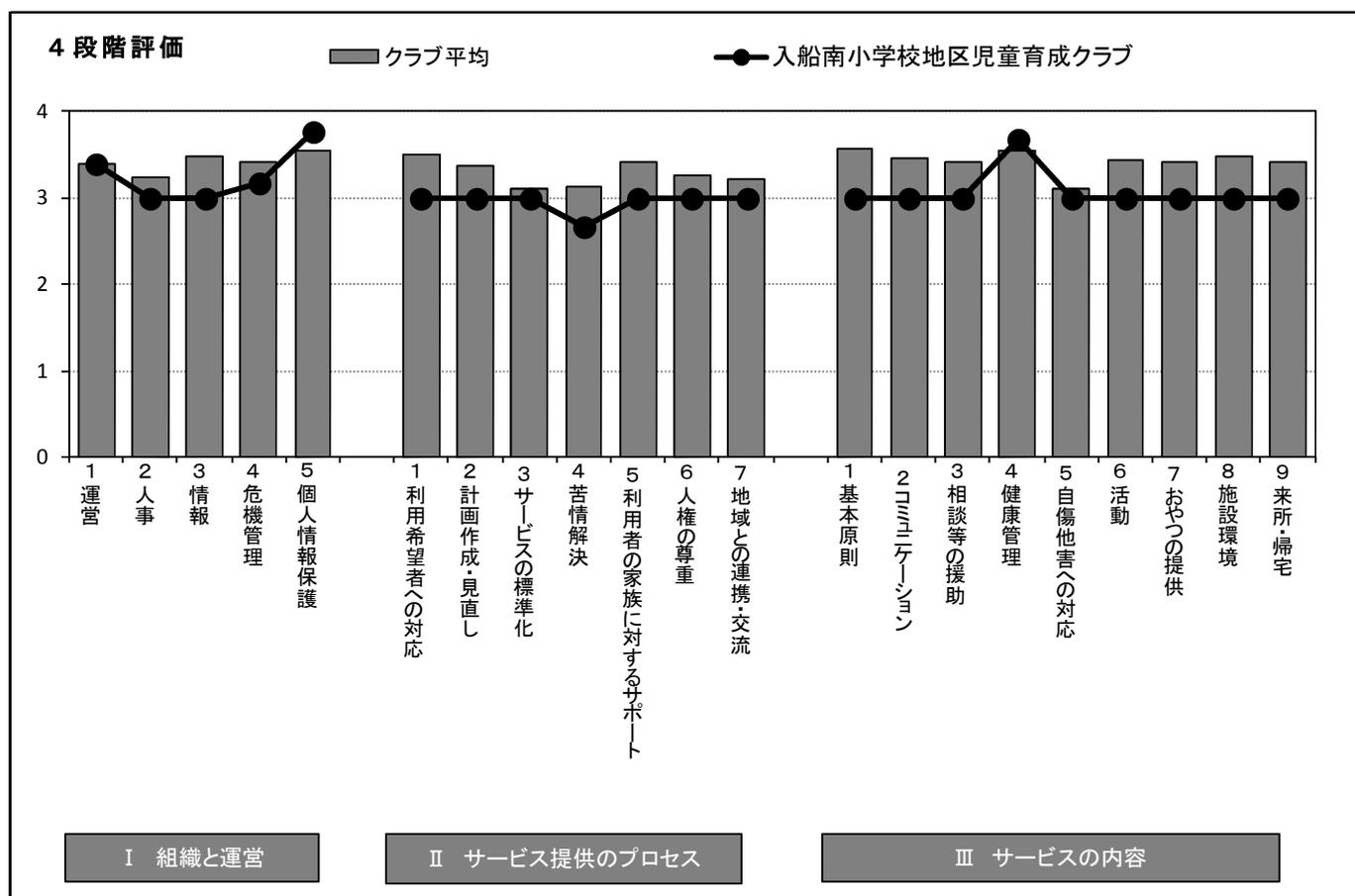
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (B)
II. サービス提供のプロセス	B (B)
III. サービスの内容	B (B)



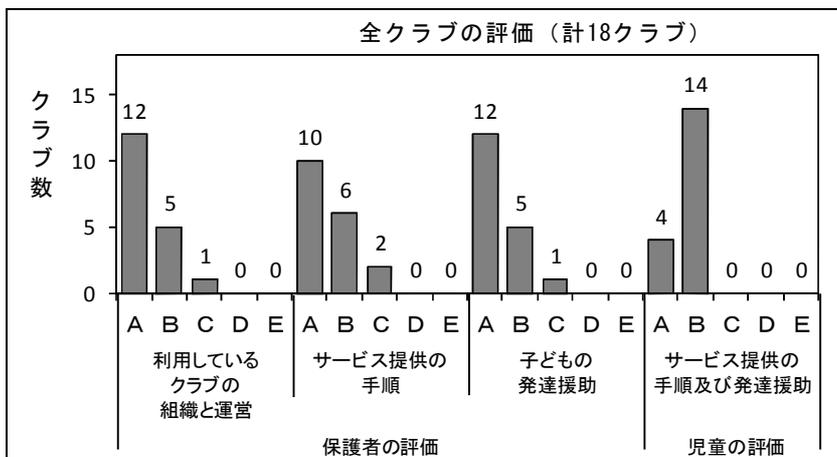
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	83.3%	0.0%	80.9%	1.5%	↑	79.2%	0.0%	△4.1%
	② 指導員の専門的知識や技術	74.1%	0.0%	58.8%	5.0%	↑	58.5%	0.0%	△15.6%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	100.0%	0.0%	83.8%	2.9%	↑	88.7%	0.0%	△11.3%
	④ クラブ内の清掃・整理	88.9%	0.0%	80.1%	2.0%	↑	84.9%	1.9%	△4.0%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	87.0%	1.9%	81.8%	1.0%	↑	77.4%	0.0%	△9.6%
	⑥ 学校との連携や情報交換	66.7%	1.9%	75.1%	4.0%		64.2%	0.0%	△2.5%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	90.7%	0.0%	88.0%	1.5%	↑	81.1%	1.9%	△9.6%
	② 指導員同士の情報共有	81.5%	1.9%	68.8%	5.6%	↑	81.1%	1.9%	△0.4%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	63.0%	0.0%	67.7%	8.5%		69.8%	1.9%	▼6.8%
	④ 指導員への相談しやすさ	90.7%	0.0%	80.6%	3.6%	↑	81.1%	3.8%	△9.6%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	90.7%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	75.5%	3.8%	△15.2%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	87.0%	0.0%	81.0%	1.3%	↑	86.8%	0.0%	△0.2%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	90.7%	0.0%	78.2%	2.6%	↑	81.1%	0.0%	△9.6%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	75.9%	3.7%	68.4%	6.6%	↑	58.5%	3.8%	△17.4%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	74.1%	1.9%	71.3%	3.1%	↑	66.0%	1.9%	△8.1%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.3%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	100.0%	0.0%	▼3.7%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	94.4%	0.0%	84.3%	2.6%	↑	86.8%	3.8%	△7.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	88.9%	0.0%	79.8%	2.3%	↑	73.6%	0.0%	△15.3%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	61.1%	0.0%	62.3%	1.6%		54.7%	0.0%	△6.4%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	83.0%	1.9%	78.9%	1.5%	↑	81.1%	0.0%	△1.9%
	② へややといれのきもちよさ	75.5%	0.0%	73.4%	4.9%	↑	73.6%	1.9%	△1.9%
	③ クラブのたのしさ	83.0%	1.9%	77.5%	3.2%	↑	81.1%	3.8%	△1.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	60.4%	3.8%	67.2%	2.7%		60.4%	0.0%	
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	75.5%	0.0%	66.3%	3.5%	↑	67.9%	3.8%	△7.6%

# 評価結果

平成 26 年度

舞浜小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール								
事業者の名称		舞浜小学校地区児童育成クラブ運営委員会						
クラブの所在地		浦安市舞浜二丁目 1 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-352-3615	F A X	047-352-3615			
当該クラブの運営開始日		昭和 62 年 4 月 8 日						
開設場所		小学校敷地内／小学校校舎内						
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	158 人		利 用 者 数	118 人		
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性	0 人	うち、女性	4 人	
		有資格者数	保育士	1 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	0 人
	非常勤	職員数	8 人	うち、男性	0 人	うち、女性	8 人	
		有資格者数	保育士	2 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	人

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	「学童は第2の家庭」安心して通える場所になるように、利用者(保護者・子ども)の声に真摯に対応するよう心がけている。
-----------------------	---

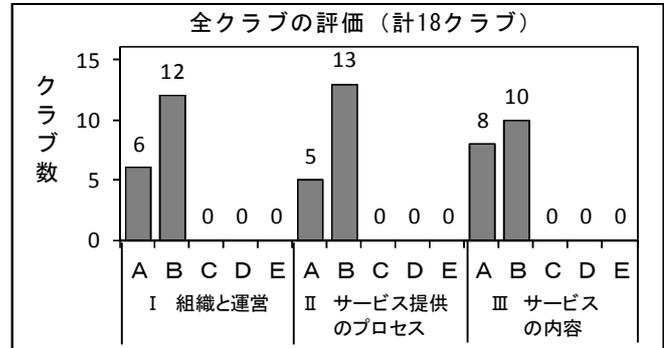
	事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望	
I 組織と運営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運営</li> <li>2 人事</li> <li>3 情報</li> <li>4 危機管理</li> <li>5 個人情報保護</li> </ol>	<p>月 1 回の指導者会議や毎日のミーティングで情報共有し、何でも話し合える環境を作っている。「風の子だより」で子どもの様子や行事等をお知らせしている。父母会との連携を重要視し、利用者が何を望んでいるのかを常に意識し運営している。</p>	<p>新人の指導員には積極的に研修を受けてもらい、子どもとの関わり方を学んでもらっている。本室と分室で提供するサービスに差がないように情報共有の徹底を図るとともに、全ての指導員がどの部屋に配置されてもすぐに対応が出来るように、子どもの事、施設の事を知っておく必要がある。</p>
II サービス提供のプロセス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用希望者への対応</li> <li>2 計画作成・見直し</li> <li>3 サービスの標準化</li> <li>4 苦情解決</li> <li>5 利用者家族へのサポート</li> <li>6 人権の尊重</li> <li>7 地域との連携・交流</li> </ol>	<p>利用希望者へのしおりはわかりやすく記載されている。活動計画は年度末に決めているが、子ども達にとって良いものがあればその都度見直しをしている。子どもが安全に楽しく過ごせるように、利用者が安心して子どもを預けられるように常に心がけている。</p>	<p>地域との交流を増やしていきたい。お迎えの際に利用者の方に、入り口だけで無くもっと子ども達の様子を見て頂けるように声かけをしたい。</p>
III サービスの内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本原則</li> <li>2 コミュニケーション</li> <li>3 相談等の援助</li> <li>4 健康管理</li> <li>5 自傷他害への対応</li> <li>6 活動</li> <li>7 おやつ提供</li> <li>8 施設環境</li> <li>9 来所・帰宅</li> </ol>	<p>学童での活動やおやつが楽しみと思えるよう工夫して取り組んでいる。(遠足、映画、夏祭り、ペープサート、ハンドベル、ハンバーガー&amp;フルーツポンチづくり等)子どもの期待することと、利用者(保護者)の期待すること、どちらも大切にし安心と信頼を得られるよう努力している。</p>	<p>アレルギー児が増える中、誤食をしないように食品の確認の徹底と、万が一事故が起きた場合のシミュレーションをしながら指導員間で連携を取る。子どもの怪我を減らせるように、また怪我をした場合の対応を徹底していく必要がある。</p>

## 運営事業者による自己評価結果

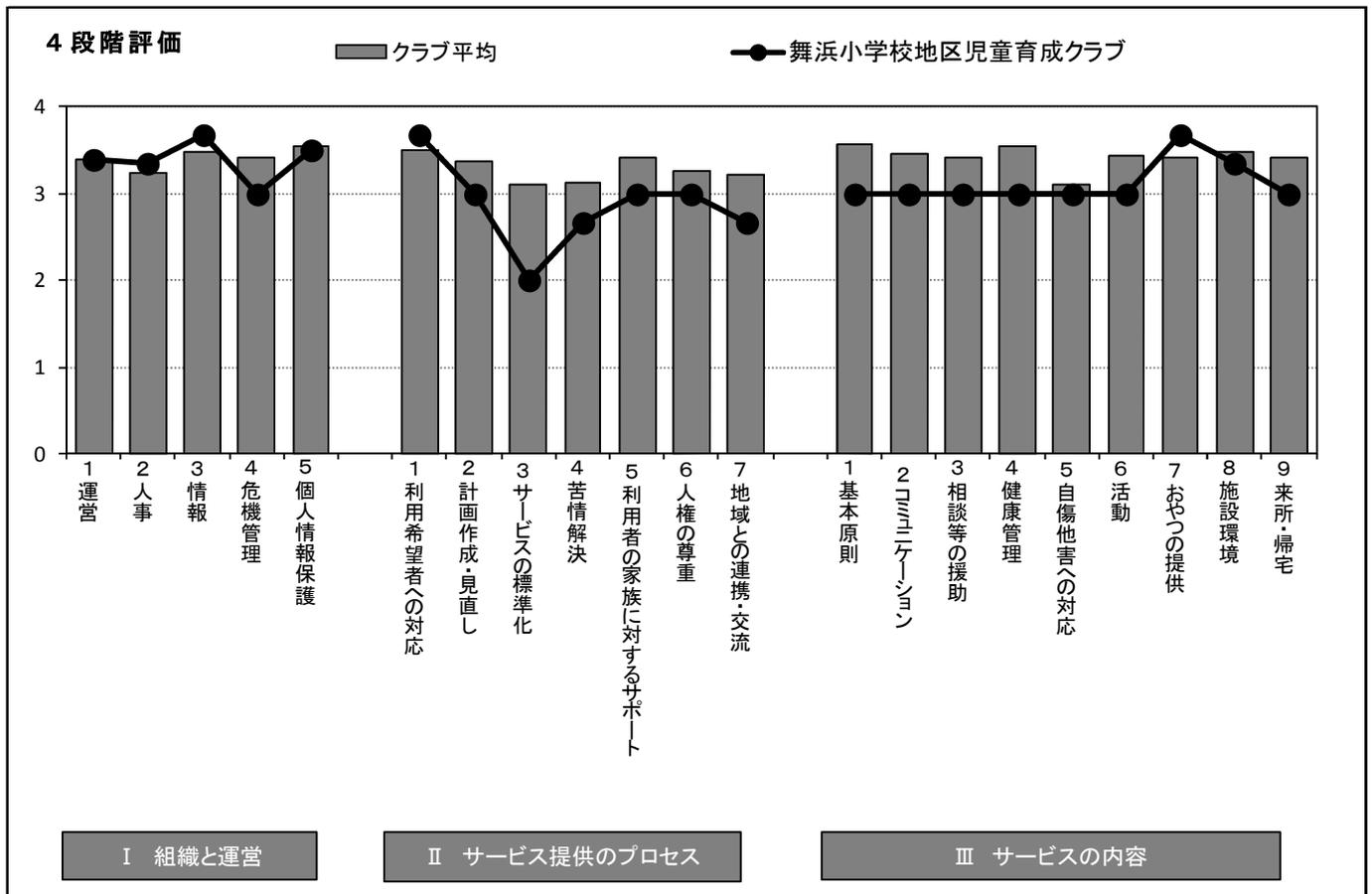
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (B)
II. サービス提供の プロセス	B (B)
III. サービスの内容	B (B)



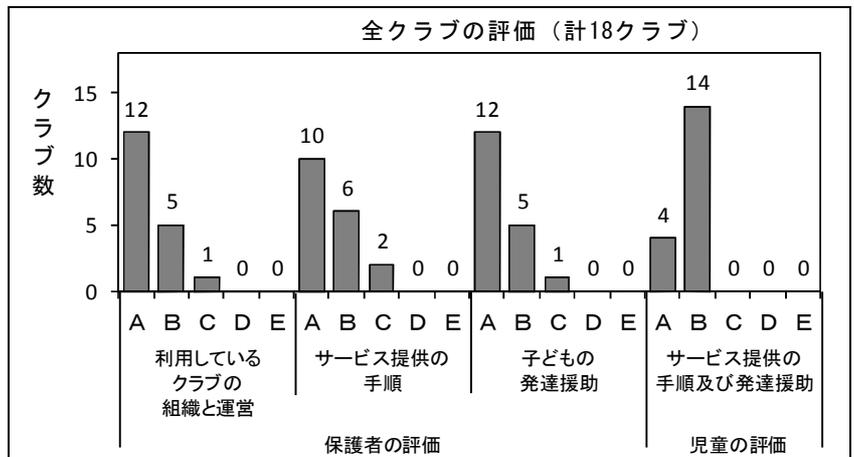
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	83.3%	0.0%	80.9%	1.5%	↑	85.2%	1.6%	▼1.9%
	② 指導員の専門的知識や技術	66.7%	2.8%	58.8%	5.0%	↑	57.4%	1.6%	△9.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	90.3%	1.4%	83.8%	2.9%	↑	88.5%	0.0%	△1.8%
	④ クラブ内の清掃・整理	86.1%	0.0%	80.1%	2.0%	↑	80.3%	1.6%	△5.8%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	86.1%	0.0%	81.8%	1.0%	↑	82.0%	0.0%	△4.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	70.8%	4.2%	75.1%	4.0%		73.8%	1.6%	▼3.0%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	87.5%	0.0%	88.0%	1.5%		90.2%	0.0%	▼2.7%
	② 指導員同士の情報共有	70.8%	0.0%	68.8%	5.6%	↑	70.5%	3.3%	△0.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	73.6%	2.8%	67.7%	8.5%	↑	62.3%	6.6%	△11.3%
	④ 指導員への相談しやすさ	81.9%	4.2%	80.6%	3.6%	↑	85.2%	0.0%	▼3.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	79.2%	0.0%	79.5%	2.0%		67.2%	0.0%	△12.0%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	88.9%	0.0%	81.0%	1.3%	↑	85.2%	3.3%	△3.7%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	77.8%	2.8%	78.2%	2.6%		70.5%	0.0%	△7.3%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	81.9%	4.2%	68.4%	6.6%	↑	78.7%	0.0%	△3.2%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	77.8%	0.0%	71.3%	3.1%	↑	75.4%	1.6%	△2.4%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	93.1%	0.0%	96.2%	0.4%		95.1%	0.0%	▼2.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	84.7%	2.8%	84.3%	2.6%	↑	88.5%	1.6%	▼3.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	79.2%	0.0%	79.8%	2.3%		65.6%	3.3%	△13.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	43.1%	5.6%	62.3%	1.6%		57.4%	1.6%	▼14.3%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	84.7%	1.4%	78.9%	1.5%	↑	83.6%	1.6%	△1.1%
	② へややといれのきもちよさ	68.1%	5.6%	73.4%	4.9%		60.7%	3.3%	△7.4%
	③ クラブのたのしさ	76.4%	6.9%	77.5%	3.2%		67.2%	4.9%	△9.2%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	59.7%	1.4%	67.2%	2.7%		62.3%	8.2%	▼2.6%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	63.9%	6.9%	66.3%	3.5%		55.7%	1.6%	△8.2%

# 評価結果

平成 26 年度

美浜北小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ					
クラブの所在地		浦安市美浜五丁目 12 番 1 号					
クラブの連絡先		電 話	047-351-6050	F A X	047-351-6050		
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校校舎内					
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	55 人		利 用 者 数	34 人	
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	3 人	うち、男性	0 人	うち、女性	3 人
		有資格者数	保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	3 人	うち、男性	0 人	うち、女性	3 人
		有資格者数	保育士	1 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども 1 人ひとりの自主性、自発性を尊重します。</li> <li>子ども達同士の話し合いや提案を大切にしています。</li> <li>地域の中で子育てをするという視点を大切にし、地域交流を積極的に行います。</li> </ul>
-----------------------	---

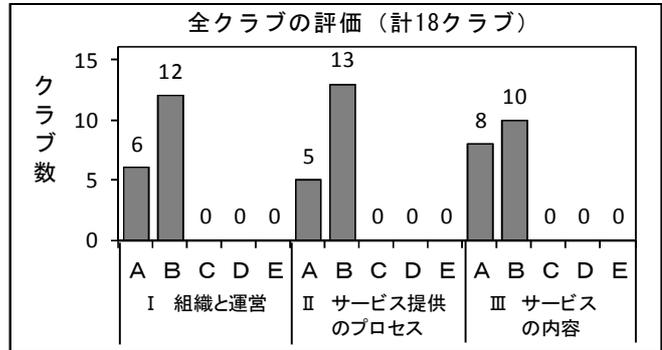
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	職員一人ひとりが経営者として、運営に責任を持って。毎日のミーティングや毎月の会議において話し合いや情報の共有を頻繁に行い、支援に活かすようにしている。また、同事業者 3 クラブが連携してマニュアル作成を行うことで、運営体制を整えている。それと共に、ほぼ毎月合同で研修会を行い、学びを深めるとともに指導員同士で情報交換を行っている。	新人研修の内容を充実することで、継続して働きやすい環境を整えていきたい。また、職員の誰もが利用者に対して標準化したサービスが出来るよう、必要な内容について優先順位をつけながら、年度毎にマニュアルを見直していきたい。利用者が意見を出したり相談したりしやすくなるよう、システムを作ったり関係を深めたりしていきたい。来年度は入船北クラブと統合するので、新たに入会される利用者のニーズをつかみ応えていくようにしたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	子どもを中心とした、子どもが主役になれるような保育を目指している。子どもから、アンケート(欲しいおもちゃ、読みたい本、やりたい遊び、好きなおやつ等)を取って運営に活かしたり、行事の提案や事前準備から子どもが参加できるようにしたりしてきた。運営においては、地域で子育てをするという視点を大切にしており、公民館事業に参加したり行事の際には郵便局や小学校にもご協力頂いたりした。また、小学校とは、緊急時対応や子どもの様子の共有について、日頃から連携をしている。	今年度お世話になった地域の方と、継続的な関わり合いが持てるようにしていきたい。また、新たに自治会の方や近隣の幼稚園と保育園、運営協議会に参加して下さる方と関わり合いを持ちたい。そのことによって、子ども自身が地域の方々に見守られながら大切に育てられているという実感を持てるようにしたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	子ども達が気持ちよく安全に使えるような生活環境づくりを目指し、整理整頓や清掃、消毒を子ども達と一緒にやっている。季節感や伝統を意識した装飾や掲示物の作成を行っている。行事に合ったおやつ(26 年度は、夏に流しそうめん、冬に Xmas ケーキ作り)をしている。	子ども達がより環境整備に興味を持ち、関わり、自分達の居場所をきれいにする気持ちよさを味わえるようにしたい。そのことで、整理整頓、清掃を習慣づけたい。行事においては、今年度以上に子どもの参加や活躍の場を増やしていきたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねることで、保護者と共に子どもの成長を喜び合えるようになりたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

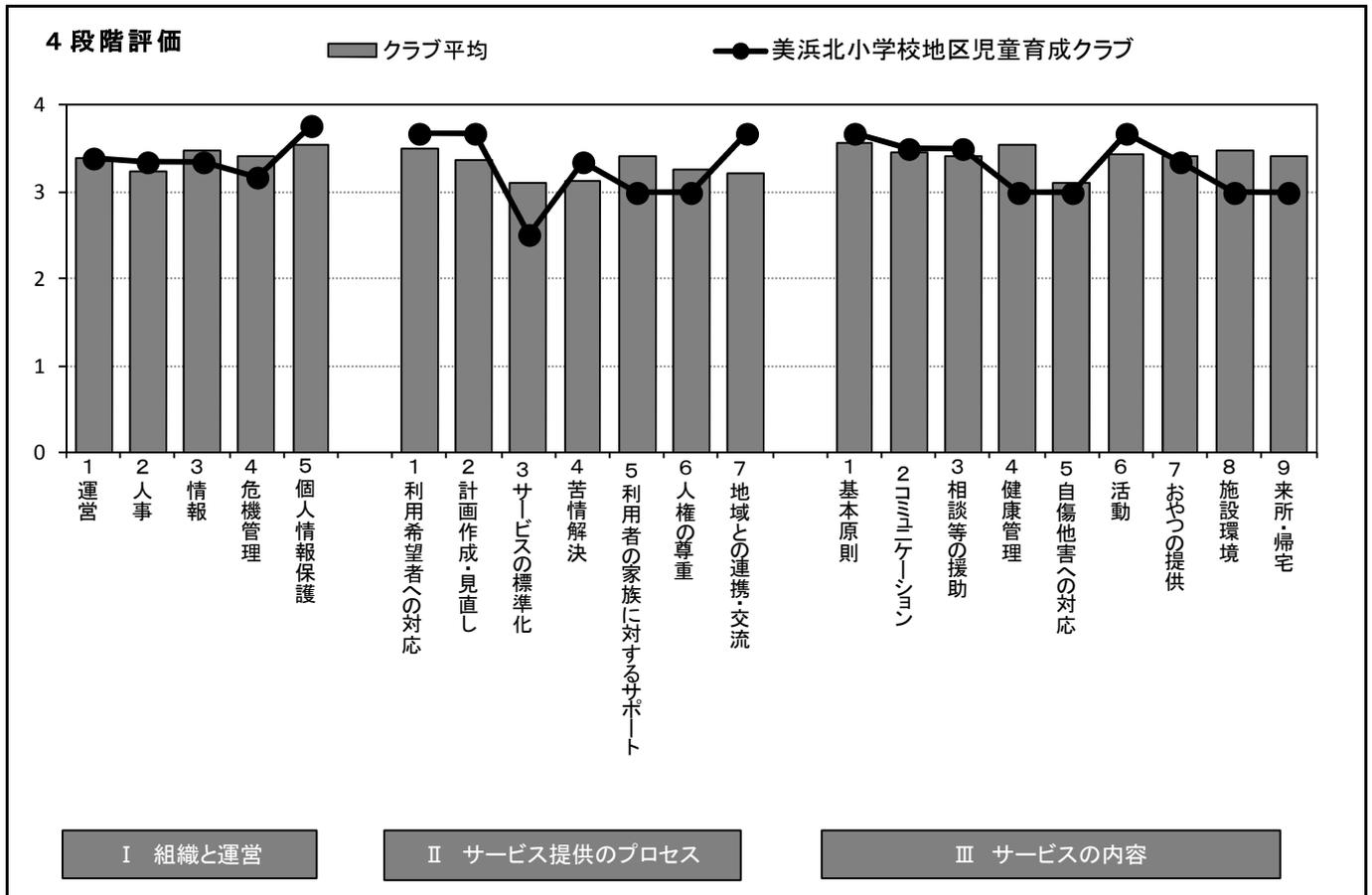
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供のプロセス	B (A)
III. サービスの内容	B (A)



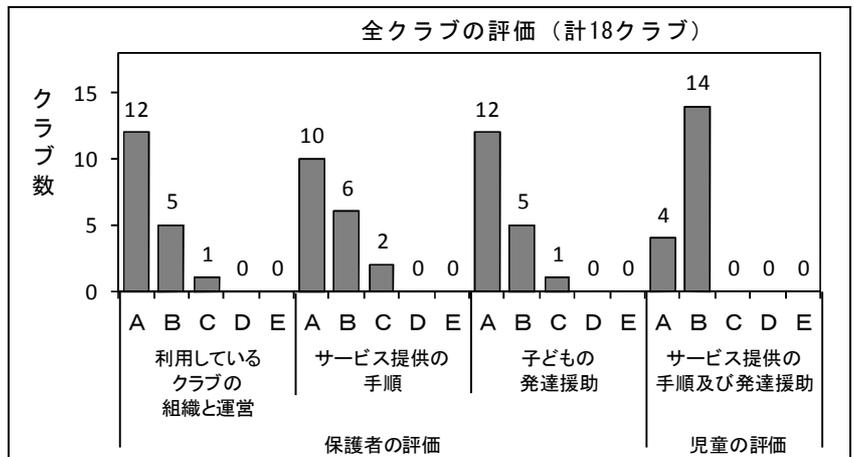
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (C)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	72.0%	0.0%	80.9%	1.5%		56.0%	0.0%	△16.0%
	② 指導員の専門的知識や技術	72.0%	0.0%	58.8%	5.0%	↑	64.0%	16.0%	△8.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	92.0%	0.0%	83.8%	2.9%	↑	60.0%	12.0%	△32.0%
	④ クラブ内の清掃・整理	84.0%	0.0%	80.1%	2.0%	↑	64.0%	8.0%	△20.0%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	88.0%	0.0%	81.8%	1.0%	↑	60.0%	20.0%	△28.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	76.0%	12.0%	75.1%	4.0%	↑	52.0%	12.0%	△24.0%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	80.0%	0.0%	88.0%	1.5%		76.0%	0.0%	△4.0%
	② 指導員同士の情報共有	68.0%	0.0%	68.8%	5.6%		64.0%	8.0%	△4.0%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	76.0%	0.0%	67.7%	8.5%	↑	76.0%	12.0%	
	④ 指導員への相談しやすさ	88.0%	0.0%	80.6%	3.6%	↑	80.0%	12.0%	△8.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	92.0%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	64.0%	20.0%	△28.0%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	80.0%	4.0%	81.0%	1.3%		76.0%	0.0%	△4.0%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	80.0%	4.0%	78.2%	2.6%	↑	68.0%	12.0%	△12.0%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	72.0%	12.0%	68.4%	6.6%	↑	48.0%	24.0%	△24.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	64.0%	4.0%	71.3%	3.1%		72.0%	16.0%	▼8.0%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	92.0%	0.0%	96.2%	0.4%		84.0%	4.0%	△8.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	88.0%	0.0%	84.3%	2.6%	↑	72.0%	8.0%	△16.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	76.0%	0.0%	79.8%	2.3%		72.0%	12.0%	△4.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	88.0%	0.0%	62.3%	1.6%	↑	64.0%	4.0%	△24.0%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	60.0%	8.0%	78.9%	1.5%		84.0%	0.0%	▼24.0%
	② へややといれのきもちよさ	72.0%	4.0%	73.4%	4.9%		72.0%	0.0%	
	③ クラブのたのしさ	64.0%	0.0%	77.5%	3.2%		80.0%	4.0%	▼16.0%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	64.0%	16.0%	67.2%	2.7%		52.0%	4.0%	△12.0%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	56.0%	4.0%	66.3%	3.5%		64.0%	4.0%	▼8.0%

# 評価結果

平成 26 年度

日の出小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		社会福祉法人 わかみや福祉会					
クラブの所在地		浦安市日の出二丁目 11 番 10 号					
クラブの連絡先		電 話	047-380-0666	F A X	047-380-0666		
当該クラブの運営開始日		平成 23 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校敷地外					
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	105 人		利 用 者 数	102 人	
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人		うち、男性	2 人	
		有資格者数	保育士 4 人		幼稚園教諭	4 人	
	非常勤	職員数	5 人		うち、男性	0 人	
		有資格者数	保育士 1 人		幼稚園教諭	0 人	
				うち、女性	2 人		
				幼稚園以外の教諭	0 人		
				うち、女性	5 人		
				幼稚園以外の教諭	0 人		

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と職員が力を合わせ児童により良い環境を作る</li> <li>・保護者が安心して働くことが出来るよう保育の充実を目指す。</li> <li>・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれた学童保育を目指す。</li> </ul>
-----------------------	---

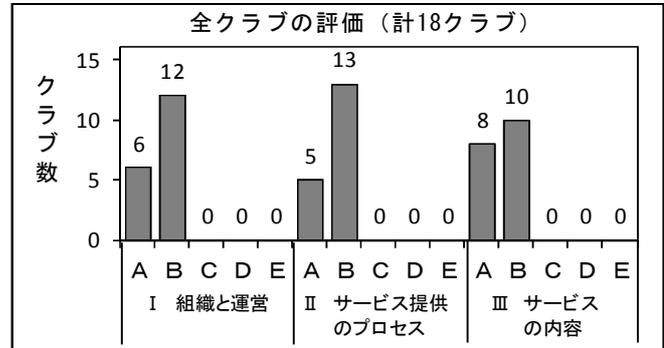
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>保育園運営実績も踏まえながら社会福祉法人としての組織作りをしっかりと行っている。職員間の連絡・連携及び、情報交換も日々細やかかつ丁寧に行っている。どんな場合も利用者の意見や思いに寄り添った対応を心掛けている。又個人情報保護を遵守している。法人として必要に応じて情報の公開を行っている。今年度よりクラス担任制となったが、各クラスに有資格者（保育士資格）を配置、担任が児童、保護者と共により良い保育が出来る環境作りに努力している。</p>	<p>連絡帳を利用したり、電話、保護者会、面談による対応は行っているが、アンケートや調査表などの紙面による意見が少ない為今後は子ども達だけでなく保護者の意見が更に聞けるように工夫していく。また集まった意見を尊重し、保育や行事にその意見を取り入れ保育に役立てられるようにしていく。次年度は長期休暇前に保護者会を開催予定。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>利用希望者の方には、随時見学の手続きを適切に説明を行っている。出来るだけ利用者のニーズに応えられるよう同法人の保育園や児童育成クラブと情報を共有しながら、保育の質を高められるよう努力している。また、子どもの人権を尊重し、一人一人の思いを受け止め、愛情を持った関わりを行っています。支援が必要な子どもや家庭環境が複雑で日々の生活に影響している子どもには、小学校と連携を取り、虐待等の早期発見や問題解決、心のケアに努めている。</p>	<p>同法人の児童育成クラブとの交流会や近隣の保育園との交流会、地域の公民館での交流を更に増やし子ども達に様々な経験をさせていけるように心がける。また記録やマニュアルが不十分なものは早々に作成し、職員に周知徹底させるようにしていきたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども一人ひとりの自主性を尊重しながら、計画や見直しを持って遊びや活動・行事に取り組んでいる。また、子ども達の健康や安全を留意し、環境設定・整備を十分に行い怪我や病気を事前に防いでいる。おやつに関しては出来るだけ手作りに近いものを提供し、季節に合ったものや子どもたちが楽しめるおやつにすることで食育にも繋げている。</p>	<p>おやつや行事内容に関しては、定期的に検討する機会を設け、改善に努める。子ども達にとっての一番を考え、より質の高い保育、健康や栄養面に配慮したおやつ、ま、十分に満足できる施設環境や遊びの環境を整え子ども達が楽しく快適にそして安全に過ごせるように努力していく。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

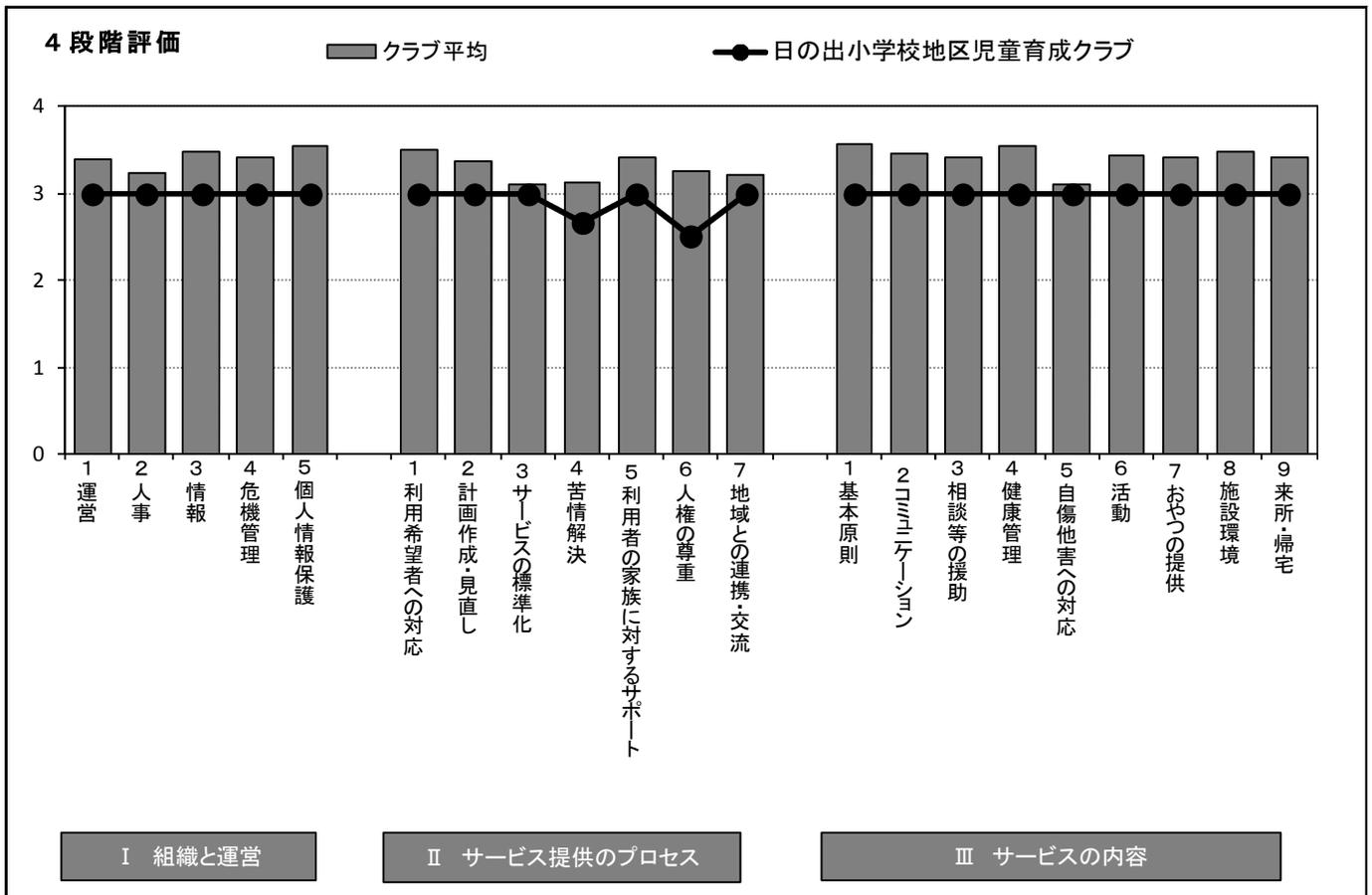
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

**【大項目評価】** ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (B)
II. サービス提供のプロセス	B (C)
III. サービスの内容	B (B)



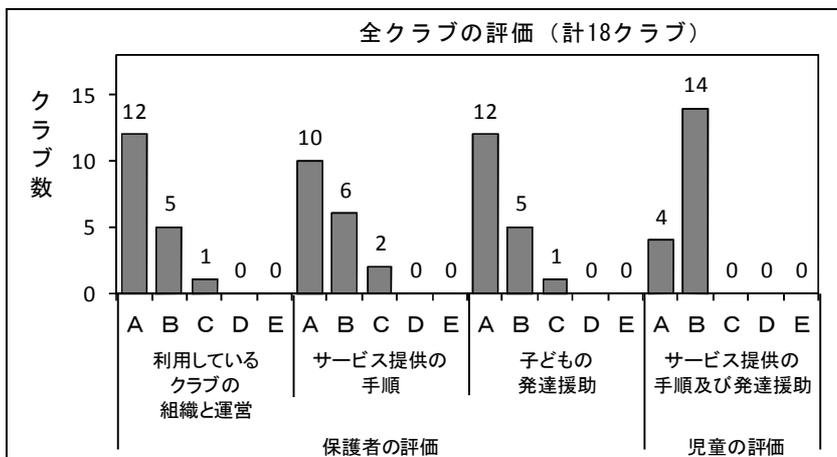
**【中項目評価】** ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (A)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	89.4%	3.0%	80.9%	1.5%	↑	86.5%	0.0%	△2.9%
	② 指導員の専門的知識や技術	69.7%	1.5%	58.8%	5.0%	↑	76.9%	0.0%	▼7.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	97.0%	1.5%	83.8%	2.9%	↑	94.2%	0.0%	△2.8%
	④ クラブ内の清掃・整理	90.9%	1.5%	80.1%	2.0%	↑	96.2%	0.0%	▼5.3%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	92.4%	1.5%	81.8%	1.0%	↑	84.6%	0.0%	△7.8%
	⑥ 学校との連携や情報交換	95.5%	1.5%	75.1%	4.0%	↑	82.7%	0.0%	△12.8%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	93.9%	1.5%	88.0%	1.5%	↑	90.4%	1.9%	△3.5%
	② 指導員同士の情報共有	83.3%	1.5%	68.8%	5.6%	↑	84.6%	1.9%	▼1.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	65.2%	7.6%	67.7%	8.5%		69.2%	3.8%	▼4.0%
	④ 指導員への相談しやすさ	93.9%	0.0%	80.6%	3.6%	↑	86.5%	0.0%	△7.4%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	95.5%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	92.3%	0.0%	△3.2%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	93.9%	1.5%	81.0%	1.3%	↑	94.2%	0.0%	▼0.3%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	86.4%	1.5%	78.2%	2.6%	↑	86.5%	0.0%	▼0.1%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	78.8%	3.0%	68.4%	6.6%	↑	78.8%	0.0%	▼0.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	86.4%	3.0%	71.3%	3.1%	↑	73.1%	0.0%	△13.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.5%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	96.2%	0.0%	△2.3%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	97.0%	0.0%	84.3%	2.6%	↑	94.2%	0.0%	△2.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	90.9%	0.0%	79.8%	2.3%	↑	88.5%	0.0%	△2.4%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	65.2%	1.5%	62.3%	1.6%	↑	63.5%	0.0%	△1.7%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	74.2%	0.0%	78.9%	1.5%		82.7%	1.9%	▼8.5%
	② へややといれのきもちよさ	75.8%	6.1%	73.4%	4.9%	↑	76.9%	0.0%	▼1.1%
	③ クラブのたのしさ	80.3%	4.5%	77.5%	3.2%	↑	76.9%	0.0%	△3.4%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	74.2%	3.0%	67.2%	2.7%	↑	63.5%	1.9%	△10.7%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	72.7%	3.0%	66.3%	3.5%	↑	69.2%	1.9%	△3.5%

# 評価結果

平成 26 年度

明海小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ					
クラブの所在地		浦安市明海二丁目 13 番 1 号					
クラブの連絡先		電 話	047-305-0220	F A X	047-305-0220		
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校敷地外					
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	60 人		利 用 者 数	67 人	
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	3 人		うち、男性	1 人	
		有資格者数	保育士 0 人		幼稚園教諭	0 人	
	非常勤	職員数	6 人		うち、男性	1 人	
		有資格者数	保育士 人		幼稚園教諭	人	
				幼稚園以外の教諭	3 人		
				幼稚園以外の教諭	5 人		
				幼稚園以外の教諭	2 人		

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども 1 人ひとりの自主性、自発性、創造性を育てます。</li> <li>・子ども達同士の話し合いや提案を大切に、実行できるようにサポートしています。</li> <li>・地域の中で子育てをするという視点を大切に、地域交流を積極的に行います。</li> </ul>
-----------------------	---

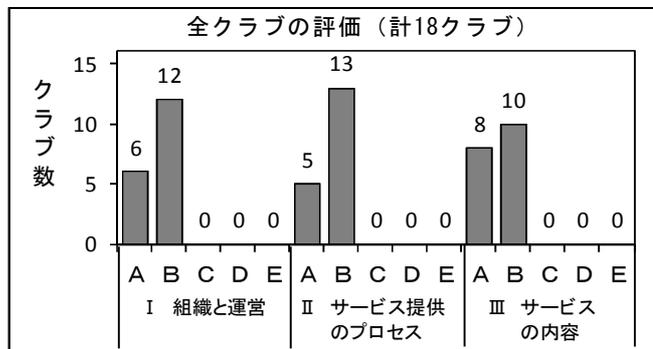
	事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望	
I 組織と運営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運営</li> <li>2 人事</li> <li>3 情報</li> <li>4 危機管理</li> <li>5 個人情報保護</li> </ol>	<p>職員一人ひとりが経営者として、運営に責任を持っている。毎日のミーティングや毎月の会議において話し合いや情報の共有を頻繁に行い、保育に活かすようにしている。また、同事業者 3 クラブが連携してマニュアル作成を行うことで、運営体制を整えている。それと共に、ほぼ毎月合同で研修会を行い、学びを深めるとともに指導員同士で情報交換を行っている。</p>	<p>指導員、保護者、学校、地域の連携をはかってきているがまだ充分とは言えない部分もある。指導員研修の内容を充実することで、継続して働きやすい環境を整えていきたい。利用者が意見を出したり相談したりしやすくなるよう、システムを作ったり関係を深めたりしていきたい。</p>
II サービス提供のプロセス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用希望者への対応</li> <li>2 計画作成・見直し</li> <li>3 サービスの標準化</li> <li>4 苦情解決</li> <li>5 利用者家族へのサポート</li> <li>6 人権の尊重</li> <li>7 地域との連携・交流</li> </ol>	<p>子どもを中心に、子どもが主役になれるような保育を目指している。自分たちで生活や遊びの決まりを考えたり、行事においては、実行委員を立て企画するところから子どもが参加できるようにしてきた。運営においては、地域で子育てをするという視点を大切にしており、公民館事業に参加したり、行事の際には、幼稚園、あけみ遊び広場、郵便局や小学校にも声かけをし、連携をとりあった。また、小学校とは、緊急時対応や子どもの様子の共有について、日頃から連携をしている。保護者が安心して仕事ができるように応援している。</p>	<p>今年度お世話になった自治会の方、近隣の幼稚園、郵便局、地域の方々、継続的な関わり合いが持てるようにしていきたい。そのことによって、子ども自身が地域の方々に見守られながら大切に育てられているという実感を持てるようにしたい。</p>
III サービスの内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本原則</li> <li>2 コミュニケーション</li> <li>3 相談等の援助</li> <li>4 健康管理</li> <li>5 自傷他害への対応</li> <li>6 活動</li> <li>7 おやつ提供</li> <li>8 施設環境</li> <li>9 来所・帰宅</li> </ol>	<p>クラブは第二の家庭と考え、子ども達にとって安心できる居場所になるようにしている。季節や伝統行事を大切にしながら、子ども達と共に自主性、自発性、創造性を育てるような行事を企画、実行している。おやつに関しては、アレルギー児童が多いため、コンタミネーションまで徹底し、一般の子に対しても、スナック菓子ではなく、手作りで安心して食べられるものを提供している。</p>	<p>遊びや生活の中で、異学年、支援児が自然に関わりが持てるように、工夫していきたい。子ども達が安全に過ごせる場の環境づくりをさらに強化していきたい。行事においては、今年度以上に子どもの参加や活躍の場を増やしていきたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねることで、保護者と共に子どもの成長を喜び合えるようになりたい。</p>

## 運営事業者による自己評価結果

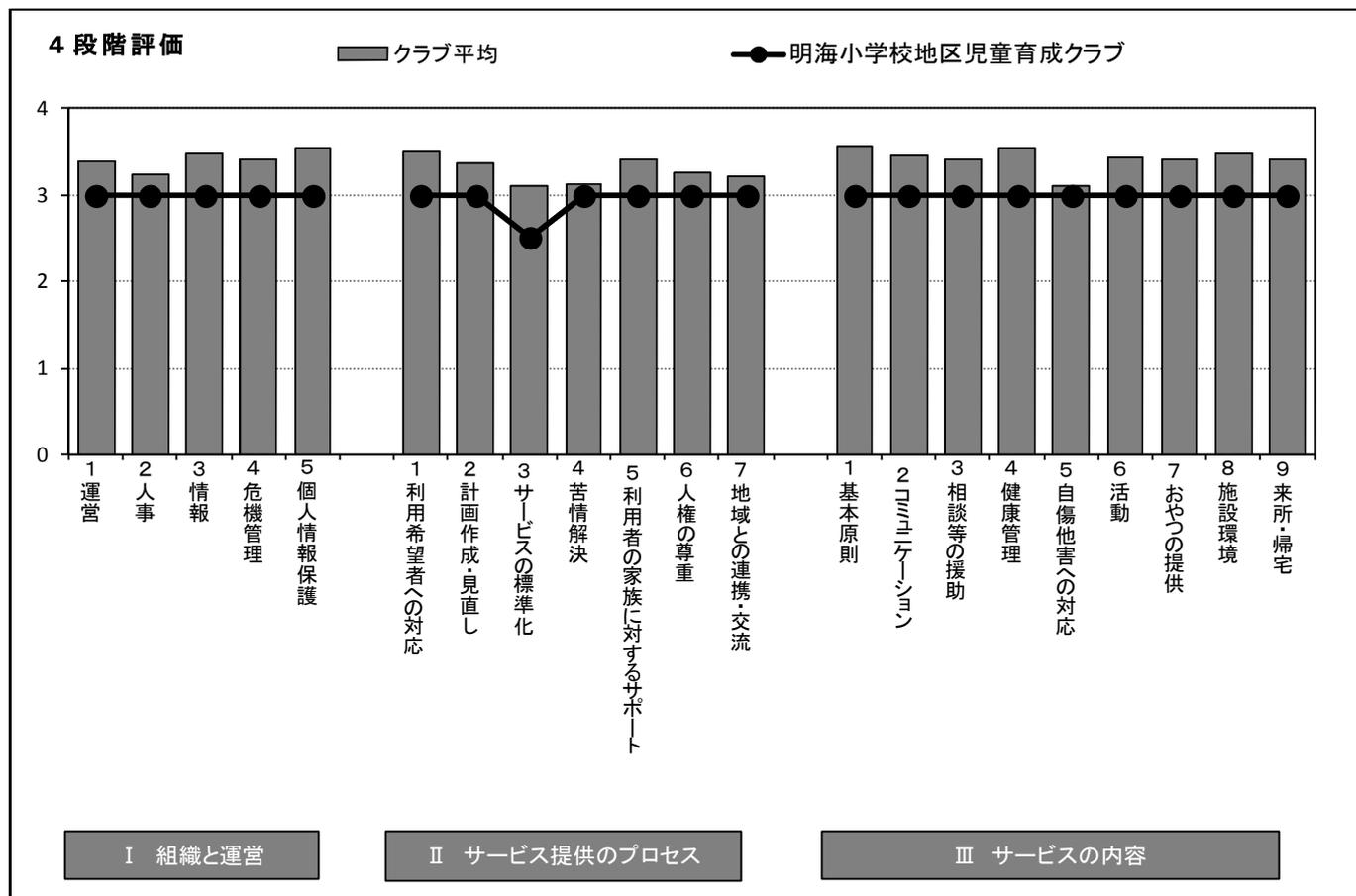
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供のプロセス	B (A)
III. サービスの内容	B (A)



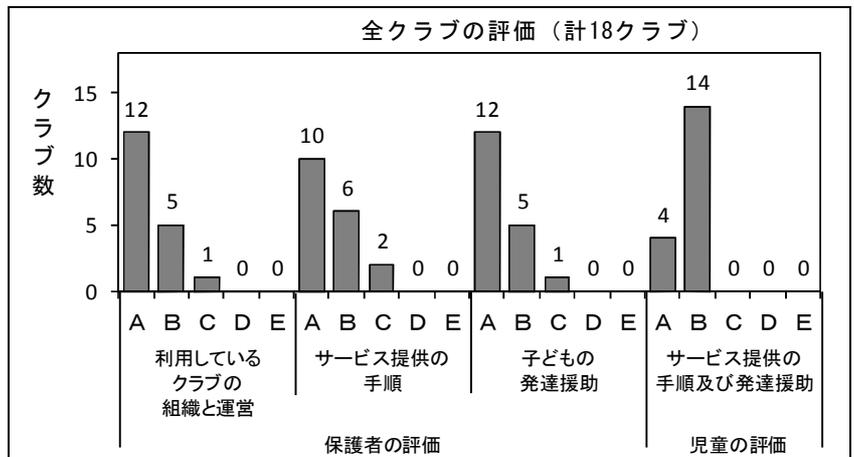
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	82.1%	0.0%	80.9%	1.5%	↑	63.3%	3.3%	△18.8%
	② 指導員の専門的知識や技術	53.8%	0.0%	58.8%	5.0%		63.3%	3.3%	▼9.5%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	84.6%	0.0%	83.8%	2.9%	↑	80.0%	3.3%	△4.6%
	④ クラブ内の清掃・整理	87.2%	0.0%	80.1%	2.0%	↑	86.7%	6.7%	△0.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	61.5%	2.6%	81.8%	1.0%		83.3%	0.0%	▼21.8%
	⑥ 学校との連携や情報交換	74.4%	2.6%	75.1%	4.0%		76.7%	3.3%	▼2.3%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	87.2%	0.0%	88.0%	1.5%		83.3%	3.3%	△3.9%
	② 指導員同士の情報共有	66.7%	7.7%	68.8%	5.6%		70.0%	6.7%	▼3.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	61.5%	17.9%	67.7%	8.5%		60.0%	13.3%	△1.5%
	④ 指導員への相談しやすさ	84.6%	0.0%	80.6%	3.6%	↑	83.3%	6.7%	△1.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	82.1%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	90.0%	0.0%	▼7.9%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	89.7%	0.0%	81.0%	1.3%	↑	73.3%	0.0%	△16.4%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	79.5%	2.6%	78.2%	2.6%	↑	70.0%	3.3%	△9.5%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	66.7%	7.7%	68.4%	6.6%		63.3%	6.7%	△3.4%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	76.9%	2.6%	71.3%	3.1%	↑	70.0%	3.3%	△6.9%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.4%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	100.0%	0.0%	▼2.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	82.1%	0.0%	84.3%	2.6%		86.7%	3.3%	▼4.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	82.1%	0.0%	79.8%	2.3%	↑	90.0%	0.0%	▼7.9%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	64.1%	0.0%	62.3%	1.6%	↑	76.7%	0.0%	▼12.6%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	66.7%	2.6%	78.9%	1.5%		76.7%	0.0%	▼10.0%
	② へややといれのきもちよさ	64.1%	12.8%	73.4%	4.9%		70.0%	3.3%	▼5.9%
	③ クラブのたのしさ	61.5%	10.3%	77.5%	3.2%		63.3%	0.0%	▼1.8%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	64.1%	2.6%	67.2%	2.7%		56.7%	3.3%	△7.4%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	59.0%	5.1%	66.3%	3.5%		60.0%	0.0%	▼1.0%

## 評 価 結 果

平成 26 年度

高洲小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		株式会社 日本ダイケアセンター					
クラブの所在地		浦安市高洲四丁目 2 番 8 号					
クラブの連絡先		電 話	047-351-1015	F A X	047-351-1015		
当該クラブの運営開始日		平成 15 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校敷地外					
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	195 人		利 用 者 数	156 人	
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	10 人		うち、男性	3 人	
		有資格者数	保育士 3 人		幼稚園教諭	2 人	
	非常勤	職員数	6 人		うち、男性	0 人	
		有資格者数	保育士 0 人		幼稚園教諭	1 人	
				幼稚園以外の教諭	2 人		
						幼稚園以外の教諭	4 人

### 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	毎日のミーティングや聞き取りで得た情報を全支援員間で共有し、記録に残した情報をいつでも確認できるようにしている。子どもの意見を尊重しつつ、けじめをつけたり、悪いことをしたらしっかり叱るよう、保育を行なっている。「自分がやられて嫌なことは人にしない」ように子ども達には声をかけている。
-----------------------	---

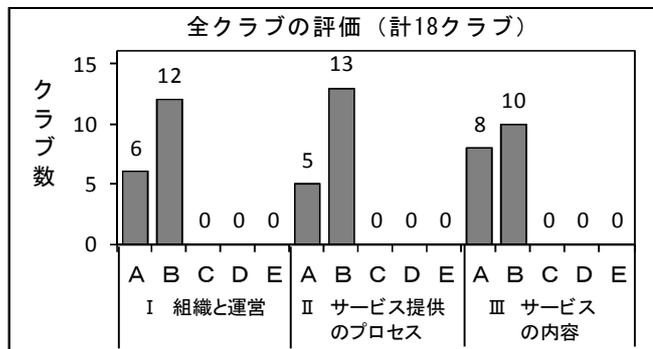
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	始業時のミーティングや終業時の聞き取りを毎日行なっており、それを記録しているため、指導員間での情報共有がしっかり行なえている。学校とは書類の受け渡しを通して情報交換を行い、学校のイベントにも積極的に参加することで良好な関係を築けるように努めている。怪我事故については、記録をしっかりとして残し、再発防止のための話し合いを行なっており、場合によっては修繕を行なっている。	ミーティングで意見、提案を聞いているが、より話しあいしやすい状態を保っていきたい。学童で行なっているイベントなどをより多くの方に知ってもらうために、活動内容や感想などを載せて工夫したお手紙を出していく必要がある。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	年度初めに活動計画について話し合うが、その後変化に対して柔軟に対応している。苦情については即座にミーティングで話し合い、解決方法を模索している。また、記録に残すことで再発を防止、どの支援員も確認できるようにしている。家庭環境に変化のあった子どもについては、情報を全支援員で共有し、重点的に様子を見るように声をかけている。	マニュアルや新人研修の面が弱いので、作成していく必要がある。地域行事への参加もなるべく行なっているが、開催されるのが土日のことが多く、学童の出席人数も少ないため、参加人数が少なくなってしまう。また、子ども達が参加したがない場合も多く、工夫が必要だと感じている。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	子どもの意向を聞いて、なるべくやりたいことができるようにしている。毎日のミーティングで子どもの様子について話し、気になる子どもは注意して見るよう支援員全体に伝えている。また、記録を残して全支援員がすぐ確認できるようにしている。清掃は1日2回行なっているが、子どもの人数が多いこともあり汚れることもおおいので、こまめに掃き掃除などを行なっている。	おやつについて季節感を出すような工夫はしているが、同じようなおやつになってしまうことがある。清掃についてなるべくこまめに行なっているが、さらに整理整頓をしっかり行なうよう声かけを行ないたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

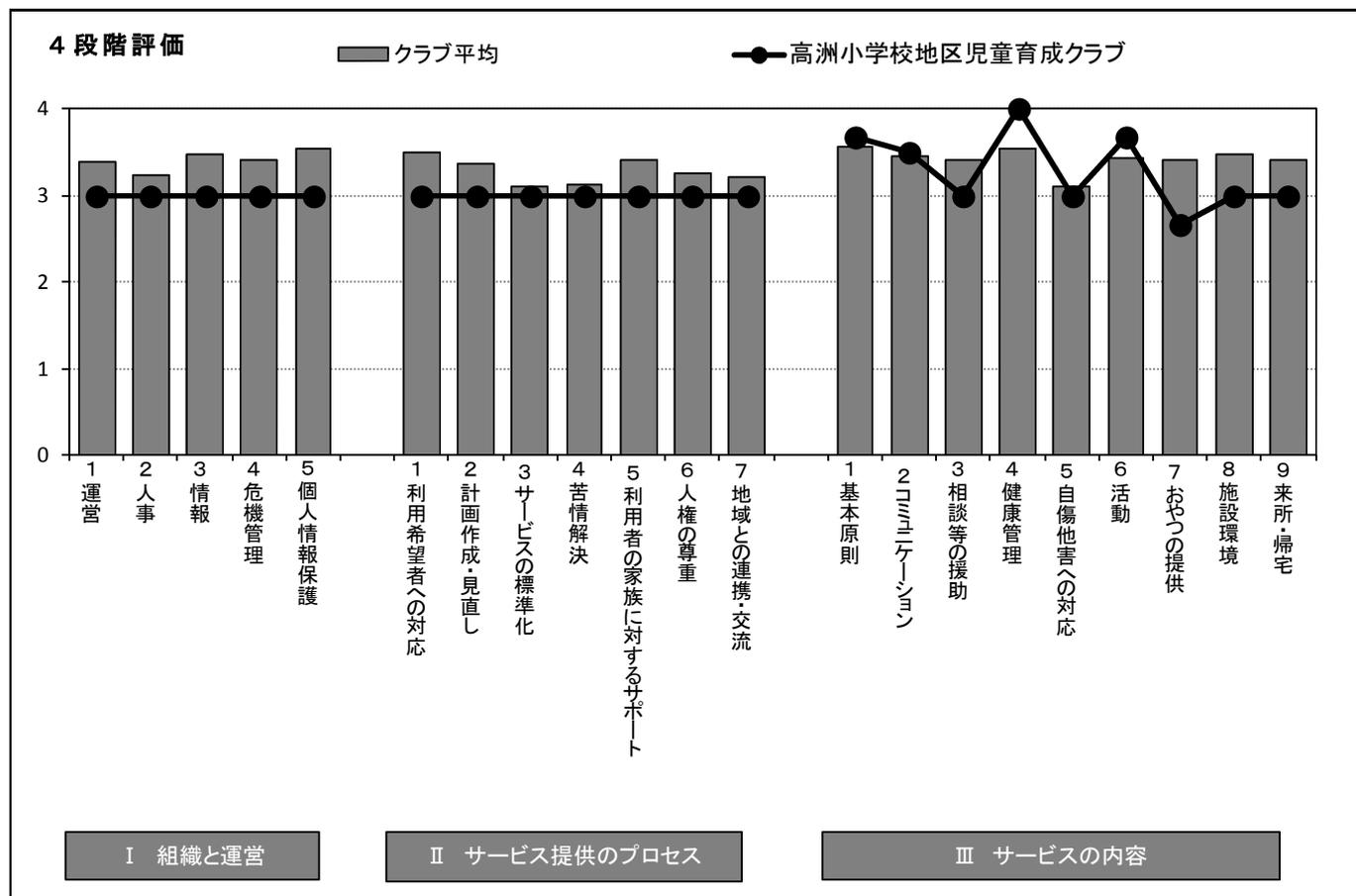
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供のプロセス	B (A)
III. サービスの内容	B (A)



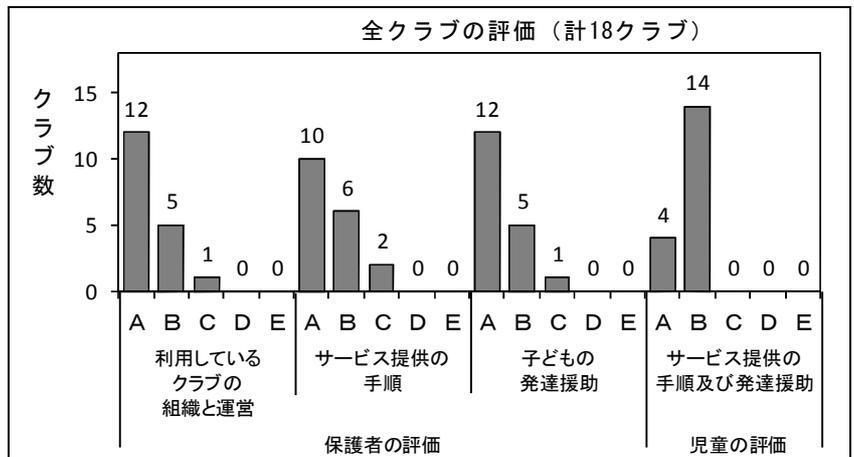
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	85.0%	0.9%	80.9%	1.5%	↑	82.9%	1.3%	△2.1%
	② 指導員の専門的知識や技術	69.2%	2.8%	58.8%	5.0%	↑	72.4%	1.3%	▼3.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	85.0%	0.9%	83.8%	2.9%	↑	82.9%	0.0%	△2.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	78.5%	0.9%	80.1%	2.0%		67.1%	2.6%	△11.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	87.9%	0.9%	81.8%	1.0%	↑	82.9%	0.0%	△5.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	83.2%	0.9%	75.1%	4.0%	↑	78.9%	2.6%	△4.3%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	94.4%	0.0%	88.0%	1.5%	↑	93.4%	0.0%	△1.0%
	② 指導員同士の情報共有	83.2%	1.9%	68.8%	5.6%	↑	77.6%	1.3%	△5.6%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	80.4%	4.7%	67.7%	8.5%	↑	80.3%	9.2%	△0.1%
	④ 指導員への相談しやすさ	88.8%	1.9%	80.6%	3.6%	↑	90.8%	1.3%	▼2.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	87.9%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	86.8%	2.6%	△1.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	76.6%	1.9%	81.0%	1.3%		75.0%	2.6%	△1.6%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	88.8%	0.9%	78.2%	2.6%	↑	82.9%	0.0%	△5.9%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	83.2%	1.9%	68.4%	6.6%	↑	84.2%	2.6%	▼1.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	78.5%	2.8%	71.3%	3.1%	↑	73.7%	2.6%	△4.8%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	99.1%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	96.1%	0.0%	△3.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	84.1%	0.9%	84.3%	2.6%		84.2%	3.9%	▼0.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	93.5%	0.9%	79.8%	2.3%	↑	80.3%	0.0%	△13.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	86.0%	0.0%	62.3%	1.6%	↑	89.5%	1.3%	▼3.5%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の援助について	① おやつのおいしさ	79.2%	1.9%	78.9%	1.5%	↑	85.5%	0.0%	▼6.3%
	② へややといれのきもちよさ	70.8%	5.7%	73.4%	4.9%		61.8%	2.6%	△9.0%
	③ クラブのたのしさ	78.3%	0.0%	77.5%	3.2%	↑	89.5%	0.0%	▼11.2%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	75.5%	0.9%	67.2%	2.7%	↑	84.2%	0.0%	▼8.7%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	77.4%	0.9%	66.3%	3.5%	↑	81.6%	3.9%	▼4.2%

# 評価結果

平成 26 年度

日の出南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		株式会社 サクセスアカデミー					
クラブの所在地		浦安市日の出五丁目 4 番 3 号					
クラブの連絡先		電 話	047-305-1345	F A X	047-305-1345		
当該クラブの運営開始日		平成 24 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校敷地内					
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	120 人		利 用 者 数	96 人	
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人		うち、男性	2 人	
		有資格者数	保育士	2 人		幼稚園教諭	人
	非常勤	職員数	16 人		うち、男性	1 人	
		有資格者数	保育士	2 人		幼稚園教諭	2 人
				幼稚園以外の教諭	3 人		

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	あたたかな環境の中で、ひとり一人の心に寄り添い、泣いたり、笑ったり、時には怒ったり、自分らしさを表現できる居場所作りを大切にしています。働く保護者の子育てを支えていける、安全・安心した場所作りを目指しています。
-----------------------	---

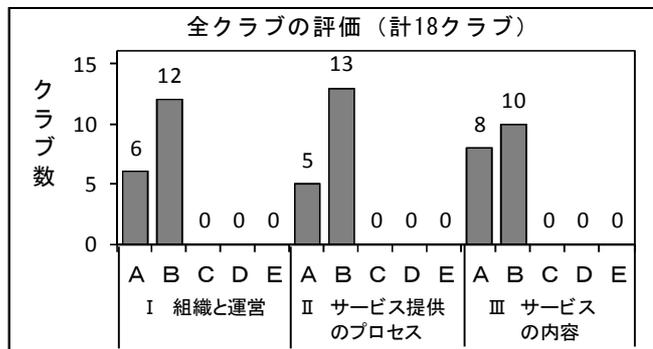
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
Ⅰ 組織と運営	1 運営	様々な年代とスキルを持った指導員が多く、各自の得意分野を行事や、日々の活動に活かしている。また、弊社作成の「指導員ナビ」「SNS ポケットブック」などを活用し、ミーティング時の読み合わせや、ロールプレイを行い、専門性を高める研修を行っています。情報共有が安全・安心な活動のベースになること全員が理解しており、徹底しています。職員各自が年間の成長目標を設定しており、その目標に向かって、年 2 回、上長と目標達成の進捗確認と振り返りを行っています。	子ども子育て新制度の施行を受け、時代が求めている指導員の役割について、施設内でも学ぶ機会を増やしてまいります。常勤指導員に限らず、非常勤指導員も他の施設を見学する機会を設け、視野の広い活動につなげていきます。施設側から利用者に向けたアンケートの実施を検討中です。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
Ⅱ サービスの提供のプロセス	1 利用希望者への対応	全ての活動は子どもの人権尊重を基本にし計画しています。大規模ではあるが、ひとり一人が今必要としていることは何かを指導員間で話し合っており、開かれた学童クラブとして、他のクラブとの交流や、ボランティアの受け入れ、市内の施設、団体と共同企画などを積極的に取り入れています。例) 浦安市国際交流センター、早稲田大学学生によるラグビーをベースにした運動や、都内学童クラブとの交流、高校生ボランティアなど。	専門的知識として、子どもの発達段階を学ぶ機会を増やし、活動に活かしていきます。父母会と共催行事を継続の中で、クラブの活動を紹介するコーナーを充実し、保護者が求めるサービスと、現場が考えるサービスを融合させ、子どもの育ちの側面を考え、時代にあったサービスの提供を行っていきたくと考えています。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
Ⅲ サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>各指導員のスキルを活かし、茶道部を作り、継続的に伝統文化に触れる機会を作っています。</li> <li>手芸、工作を毎月行い、手先を使い作品を仕上げる喜びを感じる企画を継続してきました。</li> <li>保護者の勤務先へ遠足に行く企画を行い、広く社会を感じる場を作りました。</li> <li>リクエストボックスを置き、子どもがクラブでやってみたいことや、欲しい遊具などを誰でも自由に書いて入れられるようにしました。リクエストには返事を書いており、要望により遊具を購入したり、おやつメニューに反映したりしました。そうすることで、子どもが主体となって活動するクラブを目指しています。</li> </ul>	感染症や怪我などの応急処置、障害への理解をさらに深める研修を取り入れようと検討中です。地域との交流を深めるひとつの手段として、お年寄りとの交流、保育園、中学校、高校、大学など市内にある団体との共同の活動を考えていきます。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

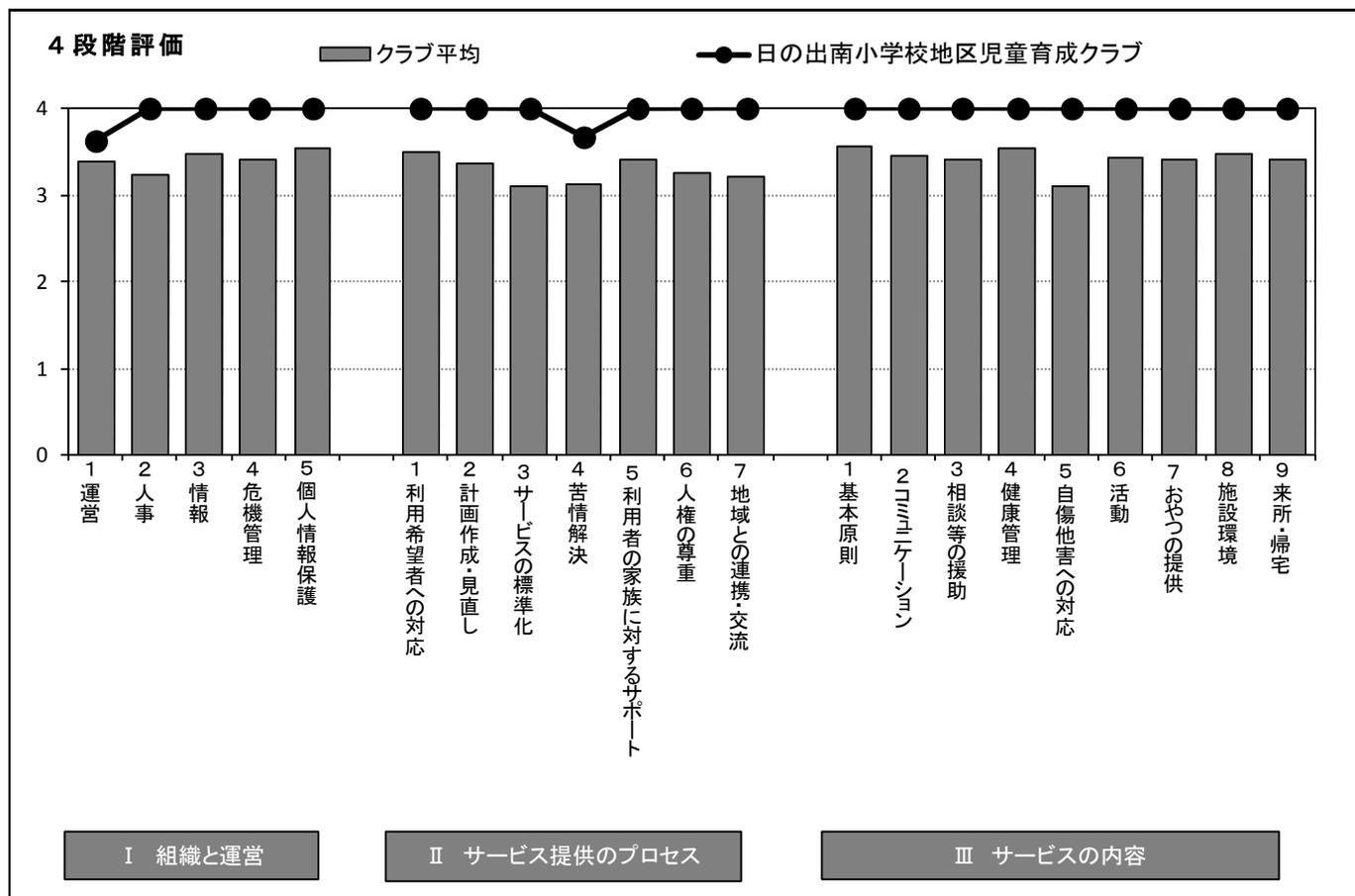
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供のプロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



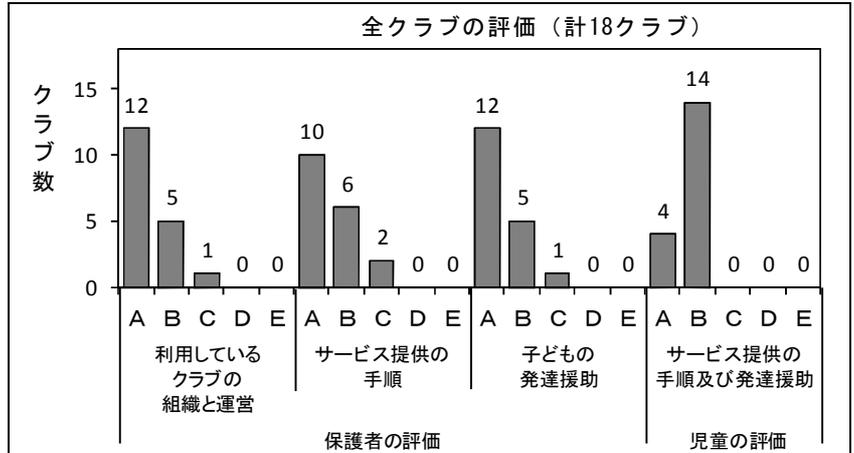
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	83.7%	0.0%	80.9%	1.5%	↑	78.9%	5.3%	△4.8%
	② 指導員の専門的知識や技術	69.4%	0.0%	58.8%	5.0%	↑	56.1%	1.8%	△13.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	85.7%	0.0%	83.8%	2.9%	↑	78.9%	5.3%	△6.8%
	④ クラブ内の清掃・整理	77.6%	4.1%	80.1%	2.0%		56.1%	5.3%	△21.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	93.9%	0.0%	81.8%	1.0%	↑	73.7%	3.5%	△20.2%
	⑥ 学校との連携や情報交換	73.5%	4.1%	75.1%	4.0%		68.4%	8.8%	△5.1%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	91.8%	0.0%	88.0%	1.5%	↑	80.7%	1.8%	△11.1%
	② 指導員同士の情報共有	63.3%	6.1%	68.8%	5.6%		47.4%	19.3%	△15.9%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	75.5%	12.2%	67.7%	8.5%	↑	52.6%	14.0%	△22.9%
	④ 指導員への相談しやすさ	75.5%	4.1%	80.6%	3.6%		66.7%	8.8%	△8.8%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	89.8%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	64.9%	0.0%	△24.9%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	81.6%	2.0%	81.0%	1.3%	↑	78.9%	0.0%	△2.7%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	79.6%	4.1%	78.2%	2.6%	↑	73.7%	3.5%	△5.9%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	71.4%	6.1%	68.4%	6.6%	↑	56.1%	5.3%	△15.3%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	79.6%	2.0%	71.3%	3.1%	↑	54.4%	7.0%	△25.2%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	96.5%	0.0%	△3.5%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	85.7%	6.1%	84.3%	2.6%	↑	80.7%	5.3%	△5.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	75.5%	2.0%	79.8%	2.3%		64.9%	3.5%	△10.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	71.4%	0.0%	62.3%	1.6%	↑	63.2%	0.0%	△8.2%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	61.2%	6.1%	78.9%	1.5%		78.9%	5.3%	▼17.7%
	② へややといれのきもちよさ	69.4%	14.3%	73.4%	4.9%		61.4%	12.3%	△8.0%
	③ クラブのたのしさ	71.4%	6.1%	77.5%	3.2%		68.4%	12.3%	△3.0%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	49.0%	4.1%	67.2%	2.7%		49.1%	8.8%	▼0.1%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	63.3%	6.1%	66.3%	3.5%		63.2%	14.0%	△0.1%

# 評価結果

平成 26 年度

明海南小学校地区児童育成クラブ

## クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社 日本ダイケアセンター					
クラブの所在地		浦安市明海五丁目 5 番 1 号					
クラブの連絡先		電 話	047-382-2901	F A X	047-382-2901		
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校敷地内					
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	110 人		利 用 者 数	60 人	
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	6 人		うち、男性	1 人	
		有資格者数	保育士 1 人		幼稚園教諭	1 人	
	非常勤	職員数	1 人		うち、男性	1 人	
		有資格者数	保育士 0 人		幼稚園教諭	0 人	
				うち、女性	5 人		
				幼稚園以外の教諭	4 人		
				うち、女性	0 人		
				幼稚園以外の教諭	0 人		

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとってより安全で居心地のよい環境を提供するために、日頃より保護者、学校との連携を大切にしている。</li> <li>・子ども自身が学童生活の中にある、人との関わりや様々な体験を通して「相手を思いやる心」「人を大切に作る心」を育ていけるよう、指導員が同じ方向を向き保育に取り組んでいる。</li> </ul>
-----------------------	--

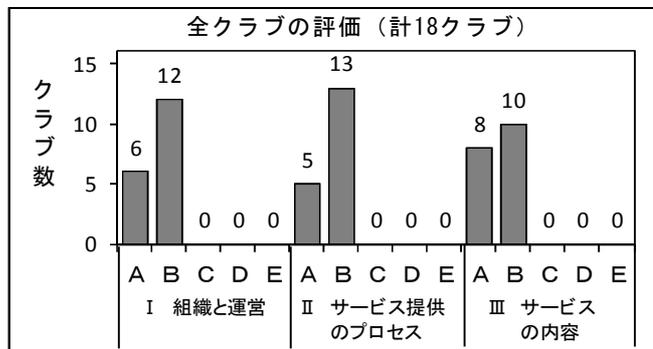
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のミーティングによりあらゆる角度から話し合い、協議することにより、全指導員が同じ方向性を持って業務、保育に取り組んでいる。また保護者、学校との連携を密にし子どもにとってより良い環境づくりに努めている。</li> <li>・災害や緊急時に備え、様々な場面を想定して児童には予知なしの避難訓練を毎月 1 回実施している。子どもには学童滞在時の避難方法を教えるとともに、一人留守番中、自宅においても速やかに対処できるよう併せて教えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所早期発見の為の定期点検を実施していない為、早急に点検計画を作成し実施していく必要がある。また救護や A E D 操作の確認についても、研修後のフィードバックだけでなく、定期的な確認及び実施を行い、各指導員の知識をより強固なものにし緊急事態に備えていく必要がある。</li> </ul>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に一度、地元ボランティアの方々や日頃接することができない方などをお招きし、子どもが普段の生活では経験できないようなことを体験し、貴重な時間を過ごせるよう願って体験教室を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体罰防止、苦情処理について全指導員が理解・把握してはいるが、マニュアル作成や研修といった具体化が成されていない為、早急に検討し実施につなげていく必要がある。</li> </ul>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安心して過ごせるより良い環境づくりに配慮し、学童生活の中にある人との関わりや様々な体験を通して「相手を思いやる心」「人を大切に作る心」を育ていけるよう取り組んでいる。</li> <li>・学年担当指導員を決めることで子どもの状態、状況をより明確に把握している。また子どもの側にとっても話しやすい、相談しやすいなどの安心感につながっている。</li> <li>・誘拐等、残念な事件が多発する昨今、子どもが、万が一の時にすぐに助けが求められるよう「いちよう 100 当番」のある場所を実際に見つけながら、子どもにも認識してもらうための防犯教室を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他害、物損等の危険な行為に対して、子どもの心身を傷つけずに対応するための具体策について直ちに検討し、必要に応じて専門家の協力を得る必要がある。</li> </ul>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

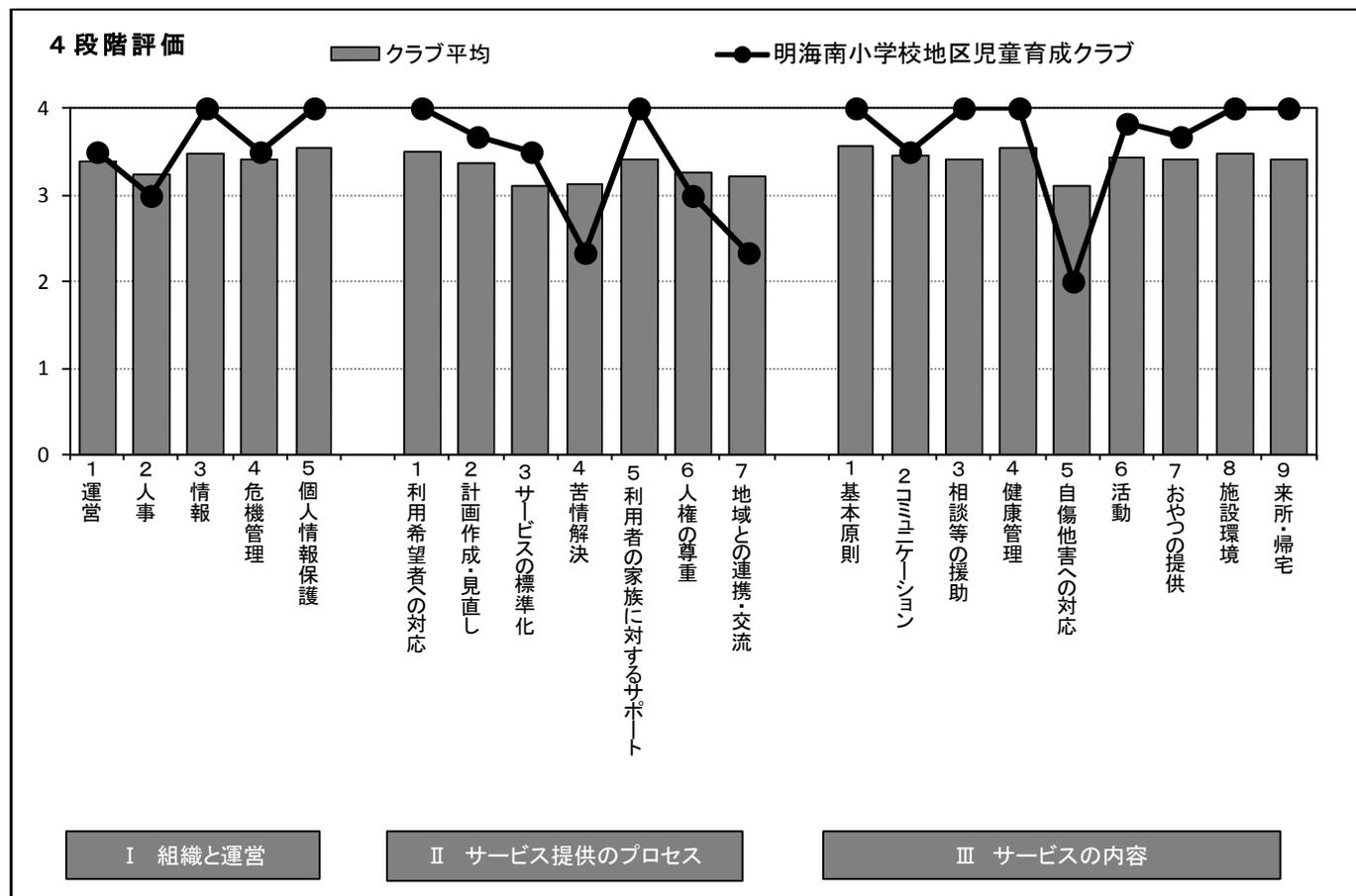
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供のプロセス	B (A)
III. サービスの内容	A (A)



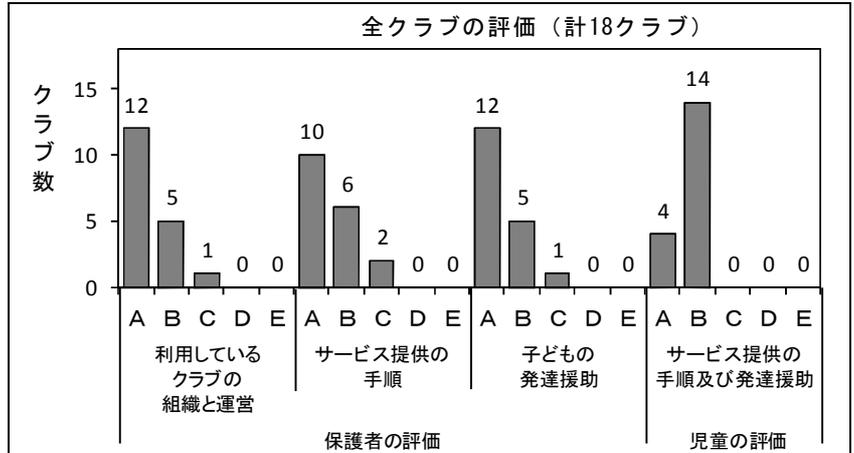
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	76.3%	0.0%	80.9%	1.5%		87.5%	0.0%	▼11.2%
	② 指導員の専門的知識や技術	68.4%	5.3%	58.8%	5.0%	↑	53.1%	3.1%	△15.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	92.1%	0.0%	83.8%	2.9%	↑	93.8%	0.0%	▼1.7%
	④ クラブ内の清掃・整理	73.7%	2.6%	80.1%	2.0%		68.8%	3.1%	△4.9%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	78.9%	0.0%	81.8%	1.0%		81.3%	0.0%	▼2.4%
	⑥ 学校との連携や情報交換	76.3%	0.0%	75.1%	4.0%	↑	62.5%	0.0%	△13.8%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	84.2%	0.0%	88.0%	1.5%		93.8%	0.0%	▼9.6%
	② 指導員同士の情報共有	78.9%	2.6%	68.8%	5.6%	↑	75.0%	3.1%	△3.9%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	81.6%	0.0%	67.7%	8.5%	↑	65.6%	9.4%	△16.0%
	④ 指導員への相談しやすさ	89.5%	5.3%	80.6%	3.6%	↑	81.3%	0.0%	△8.2%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	89.5%	0.0%	79.5%	2.0%	↑	90.6%	0.0%	▼1.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	84.2%	0.0%	81.0%	1.3%	↑	65.6%	3.1%	△18.6%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	81.6%	0.0%	78.2%	2.6%	↑	78.1%	0.0%	△3.5%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	60.5%	5.3%	68.4%	6.6%		59.4%	6.3%	△1.1%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	68.4%	2.6%	71.3%	3.1%		56.3%	3.1%	△12.1%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.4%	0.0%	96.2%	0.4%	↑	93.8%	0.0%	△3.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	92.1%	0.0%	84.3%	2.6%	↑	93.8%	0.0%	▼1.7%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	89.5%	2.6%	79.8%	2.3%	↑	87.5%	0.0%	△2.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	73.7%	0.0%	62.3%	1.6%	↑	84.4%	0.0%	▼10.7%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	76.3%	0.0%	78.9%	1.5%		81.3%	0.0%	▼5.0%
	② へややといれのきもちよさ	84.2%	0.0%	73.4%	4.9%	↑	84.4%	0.0%	▼0.2%
	③ クラブのたのしさ	78.9%	2.6%	77.5%	3.2%	↑	84.4%	3.1%	▼5.5%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	86.8%	0.0%	67.2%	2.7%	↑	81.3%	6.3%	△5.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	84.2%	5.3%	66.3%	3.5%	↑	65.6%	6.3%	△18.6%

# 評価結果

平成 26 年度

高洲北小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称		株式会社 サクセスアカデミー					
クラブの所在地		浦安市高洲二丁目 2 番 1 号					
クラブの連絡先		電 話	047-381-5201	F A X	047-381-5201		
当該クラブの運営開始日		平成 18 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校敷地内					
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	128 人		利 用 者 数	88 人	
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人		うち、男性	1 人	
		有資格者数	保育士	0 人		幼稚園教諭	1 人
	非常勤	職員数	8 人		うち、男性	0 人	
		有資格者数	保育士	0 人		幼稚園教諭	0 人
				幼稚園以外の教諭	3 人		
					幼稚園以外の教諭	2 人	

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	あたたかな環境の中で、ひとり一人の心に寄り添い、泣いたり、笑ったり、時には怒ったり、自分らしさを表現できる居場所作りを大切にしています。働く保護者の子育てを支えていける、安全・安心した場所作りをめざしています。
-----------------------	---

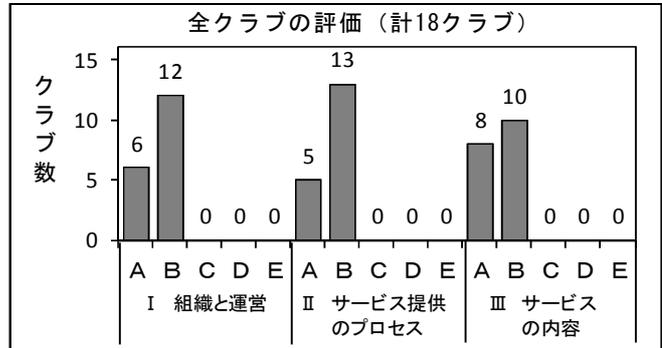
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	社内研修の中で、同事業者内の他施設の情報や取り組みを知ることができました。その情報をもとに、自施設での改善点が明確になり、取り組みをおこなうことができました。また、指導員一人ひとりが、基礎的な知識を再確認することで新たな課題や目標が生まれ、資質の向上やレベルアップにもつながりました。会社独自の「児童育成ガイド」を参考に、全指導員で確認し合いながら運営を行ってきたことにより、指導員としての大切な部分を再確認することができました。都度、軌道修正をしながら、施設運営をより良くすることができたと考えています。	個々のレベルアップと同時に、人と人とのつながりを大切にした場の提供や、人間関係を形成できる機会を法人全体で考えて、指導員一人一人の人間性や社会性を育てていきたいと考えています。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	利用者の声をより多く反映する努力をしております。今年度に関しては、父母会役員から出た意見を参考に、夏と冬の大きなイベントで実行することにより、よりよいイベントとなりました。また、日頃の生活や活動にも利用者の意見を考慮し取り入れるようにしております。利用者の意見を真摯に受け止めることで、マイナスではなくプラスの方向で捉えることができたと考えています。	基本的な部分に関しては現状のブラッシュアップを行い、子どもたちが楽しく、安全に過ごせるよう今後も努めてまいります。法人ならではの、高洲北小学校地区児童育成クラブならではの特色を打ち出し、他社、他施設との差別化を図っていきたくと考えています。より地域に根差した、より利用者満足度の高いサービスの提供を行ってまいります。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	「児童育成ガイド」をもとに、子ども主体の場ということを全指導員で理解・把握をして、支援・指導にあたることができました。子どもと向き合う資質を身につけるための研修などにも積極的に参加することができ、個人のスキルアップをサービスの向上に繋げてまいります。	より一層、指導員の資質やスキルを向上し、今後増え続ける様々なニーズに対応できる力と応用力を身に付け、施設運営に取り組んでまいります。さらに、子どもたちの要求や思いを汲み取り、利用者が安心して利用できること、「ありがとう」といってもらえるサービスを提供できるように、法人全体で力を合わせてまいります。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

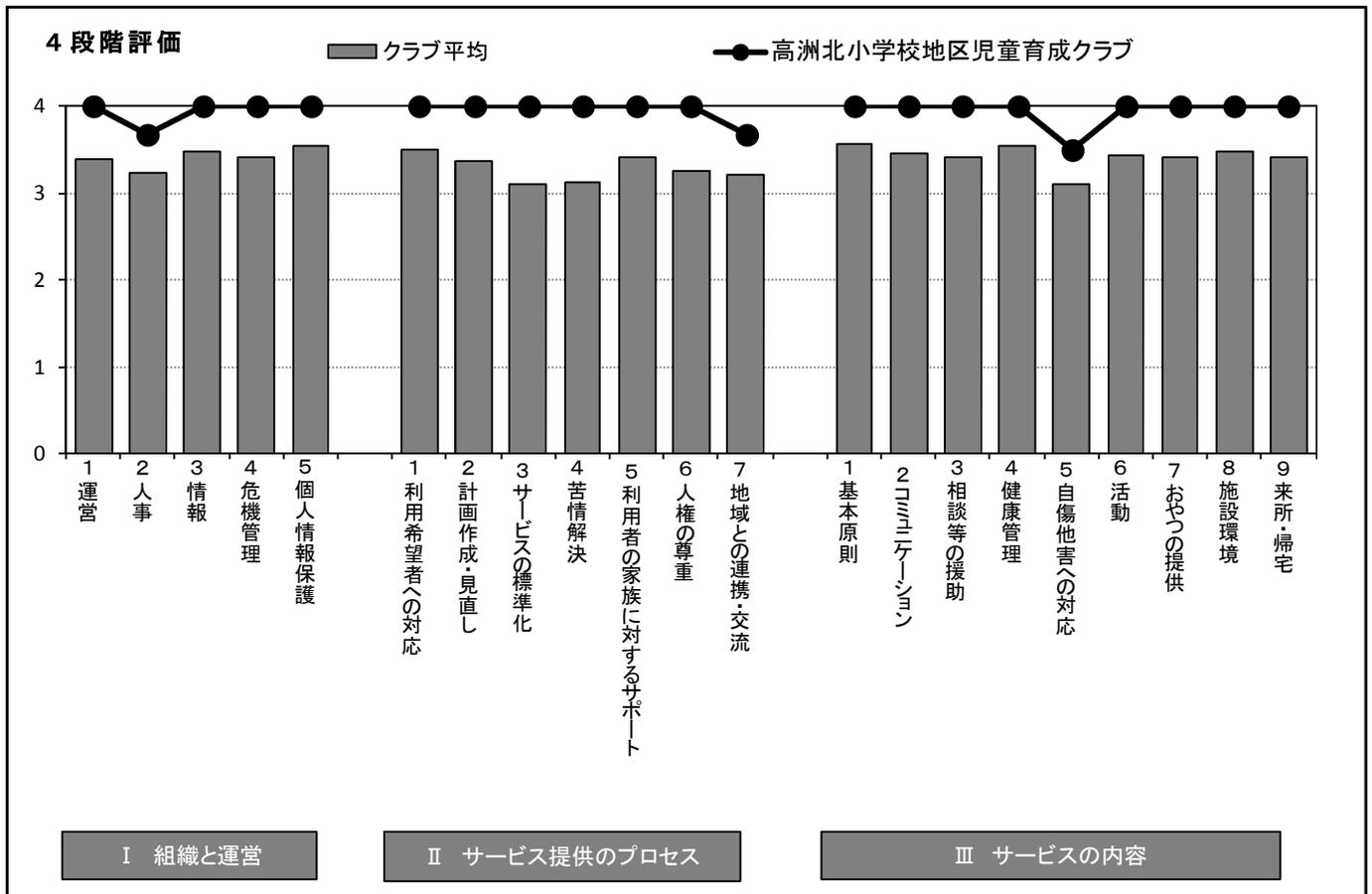
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供のプロセス	A (B)
III. サービスの内容	A (A)



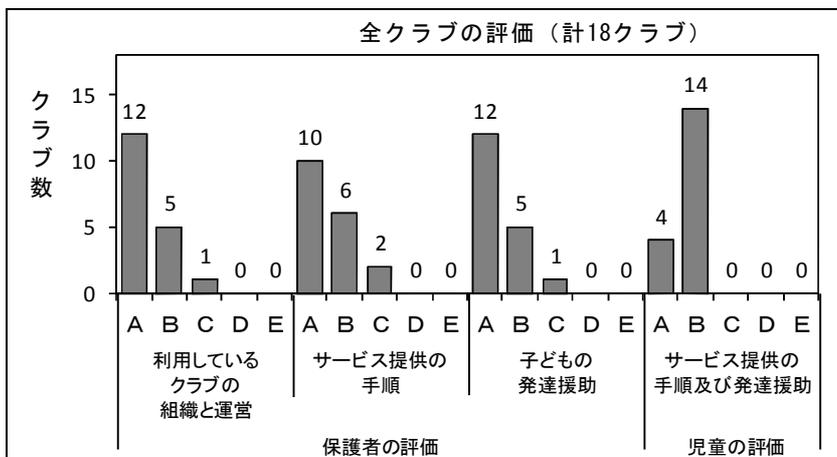
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	C (B)
	サービス提供の手順について	C (B)
	子どもの発達援助について	C (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	68.8%	10.4%	80.9%	1.5%		77.5%	2.5%	▼8.7%
	② 指導員の専門的知識や技術	18.8%	18.8%	58.8%	5.0%		37.5%	7.5%	▼18.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	58.3%	10.4%	83.8%	2.9%		77.5%	5.0%	▼19.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	52.1%	12.5%	80.1%	2.0%		55.0%	10.0%	▼2.9%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	68.8%	4.2%	81.8%	1.0%		72.5%	5.0%	▼3.7%
	⑥ 学校との連携や情報交換	56.3%	8.3%	75.1%	4.0%		80.0%	5.0%	▼23.7%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	81.3%	8.3%	88.0%	1.5%		87.5%	2.5%	▼6.2%
	② 指導員同士の情報共有	52.1%	14.6%	68.8%	5.6%		40.0%	15.0%	△12.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	60.4%	10.4%	67.7%	8.5%		55.0%	17.5%	△5.4%
	④ 指導員への相談しやすさ	56.3%	14.6%	80.6%	3.6%		75.0%	5.0%	▼18.7%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	54.2%	8.3%	79.5%	2.0%		77.5%	7.5%	▼23.3%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	72.9%	6.3%	81.0%	1.3%		82.5%	2.5%	▼9.6%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	62.5%	4.2%	78.2%	2.6%		65.0%	5.0%	▼2.5%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	41.7%	22.9%	68.4%	6.6%		50.0%	15.0%	▼8.3%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	43.8%	14.6%	71.3%	3.1%		50.0%	7.5%	▼6.2%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	91.7%	0.0%	96.2%	0.4%		95.0%	5.0%	▼3.3%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	64.6%	6.3%	84.3%	2.6%		77.5%	7.5%	▼12.9%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	58.3%	6.3%	79.8%	2.3%		62.5%	5.0%	▼4.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	27.1%	8.3%	62.3%	1.6%		42.5%	5.0%	▼15.4%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	85.4%	0.0%	78.9%	1.5%	↑	65.0%	0.0%	△20.4%
	② へややといれのきもちよさ	68.8%	10.4%	73.4%	4.9%		57.5%	7.5%	△11.3%
	③ クラブのたのしさ	75.0%	4.2%	77.5%	3.2%		62.5%	7.5%	△12.5%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	64.6%	0.0%	67.2%	2.7%		47.5%	5.0%	△17.1%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	58.3%	2.1%	66.3%	3.5%		50.0%	2.5%	△8.3%

# 評価結果

平成 26 年度

東野小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール								
事業者の名称		社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会						
クラブの所在地		浦安市東野一丁目7番3号						
クラブの連絡先		電 話	047-304-1880	F A X	047-304-1880			
当該クラブの運営開始日		平成 22 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校校舎内						
定員／現在の利用者数 (平成 26 年 12 月末現在)		定 員	213 人		利 用 者 数	172 人		
職員数 (平成 26 年 12 月末現在)	常勤	職員数	14 人	うち、男性	4 人	うち、女性	10 人	
		有資格者数		保育士	3 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	7 人	うち、男性	0 人	うち、女性	7 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭

## 運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	担当制により、児童と支援員の距離がより近くなり、信頼関係が深まった。部屋単位にとどまらず、一方では、大規模なクラブの特徴（イベント規模の大きさ、空間の活用、多様な支援員など）を生かした運営が重要であると考える。
-----------------------	---

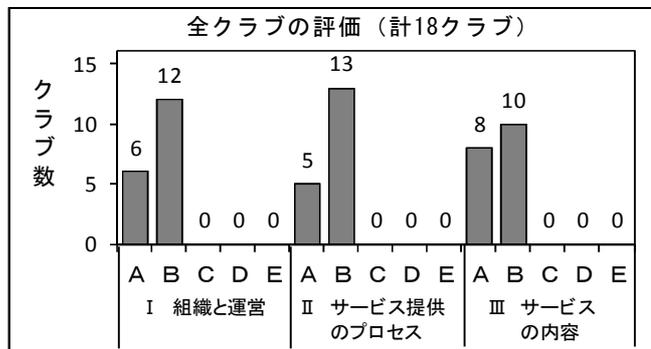
		事業者の強み アピールしたい取組	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、始業ミーティングで全体調整や作業確認などを行い、終業ミーティングは各部屋毎にその日の振り返りや各児童の対応の確認など細部にわたる話し合いを行うなど、指導員間の情報共有と連携に力を入れている。</li> <li>児童育成クラブと社会福祉協議会が隣接していることから、常に連携し協力体制が取れていることから、何事も迅速な対応が可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救護やAED操作に関する職員研修は研修や講習を受けた指導員がクラブ内で、伝えることはしているが、全員が研修会に行っていないので、今後実施していきたい。</li> </ul>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>日ごろから、保護者とのコミュニケーションを多く持つようしており、意見をいい出しやすいような雰囲気づくりに努めているが、加えて玄関に意見箱を設置し、クラブに対する意見を求めている。</li> <li>社会福祉協議会の強みである地域資源（人や施設）を活用した地域と連携した活動を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新人職員に対し、業務内容を学ぶ研修を実施している。しかし細かい作業がとて多く、できるだけ、指導員によることも多かったため、一人ひとり作業を考え直し、効率よくするにはどうしたらいいかを検討し、やらなければいけない作業やその際の動きなどをまとめ、ステップアップできるように土台作りをしている。</li> </ul>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>5つの児童室に分け、担任制にしていることから、児童と指導員の距離が近く、細やかな対応が可能となり、以前よりも信頼関係が築けている。迎への保護者にもクラブでの様子をしっかりと伝えられている。</li> <li>毎日の清掃や食べ物の管理から、嘔吐物の処理対応に至るまで、衛生管理をしっかりと行っている。</li> <li>学校との協力関係が十分に取れており、様々な面で連携が図られているため、校庭や体育館など子どもたちが元気いっぱい体を動かして遊ぶ環境が得られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の保育の中で、気を付けていることや取り組みは多くあるが、子どもへの接し方、作業の進め方等、意識をして継続することが難しい事も多いので、ミーティングや個別に時期などを見て繰り返し伝え合ったり、共通認識できる機会を設けていく。</li> </ul>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

## 運営事業者による自己評価結果

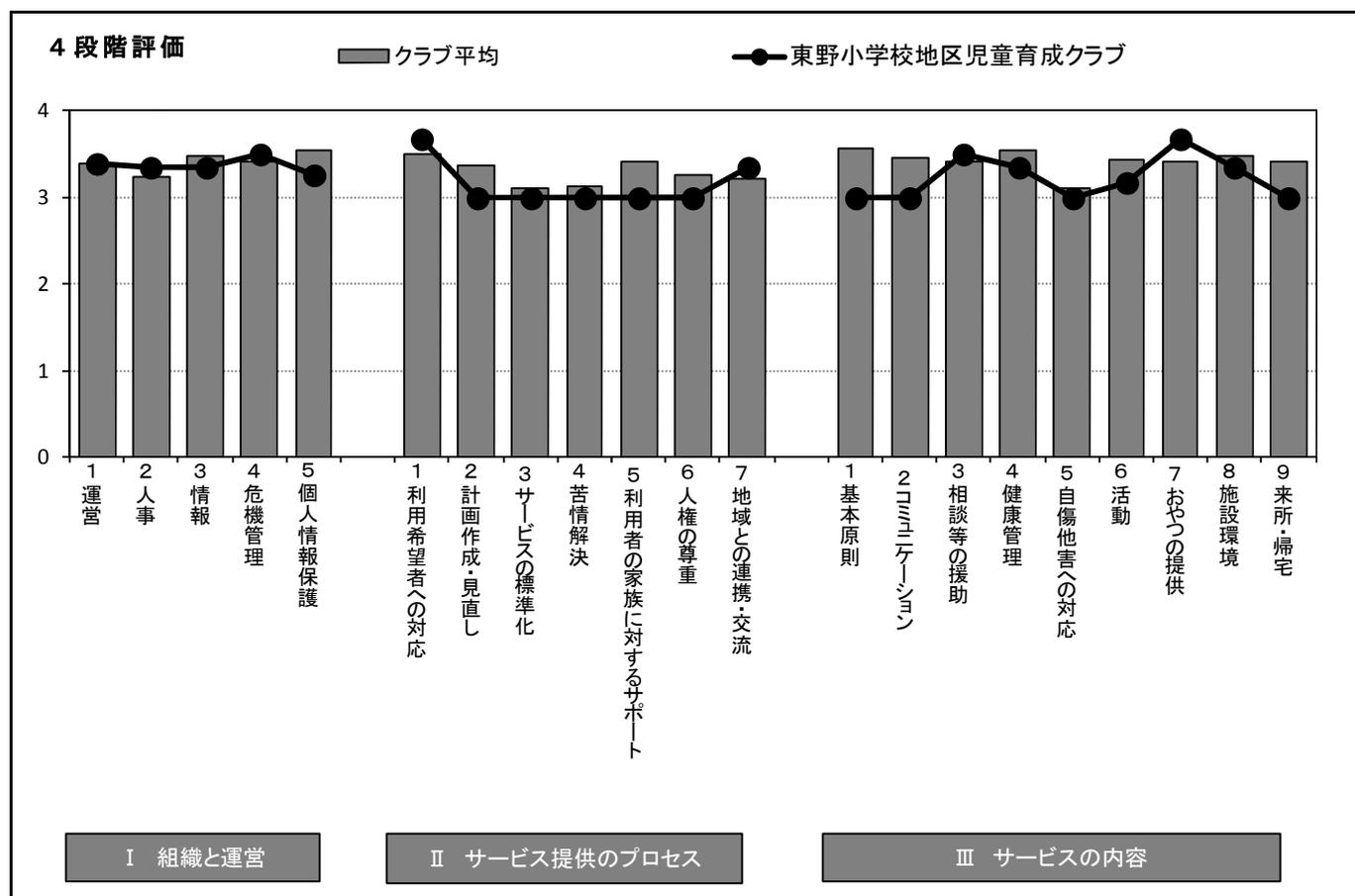
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 26 年度
	(平成 25 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供の プロセス	B (B)
III. サービスの内容	B (A)



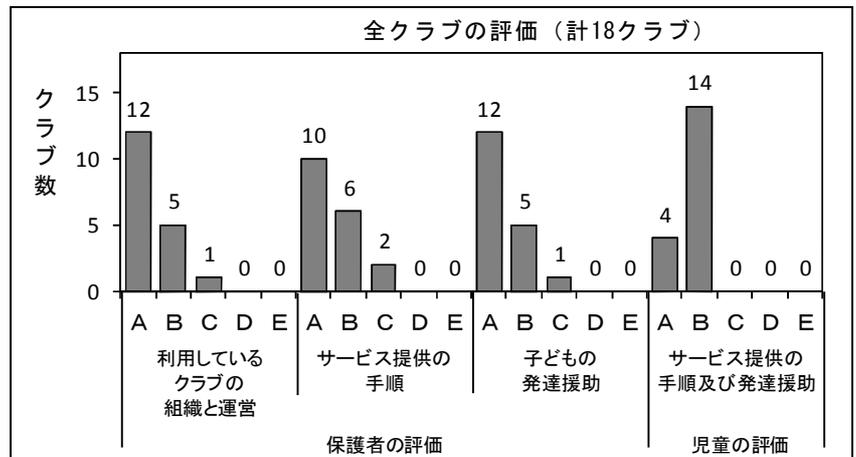
【中項目評価】 ・評価:4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



## 利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 26 年度
		(平成 25 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A (B)



### I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報提供	87.3%	2.9%	80.9%	1.5%	↑	87.2%	0.0%	△0.1%
	② 指導員の専門的知識や技術	60.8%	2.9%	58.8%	5.0%	↑	55.8%	0.0%	△5.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	87.3%	3.9%	83.8%	2.9%	↑	89.5%	1.2%	▼2.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	88.2%	0.0%	80.1%	2.0%	↑	84.9%	0.0%	△3.3%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	85.3%	1.0%	81.8%	1.0%	↑	80.2%	0.0%	△5.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	87.3%	2.0%	75.1%	4.0%	↑	75.6%	0.0%	△11.7%
サービス提供の手順について	① 指導員からの十分な説明や情報提供	91.2%	2.0%	88.0%	1.5%	↑	91.9%	0.0%	▼0.7%
	② 指導員同士の情報共有	67.6%	5.9%	68.8%	5.6%		52.3%	7.0%	△15.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	66.7%	8.8%	67.7%	8.5%		67.4%	9.3%	▼0.7%
	④ 指導員への相談しやすさ	82.4%	3.9%	80.6%	3.6%	↑	72.1%	1.2%	△10.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	80.4%	2.0%	79.5%	2.0%	↑	73.3%	0.0%	△7.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	82.4%	2.0%	81.0%	1.3%	↑	73.3%	2.3%	△9.1%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	86.3%	2.0%	78.2%	2.6%	↑	81.4%	0.0%	△4.9%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	65.7%	9.8%	68.4%	6.6%		65.1%	8.1%	△0.6%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	75.5%	2.0%	71.3%	3.1%	↑	72.1%	2.3%	△3.4%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	95.1%	1.0%	96.2%	0.4%		88.4%	0.0%	△6.7%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	85.3%	0.0%	84.3%	2.6%	↑	88.4%	0.0%	▼3.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	84.3%	2.0%	79.8%	2.3%	↑	75.6%	0.0%	△8.7%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	67.6%	0.0%	62.3%	1.6%	↑	61.6%	0.0%	△6.0%

### II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成25年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① おやつのおいしさ	87.3%	1.0%	78.9%	1.5%	↑	76.7%	2.3%	△10.6%
	② へややといれのきもちよさ	76.5%	1.0%	73.4%	4.9%	↑	87.2%	0.0%	▼10.7%
	③ クラブのたのしさ	83.3%	1.0%	77.5%	3.2%	↑	79.1%	1.2%	△4.2%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	75.5%	2.0%	67.2%	2.7%	↑	68.6%	0.0%	△6.9%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	72.5%	1.0%	66.3%	3.5%	↑	72.1%	1.2%	△0.4%

資 料



# 資料

## 1. 平成 26 年度 事業者自己評価シート

■それぞれの「評価の視点（判断基準）」において、「自己評価」欄には以下の4段階評価を選択してください。  
 自己評価の定義  
 4. 優れた取組ができている      3. おおむねできている      2. あまりできていない      1. まったくできていない

評価項目	評価の視点（判断基準）	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 運営	① 理念及びサービス提供の基本方針が職員に周知され、すべての職員がそれを理解し、実現に向けて取り組んでいる。		
	② 重要な意思決定について、関係する職員や利用者等に説明する場があり、工夫して十分に伝えている。		
	③ 職員が意見を言ったり、提案を出しやすい雰囲気をつくるための工夫がある。		
	④ 利用者から出された意見については必ず検討し、その対応について利用者や家族への説明や報告がなされている。		
	⑤ 利用者満足度調査を実施し、結果をもとに改善策をつくり、事業計画に活かしている。		
	⑥ サービス改善への取り組み状況は全職員に伝達している。		
	⑦ 市に対する活動報告を適切に行い、市との情報共有に努めている。		
	⑧ 学校との連携に積極的であり、適切な情報交換を行っている。		
2 人事	① 子どもの発達の特徴や子どもとの関わり方、指導員の役割など、職員研修を行い、学んだ内容を職員間で共有している。		
	② 運営責任者等による職員との定期面接、職員からの申告書提出、日頃の談話等により、職員の提案、要望、不満、目標等を把握する仕組みがある。		
	③ 職員の業務上の悩みやストレスを軽減・解消するための具体的な方策をたてている。		
3 情報	① 職員会議や日常的な引継ぎなど、指示・連絡・報告・相談の体制が確立しており、機能している。		
	② 「たより」の発行などを通じて、利用者の様子を保護者に定期的・具体的に伝えている。		
	③ サービス提供や事業所運営の情報を、求めに応じて公開する仕組みがある。		
4 危機管理	① 災害や緊急時の対応についてマニュアルを整備し、職員に周知するとともに、定期的な避難訓練を実施している。		
	② 事故防止のため、施設や設備の安全性について点検を実施し、危険箇所に対し速やかに対処している。		
	③ クラブにおいて発生したケガや急病に対処するために、救護やAED操作に関する職員研修を行っている。		
	④ 子どもに対する手洗いの徹底や、嘔吐物の処理方法のルール化など、感染症の拡大防止に努めている。		
	⑤ 食品や調理器具の取り扱いに注意し、食中毒の防止に努めている。		
	⑥ ケガや事故の情報を記録し、再発防止のための検討を行っている。		
5 個人情報保護	① 職員への研修は、利用者および保護者の個人情報の取り扱い、守秘義務に関する内容を含めて行っている。		
	② 利用者の個人情報（名簿等）が流出しないよう、具体的な取り組みを行っている。		
	③ 個人情報の利用目的を、利用者や保護者に明示している。		
	④ 面談は個室で行うなど、プライバシーの保護に配慮している。		

■それぞれの「評価の視点（判断基準）」において、「自己評価」欄には以下の4段階評価を選択してください。

自己評価の定義

4. 優れた取組ができている      3. おおむねできている      2. あまりできていない      1. まったくできていない

評価項目	評価の視点（判断基準）	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 利用希望者への対応	① 見学は、なるべく意向に添って受け入れ、見学者に対して、サービスの内容や規則について、正確に、わかりやすく説明するよう努めている。		
	② 重要事項に関して子どもやその保護者等に事前に説明し、書面による同意を得ている。		
	③ 重要事項説明書や入会のしおりは読みやすい大きさにしている。		
2 計画作成・見直し	① 年間の活動計画は、子どもや保護者の要望、関係者の意見を取り入れて作成している。		
	② 年間の活動計画は、子ども・保護者への説明を行い、同意を得ている。		
	③ 定期的に、活動計画の見直しについて検討している。		
3 サービスの標準化	① 個々のサービスについて、標準的な実施方法を定め、マニュアルなどを作成している。		
	② 新人職員に対し、業務内容を学ぶ研修を実施している。		
4 苦情解決	① 苦情を受け付ける仕組みや書式が整備されており、職員や子ども・保護者に周知され、サービスの改善に活用されている。		
	② 苦情解決にあたっては、直ちに会議等で対応を検討し、迅速な解決をこころがけている。		
	③ 苦情の申出から解決まで、一連の流れが記録され、情報として蓄積・共有化できる仕組みができおり、機能している。		
5 利用者の家族に対するサポート	① 自宅での生活を含め、子育ての不安や悩みなど、保護者からの相談に応じる体制を整えている。		
6 人権の尊重	① 職員から子どもへの体罰防止マニュアルの作成や研修実施など、虐待防止のための具体的な仕組みがあり、機能している。		
	② 家庭等での虐待の兆候を感じ取るなど、子どもに対する虐待の早期発見やその後の見守りに努めている。		
7 地域との連携・交流	① 地域行事への参加など、子どもの施設外における活動の範囲を広げるための取り組みを行っている。		
	② ボランティア・実習生の受け入れにあたり、担当者を配置するとともに、ボランティア・実習生に対して必要な事前説明をしている。		
	③ それぞれの関係諸機関・団体とのかかわり方を明確にし、それぞれに応じた連携を図るための定期的・具体的な取り組みを行っている。		

■それぞれの「評価の視点（判断基準）」において、「自己評価」欄には以下の4段階評価を選択してください。

自己評価の定義

4. 優れた取組ができている      3. おおむねできている      2. あまりできていない      1. まったくできていない/未実施

評価項目	評価の視点（判断基準）	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 基本原則	① 子どもの意思を尊重し、主体的に活動できるよう援助している。		
	② 子どもの状況に応じた支援方法を検討し、支援している。		
	③ 出席記録や業務日誌など、提供したサービスの記録を行っている。		
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定や意見の表明を促し、それを受け止めるように心がけている。		
	② 子どもの人格、価値観等を尊重したマナー、言葉づかいを心がけている。		
3 相談等の援助	① 子どもが相談したい時にはその方法や相手を選択して相談することができるなど、対応する方法が定められている。		
	② 日頃から子どもの行動特性や生活リズム、興味・嗜好、対人関係、服薬の状況などを観察・記録し、その結果を職員が共有し、支援に生かしている。		
4 健康管理	① 保護者との連携のもと、服薬管理が適切に行われている。		
	② 子どものケガや急病が発生した場合は速やかに対処し、保護者にも報告している。		
	③ アレルギー疾患のある子どもに対する食品への配慮や、アナフィラキシーショック発症時の対処法について、全職員が情報を共有し適切に対応している。		
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などの危険な行為に対して、子どもの心身を傷つけずに対応するための具体的な方法が定められている。		
	② 必要に応じて専門家の協力を得て、支援方法について工夫を行っている。		
6 活動	① 自然との触れ合いや社会体験など、多様な活動が用意されており、子どもが選んで参加することができるようになっている。		
	② 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。		
	③ 宿題や自習などの学習活動を自主的に行える環境を整えている。		
	④ 遊びや生活を通して、豊かな人間関係が育つような配慮を行っている。		
	⑤ 子どもが性差や国籍、障がいの有無、考え方の違いなどにとらわれず、互いに認め合い、尊重し合えるよう支援している。		
	⑥ 障がいのある子どもが遊びや活動に参加しやすいように支援している。		
7 おやつを提供	① 味、温度、盛り付け等の配慮、季節感を取り入れた献立など、質の高いおやつを提供している。		
	② 子どもの嗜好や成長に基づきおやつを出している。		
	③ 行事や季節を織り込み、子どもがおやつの時間を楽しく過ごせるように工夫している。		
8 施設環境	① 子どもが落ち着いて快適に過ごせるように、音や光、室温、換気、くつろげる場所の整備等に配慮している。		
	② 部屋やトイレ、手洗い場などについて、清掃・整理された状態を維持している。		
	③ 子どもが安全に活動できるように、設備・備品に配慮している。		
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所や帰宅にあたって、安全面での指導を行っている。		

■黄色で塗られた箇所は、必ずご入力ください。 空欄の場合には、再提出をお願いすることがあります。  
 ■水色で塗られた箇所について、該当する場合は、ご入力ください。

評価シート作成日	平成27年2月1日
評価シートの作成方法	その他（具体的に： _____）

評価項目 (大項目)	事業者の強み、 アピールしたい取り組み <small>（事業者のサービスとして「良いと思うこと」、 「これからも続けていきたいこと」など、具体的な取り組みの 事実をあげながら記入してください。）</small>	サービス改善に向けた取り組み、 今後の展望 <small>（サービスを提供するにあたって「改善が必要だ」ということを 記入してください。また、改善に向けた具体的な取り組みが あれば書き添えてください。）</small>
I. 組織と運営 <small>（1頁～2頁の設問を参考にして回答してください。）</small>		
II. サービス提供の プロセス <small>（3頁～4頁の設問を参考にして回答してください。）</small>		
III. サービスの内容 <small>（5頁～6頁の設問を参考にして回答してください。）</small>		

■黄色で塗られた箇所は、必ずご入力ください。  
空欄の場合には、再提出をお願いすることがあります。  
 ■水色で塗られた箇所について、該当する場合は、ご入力ください。

児童育成クラブの名称				
事業者の名称				
事業者の所在地				
事業者の連絡先	電話			
	FAX			
	E-mail			
貴法人が当該クラブの運営を開始した日				
開設場所（選択してください） 「その他」を選んだ場合は具体的に	その他（ _____ ）			
定員／現在の利用者数 (平成26年12月末現在)	定員	( _____ )	人	
	利用者数	( _____ )	人	
職員数 (平成26年12月末現在)  ※常勤： 週5日勤務、かつ、 30時間以上  ※非常勤： 常勤職員以外	常勤*	職員数	( _____ ) 人	
		うち、男性	( _____ ) 人	
		うち、女性	( _____ ) 人	
		有資格者数	保育士	( _____ ) 人
			幼稚園教諭	( _____ ) 人
			幼稚園以外の教諭	( _____ ) 人
	その他（ _____ ）		( _____ ) 人	
	非常勤*	職員数	( _____ ) 人	
		うち、男性	( _____ ) 人	
		うち、女性	( _____ ) 人	
		有資格者数	保育士	( _____ ) 人
			幼稚園教諭	( _____ ) 人
			幼稚園以外の教諭	( _____ ) 人
			その他（ _____ ）	( _____ ) 人
サービス提供にあたって 大切にしていること				
利用者調査票の配付数				
事業者調査票の記入者	氏名：			

## 2. 平成 26 年度 利用者調査

No.

地区児童育成クラブ

### 浦安市児童育成クラブ利用者調査 ご協力をお願い

日頃より、浦安市の福祉行政に対するご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

浦安市では、児童育成クラブの質の向上を目的に、クラブの利用者の皆様への調査を行い、その結果を運営事業者に伝え、今後のサービスの向上を図ってまいります。

つきましては、児童育成クラブをご利用のお子さまと保護者の方を対象に、アンケート調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。お答えいただいた内容は統計的に処理し、お名前が表に出たり、ご迷惑をおかけすることは決してございません。また、今回の調査結果は、市役所等の公共施設や市のホームページ上でも公開いたします。何卒趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 2 月

浦安市こども部 青少年課 児童育成係

連絡先：047-351-1111（代表）内線1158

#### <ご記入にあたってのお願い>

- ①回答は、選択肢に○印をつけるものや、自由に記述するものがあります。質問に沿ってご回答ください。
- ②黒色または青色の鉛筆、ボールペンなどでご記入ください。
- ③Q1～Q22は保護者の方がご回答ください。  
Q23～Q27はお子様にご回答いただくものです。保護者の方には必要に応じてその手助けをお願いします。
- ④記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

**平成27年2月27日（金）までに** 投函下さい。切手は不要です。

お子さんが利用しているサービスについておたずねします。

次の質問について、あなたの気持ちに近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

<利用しているクラブの組織と運営について>

質 問		はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒ 1	2	3
Q 2	指導員は、育成に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組がなされていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 4	クラブ内の部屋について清掃・整理が行き届いていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 5	指導員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。	⇒ 1	2	3

<サービス提供の手順について>

質 問		はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 7	指導員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒ 1	2	3
Q 8	あなたは、指導員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 9	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	⇒ 1	2	3
Q 10	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを指導員に相談しやすいですか。	⇒ 1	2	3
Q 11	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	⇒ 1	2	3

<子どもの発達援助について>

質 問		はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 12	指導員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。⇒	1	2	3
Q 13	指導員は、遊びを通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。⇒	1	2	3
Q 14	指導員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。⇒	1	2	3
Q 15	指導員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。⇒	1	2	3
Q 16	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。⇒	1	2	3
Q 17	クラブにおける発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。⇒	1	2	3
Q 18	指導員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。⇒	1	2	3
Q 19	特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。⇒	1	2	3

<児童育成クラブの開所時間について>

Q 2 0 小学校の通常授業日（月～金曜日）は、下校時から午後7時までをクラブの開所時間としています。

あなたは、開所時間を延長した場合に利用を希望しますか。（○は1つ）

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1 現状どおりでよい(午後7時まででよい) | 2 午後7時30分まで利用したい |
| 3 午後8時まで利用したい         | 4 その他( )         |

Q 2 1 土曜日及び小学校の長期休業日（夏休み・冬休み・春休み）は、午前8時から午後7時までをクラブの開所時間としています。

あなたは、土曜日及び長期休業日にクラブを利用していますか。また、利用している方については、開所時間を早めた場合に利用を希望しますか。（○は1つ）

- |   |               |
|---|---------------|
| 1 利用していない                               |               |
| 2 利用しているが、開所時間は現状どおりでよい(午前8時からでよい)      |               |
| 3 利用しており、午前8時以前の利用を希望する                 |               |
| ⇒3に○をつけた方は、最も利用を希望する時間に○をつけてください。（○は1つ） |               |
| 1)午前7時 00 分から                           | 2)午前7時 30 分から |
| 3)その他( )                                |               |

Q 2 2 日曜日や祝日は、クラブを開所していません。

あなたは、日曜日や祝日にクラブを開所した場合に、利用を希望しますか。(○は1つ)

1 利用しない

2 利用を希望する

サービスについて、ご意見などがございましたら何でもご自由にお書きください。


ここからは、お子さんにご回答をお願いします。あてはまるものに○をつけてください。

質 問		1	2	3
Q 23	じどういくせいクラブのおやつはおいしいですか。	⇒ おいしい	どちらとも いえない	おいしく ない
Q 24	じどういくせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。	⇒ きもちよく つかえる	どちらとも いえない	きもちよく つかえない
Q 25	じどういくせいクラブはたのしいですか。	⇒ たのしい	どちらとも いえない	たのしく ない
Q 26	じどういくせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらいいか、いっしょにかんがえてくれましたか。	⇒ かんがえて くれた	どちらとも いえない	かんがえて くれなかった
Q 27	じどういくせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。	⇒ わかって くれる	どちらとも いえない	わかって くれない

じどういくせいクラブについてかんじていることを、なんでもかいてください。


ご協力ありがとうございました。

平成 26 年度 浦安市児童育成クラブに係る評価事業 報告書

平成 27 年 3 月

浦安市こども部青少年課

〒279-8501 千葉県浦安市猫実一丁目 1 番 1 号

電話 047-351-1111 (代表)